BMW Motorrad

Rider's Manual

R 1200 GS

モーターサイクル / ディーラーのデータ

モーターサイクルデータ

モデル

車両識別番号シャリョウシキベツバンゴウ

カラー

初度登録

ライセンスプレート

ディーラーデータ

アフターサービス担当者

氏名

TEL

ディーラー所在地 / 電話 (スタンプ)

BMW の世界へようこそ

BMW Motorrad をご購入いただき、ありがとうございました。世界中で多くの熱狂的なファンを持つBMW Motorrad のライダーの一員となられたことを、心から歓迎いたします。あらゆる交通状況のなかで、安全にライディングを楽しんでいただくためには、購入された車両をよく理解し、親しんでいただくことが大切です。

本書について

新しいBMW モーターサイクルを使用される前に、まず本書をお読みください。本書には、BMW モーターサイクルを操作し、あらゆる機能を充分に活かすための情報が掲載されています。
また、ライダーの安全やモーターサイクルの信頼性を確保し、愛車の価値を末永く維持するための整備と手入れに関する情報が掲載されています。
修理や点検を依頼される場合に、それまで定期的に整備されていたことが必要な前提条件になります。
将来、もしご使用のBMW モーターサイクルを売却される場合には、本書も一緒にお渡しくださいますようお願いいたします。本書は、本車両にとって重要な構成部品のひとつです。

お問い合わせ

本車両について疑問に思われることが生じたり、アドバイスが必要になられた場合には、BMW Motorrad ディーラーのスタッフにお気軽にお問い合わせください。

BMW と共に、安全で快適なライディングをお楽しみください。

BMW Motorrad

01 40 8 406 508

目次

1 一般的な情報 5
全体図 6
記号と意味 6
装備 7
テクニカルデータ 7
本書の記述について 7

2 全体図 9
左側面 11
右側面 13
シート下 14
左コンビネーションスイッチ 15
右コンビネーションスイッチ 16
メーターパネル 17

3 表示 19
インジケーター / 警告灯 20
Pure Ride 画面での TFT ディスプレイ 21
メニュー画面での TFT ディスプレイ 23
警告表示 24

4 取扱方法 49
イグニッションスイッチ / ステアリングロック 50
Keyless Ride によるイグニッション 52
イグニッションキルスイッチ 56
インテリジェントエマージェンシーコール 56
ライト 59
ハザードランプ 60
ウインカー 61
アンチロックブレーキシステム (ABS) 61
オートマチックスタビリティコントロール (ASC) 63
ダイナミックトラクションコントロール (DTC) 65
電子調整式サスペンション (D-ESA) 66
走行モード 69
走行モードPRO 72
クルーズコントロール 74
発進アシスタント 77
盗難警報装置 (DWA) 78
タイヤ空気圧コントロール (RDC) 81
グリップヒーター 81
オンボードコンピューター 82
フロントおよびリヤシート 82

5 TFT ディスプレイ 87
一般的な情報 88
原理 89
Pure Ride 画面 95
一般的な設定 97
Bluetooth 98
私の車両 102
Navigation 105
メディア 107
TEL 107
GPS 同期を ON または OFF にする 108
ソフトウェアバージョンを表示する 108

ライセンス情報を表示する 108
6 調整..... 109
ミラー 110
ヘッドライト 110
ウインドシールド 111
クラッチ 112
ブレーキ 112
ハンドルバー 113
スプリングプリロード 113
ショックアブソーバー 114
7 走行..... 117
安全に関する注意事項 118
チェックリストを確認し、遵守する 121
走行開始のたびに..... 121
燃料補給 3 回目ごと 121
始動..... 121
慣らし走行..... 125
オフロード走行 125
ギヤチェンジ 127
ブレーキ 128
駐車する 129
給油..... 130
モーターサイクルを搬送用に固定します 134
8 技術情報 137
一般的な情報 138
アンチロックブレーキシステム (ABS) 138
オートマチックスタビリティコントロール (ASC) ... 141
ダイナミックトラクションコントロール (DTC) 142
Dynamic ESA 143
走行モード 144
シフトアシスト 147
発進アシスタント 148
9 メインテナンス 151
一般的な情報 152
ツールキット 152
サービスツールキット 152
フロントホイールスタンド 153
エンジンオイル 154
ブレーキシステム..... 155
クラッチ 160
クーラント..... 160
タイヤ 162
リムとタイヤ 162
ホイール 163
エアフィルター 169
バルブ 171
始動補助 176
バッテリー..... 178
ヒューズ 181
診断コネクター 183
10 アクセサリー..... 185
一般的な情報 186
電源ソケット 186
ケース 187
トップケース 190
ナビゲーションシステム 197
11 お手入れ 203
ケア用品 204
洗車..... 204
損傷しやすい車両部品のお手入れ 205
塗装のお手入れ 206
保護コーティング..... 206
長期保管 206
再使用 206

12 テクニカルデータ 209
トラブルシューティング 210
ネジ止め部..... 214
燃料..... 216
エンジンオイル 217
エンジン 217
クラッチ 218
ギヤボックス 219
リヤホイールドライブ 220
フレーム 220
シャシー 221
ブレーキ 223
ホイールとタイヤ..... 224
電装システム 225
盗難警報装置 227
寸法..... 227
重量..... 230
性能..... 230
13 サービス 231
リサイクリング 232
BMW Motorrad サービス 233
BMW Motorrad モバイルサービス 234
メインテナンス作業 234
BMW サービス..... 234
メインテナンススケジュール 237
メンテナンスの確認 238
サービスの確認 252
14 付録 255
電子式エンジン始動ロックシステム用認証 256
キーレスエントリー用認証 258
TFT メーターパネル用認証 260
15 索引 263

一般的な情報

全体図 6
記号と意味 6
装備 7
テクニカルデータ 7
本書の記述について 7

全体図

本書は、使いやすさを重視して作成されています。特殊な項目についてお探しの際には、索引もご利用ください。まず、このモーターサイクルについての概要から知りたい場合は、第 2 章をご覧ください。第 12 章には、実施されたメインテナンスおよび修理作業がすべて記録されます。保証期間が満了した後で修理や点検を依頼される場合に、それまで定期的に整備されていたことが必要条件になります。Rider's Manual は、モーターサイクルにとって重要な構成部品のひとつです。将来、もしご使用の BMW モーターサイクルを売却される場合には、本書も一緒にお渡しくださいますようお願いいたします。

記号と意味

注意 リスクレベルの低い危険にさらされます。回避しないことにより、軽度または中程度の怪我や損傷に至るおそれがあります。

警告 リスクレベルが中程度の危険にさらされます。回避しないことにより、死亡または重傷を負ったり、重度の損傷に至るおそれがあります。

危険 リスクレベルの高い危険にさらされます。回避しないことにより、死亡または重傷を負ったり、重度の損傷に至ります。

重要事項 特別な注意事項および予防処置。回避を怠ると車両や装備品の損傷を招き、保証の対象外になる可能性があります。

注意事項 モーターサイクルの制御、点検、調整などの手順に関する個々の情報と、お手入れについての一般的な情報を示します。

◀ 注意事項の末尾を示します。

• 作業内容の指示を示します。

» 作業の結果を示します。

➠ 説明のある参照ページを示します。

◁ アクセサリーや装備に関する情報の末尾を示します。

締付けトルク。

仕様 (諸元)。

LA 国別仕様。

OE　オプション装備。
BMW Motorrad オプション装備は、モーターサイクルの製造時に工場で装着されます。

OA　アクセサリー。
BMW Motorrad アクセサリーのご購入および取り付けにつきましては、BMW Motorrad ディーラーにて承ります。

ABS　アンチロックブレーキシステム。

ASC　オートマチックスタビリティコントロール (ASC)。

D-ESA　電子調整式サスペンション。

DTC　ダイナミックトラクションコントロール (オプション装備は走行モード Pro との組み合わせでのみ)。

DWA　盗難警報装置

EWS　電子式イモビライザー。

RDC　タイヤ空気圧コントロール

装備

BMW モーターサイクルのご購入に際しましては、それぞれお選びいただいたご希望の装備が装着されたモデルとなっています。本書では、BMW がご用意しているオプション (OE) および選択されたアクセサリー (OA) について説明されています。そのため、お客様のモーターサイクルには装着されていない装備に関する説明が含まれている場合がありますのでご了承ください。同様に、国別の仕様により、図示されているモーターサイクルと異なる場合があります。
お客様のモーターサイクルに、本書に説明されていない装備が含まれている場合は、独立したマニュアルの中に説明が記載されています。

テクニカルデータ

本書に掲載されている寸法、重量、性能に関する情報はすべて、DIN (ドイツ工業規格) およびその許容差規定に基づいて表記されています。国によって仕様が異なる場合があります。

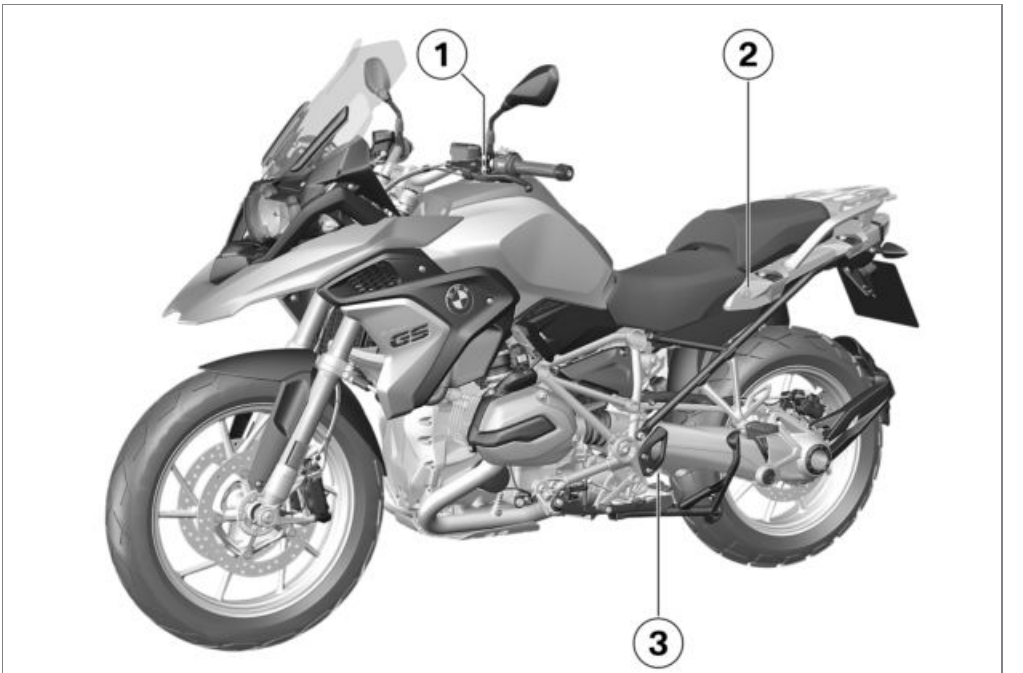
本書の記述について

BMW Motorrad の高い安全性および品質は、デザイン、装備、アクセサリーに関する絶え間ない開発によって支えられています。そのため、本書の記述が実際のモーターサイクルとは異

なる場合があります。また、BMW Motorrad はそのような誤りを完全に排除することはできません。したがって、記載内容や図、説明について責任を負いかねる場合がありますことをご理解くださいますようお願い申し上げます。

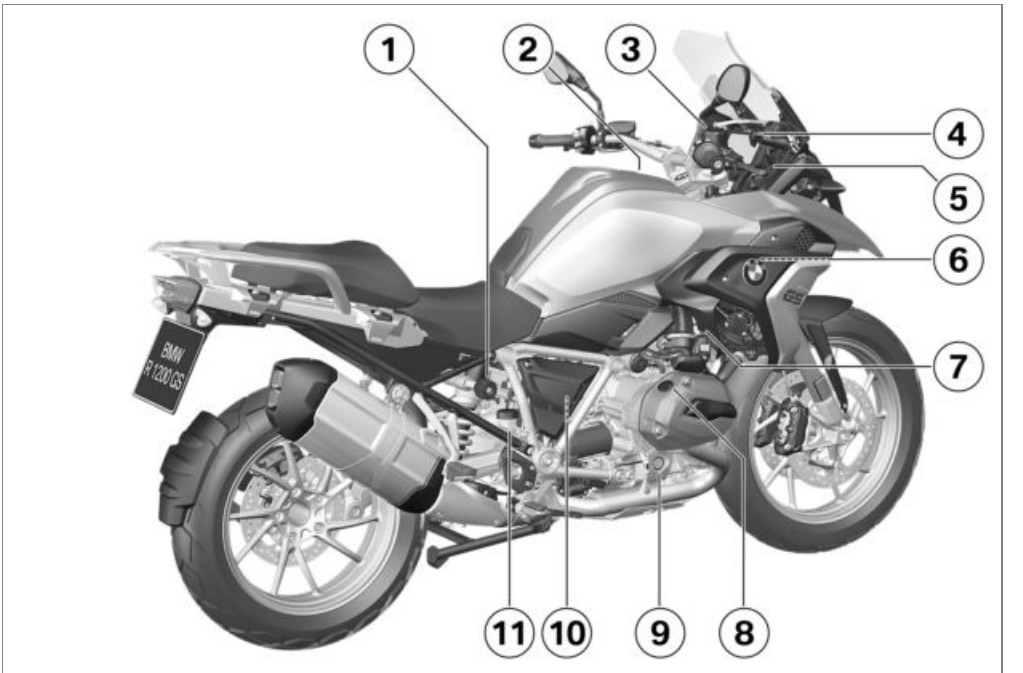
全体図

左側面 11
右側面 13
シート下..... 14
左コンビネーションスイッチ..... 15
右コンビネーションスイッチ..... 16
メーターパネル..... 17


1
2
3

左側面

1 フューエル注入口 (➠ 131)
2 シートロック (➠ 82)
3 リヤショックアブソーバーの調整 (スプリングストラット下) (➠ 114)

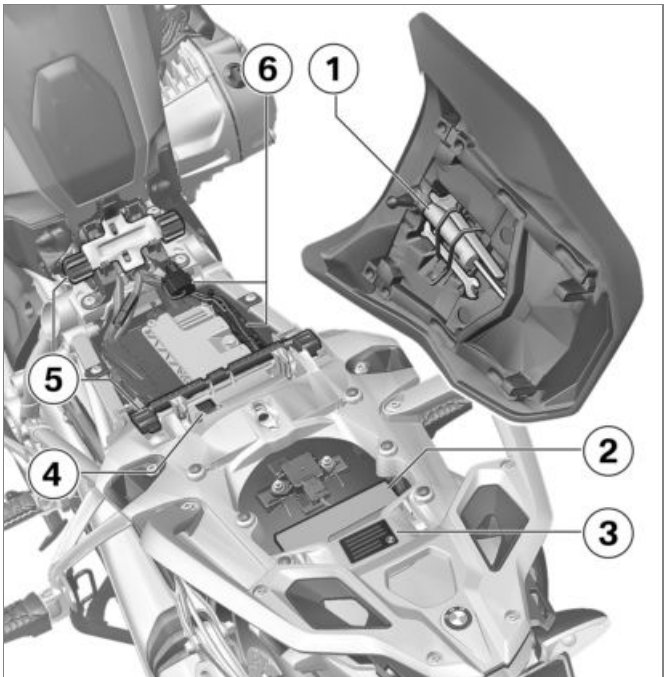

1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
BMW
R 1200 GS

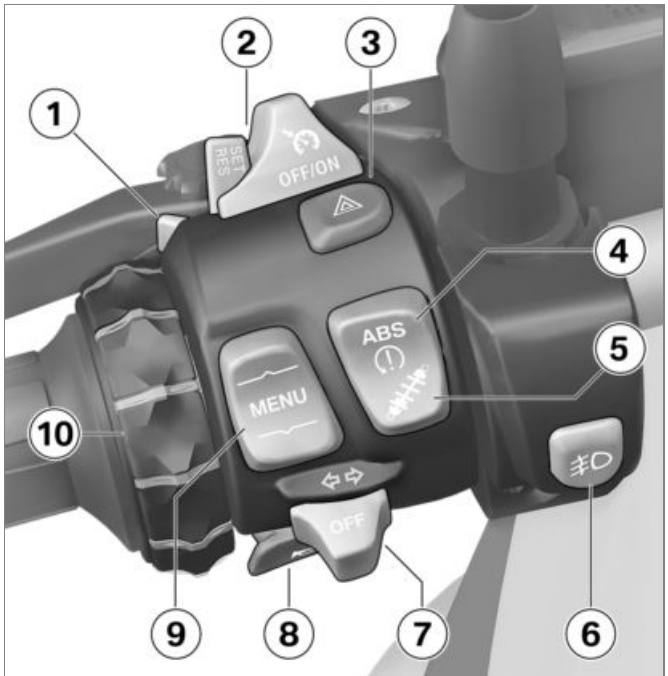
右側面

1 リヤスプリングプリロードの調整 (➠ 113)
2 エアフィルター (センターフェアリングの下) (➠ 169)
3 フロントブレーキフルードリザーバータンク (➠ 158)
4 ウインドシールドの高さ調整 (➠ 111)
5 電源ソケット (➠ 186)
6 車両識別番号 (ステアリングヘッドベアリング部分)
型式プレート (ステアリングヘッドベアリング部分)
7 クーラントレベル表示 (➠ 160)
クーラントタンク (➠ 161)
8 オイル注入口 (➠ 155)
9 エンジンオイルレベル表示 (➠ 154)
10 サイドトリムパネルの後方:
バッテリー (➠ 178)
バッテリープラスターミナル (➠ 176)
診断コネクター (➠ 183)
11 リヤブレーキフルードリザーバータンク (➠ 159)

シート下

1 標準スペシャルツールキット (➠ 152)
2 Rider's Manual
3 タイヤ充填圧表
4 積載荷重一覧
5 フロントシート高さの設定 (➠ 84)
6 ヒューズ (➠ 181)





左コンビネーションスイッチ

1 ハイビームヘッドライトとパッシングライト (➠ 59)

2 – クルーズコントロール装備[OE]
クルーズコントロール (➠ 74)。

3 ハザードランプ (➠ 60)

4 ABS (➠ 61)
ASC (➠ 63)
– 走行モードPro[OE]装備
DTC (➠ 65)

5 – Dynamic ESA[OE]装備
Dynamic ESA 調整 (➠ 66)

6 – LED 補助ヘッドライト[OA] 装備
補助ヘッドライト (➠ 60)

7 ウインカー (➠ 61)

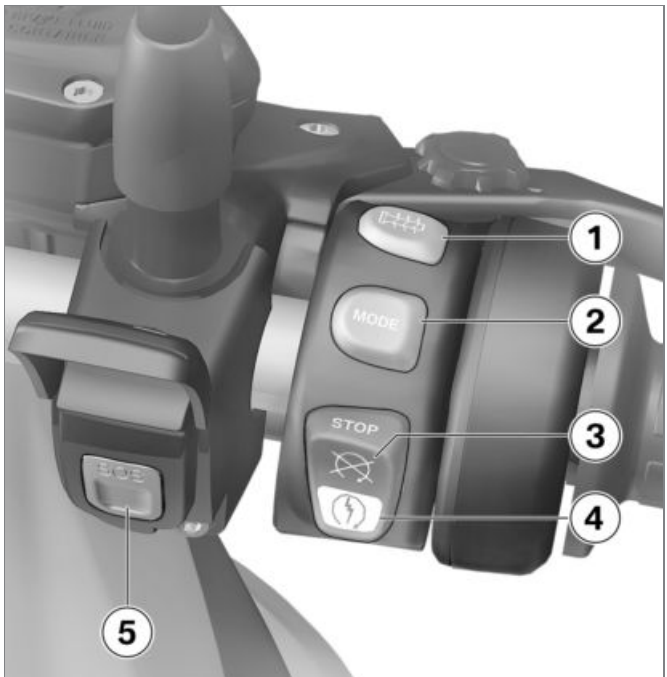
8 ホーン

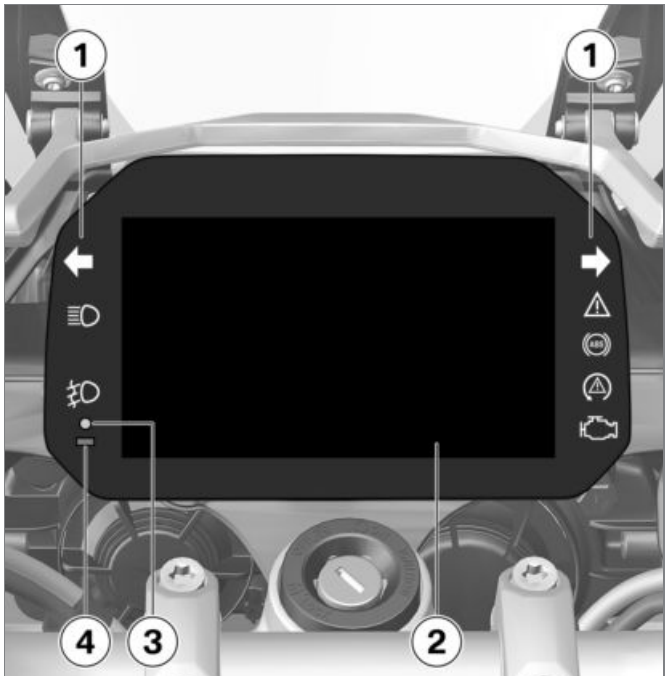
9 MENU ロッカーボタン (➠ 89)

10 Multi-Controller 操作エレメント (➠ 89)

右コンビネーションスイッチ

1 – グリップヒーター装備[OE] グリップヒーター (➠ 81)
2 走行モード (➠ 69)
3 イグニッションキルスイッチ (➠ 56)
4 スターターボタン エンジンを始動する (➠ 121)。
5 SOS ボタン インテリジェントエマージェンシーコール (➠ 56)





メーターパネル

1 インジケーター / 警告灯 (➠ 20)

2 TFT ディスプレイ (➠ 21) (➠ 23)

3 DWA LED
- 盗難警報装置 (DWA) 装備[OE]
  アラーム信号 (➠ 79)
- Keyless Ride[OE] 装備
  無線キー用インジケーター Keyless Ride によるイグニッション (➠ 53)。

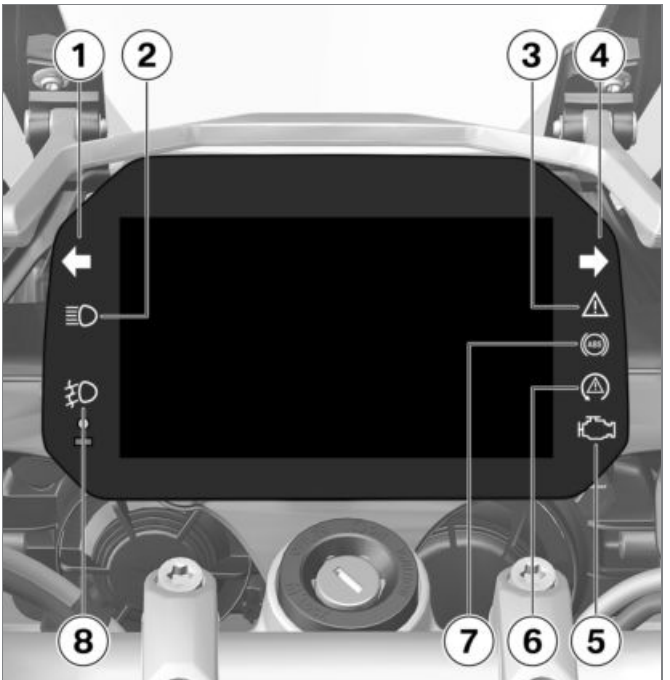
4 フォトダイオード (メーターパネルライトの輝度調整用)

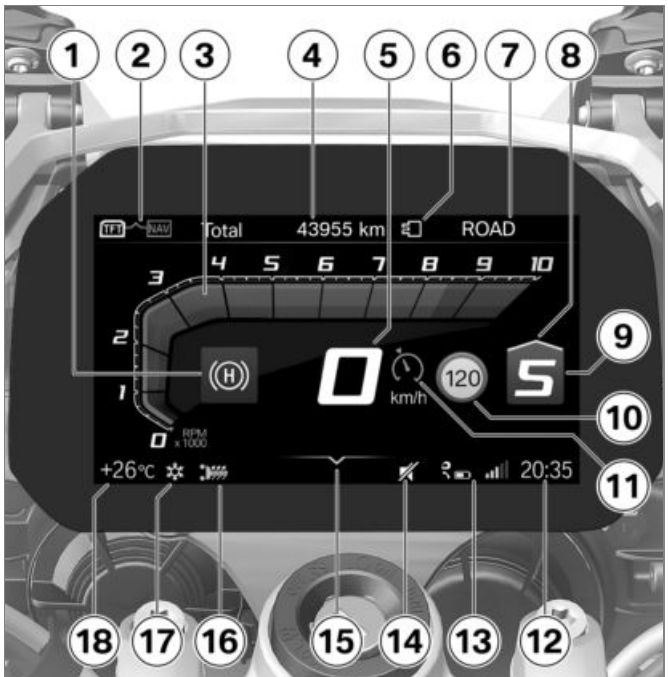
表示

インジケーター / 警告灯 20
Pure Ride 画面での TFT ディスプレイ 21
メニュー画面での TFT ディスプレイ 23
警告表示 24

インジケーター / 警告灯

1 左側ウインカー
ウインカーを操作する (➠ 61)。
2 ハイビームヘッドライト (➠ 59)
3 ジェネラル警告灯 (➠ 24)
4 右側ウインカー
5 排気ガス警告灯
排気ガス警告 (➠ 39)
6 ASC (➠ 42)
– 走行モードPro[OE]装備
DTC (➠ 43)
7 ABS (➠ 61)
8 – LED 補助ヘッドライト[OA] 装備
補助ヘッドライト (➠ 60)。

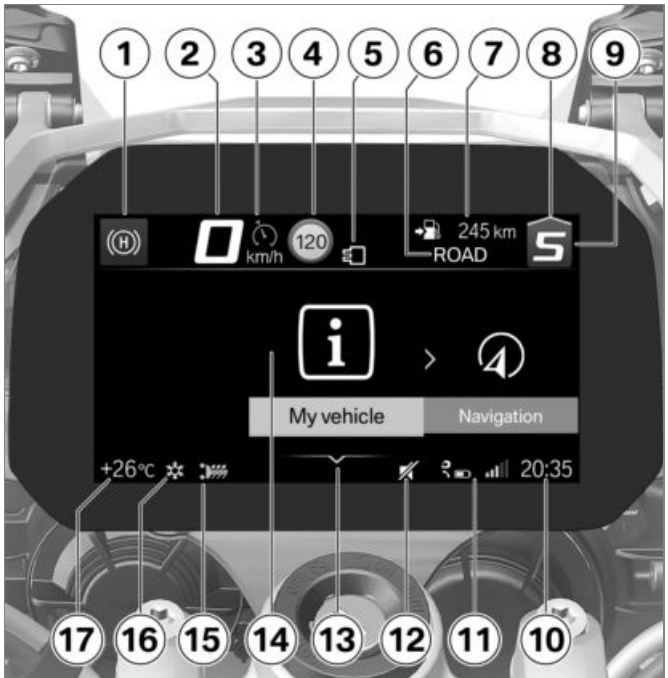




Pure Ride 画面での TFT ディスプレイ

1 Hill Start Control (➠ 45)
2 操作焦点の切替 (➠ 93)
3 エンジン回転数表示 (➠ 95)
4 ライダー情報ステータス欄 (➠ 94)
5 スピードメーター
6 コーディングプラグ (➠ 73)
7 走行モード (➠ 69)
8 シフトアップ推奨 (➠ 96)
9 ギヤインジケーター、ニュートラル位置で「N」(アイドリング) が表示されます。
10 制限速度情報 (➠ 95)
11 – クルーズコントロール装備[OE]
クルーズコントロール (➠ 74)。
12 Time (➠ 97)
13 接続ステータス (➠ 99)

14 ミュートスイッチ (➠ 97)
15 操作ヘルプ
16 グリップヒーターレベル (➠ 81)
17 路面凍結警告 (➠ 34)
18 外気温度



メニュー画面での TFT ディスプレイ

1 Hill Start Control (➠ 45)
2 スピードメーター
3 – クルーズコントロール装備[OE]
クルーズコントロール (➠ 74)。
4 制限速度情報 (➠ 95)
5 コーディングプラグ (➠ 73)
6 走行モード (➠ 69)
7 ライダー情報ステータス欄 (➠ 94)
8 シフトアップ推奨 (➠ 96)
9 ギヤインジケーター、ニュートラル位置で「N」(アイドリング) が表示されます。
10 Time
11 接続ステータス
12 ミュートスイッチ (➠ 97)
13 操作ヘルプ
14 メニューエリア

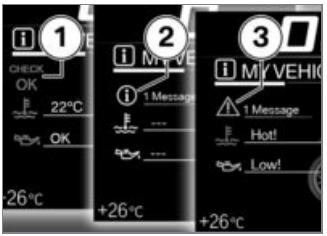
15 グリップヒーターレベル (➠ 81)
16 路面凍結警告 (➠ 34)
17 外気温度

警告表示

表示

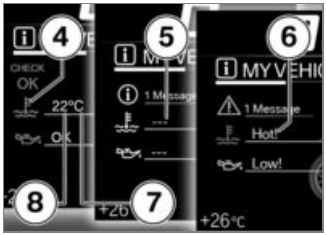
警告は対応する警告灯により表示されます。
警告はジェネラル警告灯と TFT ディスプレイのダイアログ画面の組み合わせで表示されます。警告の緊急性に応じて、ジェネラル警告灯が黄または赤に点灯します。

ジェネラル警告灯が、警告の緊急度に応じて表示されます。
以降のページに警告表示の一覧があります。



チェックコントロール表示

ディスプレイのメッセージには複数の異なる表示方法があります。優先度に応じて異なる色と記号が使用されます：
– 緑色の CHECK OK **1**: メッセージなし、値は最適。
– 白い円と小さな「i」 **2**: 情報。
– 黄色の三角表示 **3**: 警告メッセージ、値が最適範囲から逸脱。
– 赤い三角表示 **3**: 警告メッセージ、値が限界に到達



値の表示

アイコン **4** には複数の異なる表示方法があります。評価に応じて異なる色が使用されます。数値 **8** と単位 **7** の代わりに、テキスト **6** も表示されます：

アイコンの色

- 緑： (OK) 現在の値は最適。
- 青： (Cold!) 現在の温度は低すぎる。
- 黄： (Low! / High!) 現在の値は低すぎるか高すぎる。
- 赤： (Hot! / High!) 現在の温度または値は高すぎる。
- 白: (---) 有効な値なし。値の代わりに線 **5** が表示されます。

注意事項

個々の値の評価の一部は、一定の走行時間または速度を超えて初めて可能になります。測定条件が満たされていないために測定値が表示可能になっていない場合は、値の代わりにプレースホルダーとして線が表示されます。有効な測定値がない間は、色付きアイコンの形式での評価も行われません。◀

チェックコントロールダイアログ画面

メッセージはチェックコントロールダイアログ画面 **1** として通知されます。

- 同じ優先度のチェックコントロールメッセージが複数ある場合、メッセージは発生した順序で切り替わりながら、了承確認するまで表示され続けます。
- アイコン **2** が有効表示されている場合、マルチコントローラーを左に傾けて了承確認することができます。
- チェックコントロールメッセージは状況によって変化しながら、車両メニューのページ

に追加タブとして添付されます (➠ 91)。故障が存在している間は、メッセージを再度呼び出すことができます。

警告表示一覧

インジケーター / 警告灯	ディスプレイテキスト	意味
	氷結アイコンが表示されます。	路面凍結警告 (➠ 34)
ジェネラル警告灯 (黄 /橙) が点灯します。	Remote key not in range.	無線キーが受信範囲外 (➠ 34)
ジェネラル警告灯 (黄 /橙) が点灯します。	Remote key battery at 50%.	無線キーのバッテリー交換 (➠ 35)
	Remote key battery weak.	
ジェネラル警告灯 (黄 /橙) が点灯します。	黄色で表示されます。	車両電装システム電圧不足 (➠ 35)
	Vehicle voltage low.	
ジェネラル警告灯 (赤) が点灯します。	赤で表示されます。	ボードエレクトリック電源電圧が臨界に達している (➠ 35)

インジケーター / 警告灯	ディスプレイテキスト	意味
	Vehicle voltage critical!	ボードエレクトリック電源電圧が臨界に達している (➠ 35)
ジェネラル警告灯 (黄 /橙) が点灯します。	故障しているバルブが表示されます。	バルブの不具合 (➠ 36)
	Alarm system batt. capacity weak.	DWA バッテリーが弱っている (➠ 37)
ジェネラル警告灯 (黄 /橙) が点灯します。	Alarm system battery empty.	DWA バッテリーが空になっている (➠ 37)
	Oil level too low! Check oil level.	エンジンオイルレベルが低すぎる (➠ 38)
ジェネラル警告灯 (赤) が点灯します。	Coolant temperature too high!	クーラント温度が高すぎる (➠ 38)
排気ガス警告灯が点灯します。	Exhaust re-treatment impaired.	排気ガス警告 (➠ 39)
ジェネラル警告灯 (黄 /橙) が点灯します。	No communication with engine control.	エンジンコントロール機能停止 (➠ 39)

インジケーター / 警告灯	ディスプレイテキスト	意味
ジェネラル警告灯 (黄 /橙) が点灯します。	Fault in the engine control.	エンジンがエマージェンシーモードになっている (➠ 39)
ジェネラル警告灯 (黄) が点滅します。	Serious fault in the engine control!	エンジン制御の重度の故障 (➠ 40)
	Drop sensor faulty.	転倒検知センサーが故障している (➠ 40)
	Emergency call failure.	エマージェンシーコール機能の使用に制限 (➠ 40)
	Side stand monitoring faulty.	サイドスタンドモニター故障 (➠ 41)
ABS インジケーター / 警告灯が点滅します。		ABS 自己診断が終了していません (➠ 41)
ABS インジケーター / 警告灯が点灯します。	Off!	ABS が OFF になっている (➠ 41)
	ABS deactivated.	

インジケーター / 警告灯	ディスプレイテキスト	意味
ABS インジケーター / 警告灯が点灯します。	Limited ABS availability!	ABS 故障 (➠ 41)
ABS インジケーター / 警告灯が点灯します。	ABS failure!	ABS 機能停止 (➠ 42)
ABS インジケーター / 警告灯が点灯します。	ABS Pro failure!	ABS Pro 機能停止 (➠ 42)
ASC インジケーター / 警告灯が素早く点滅します。		ASC 介入 (➠ 42)
ASC インジケーター / 警告灯がゆっくりと点滅します。		ASC 自己診断が終了していない (➠ 42)
ASC インジケーター / 警告灯が点灯します。	Off!	ASC オフ (➠ 43)
	Traction control deactivated.	

インジケーター / 警告灯	ディスプレイテキスト	意味
ASC インジケーター / 警告灯が点灯します。	Traction control failure!	ASC 故障 (➠ 43)
DTC インジケーター / 警告灯が素早く点滅します。		DTC 介入 (➠ 43)
DTC インジケーター / 警告灯がゆっくり点滅します。		DTC 自己診断が終了していない (➠ 44)
DTC インジケーター / 警告灯が点灯します。	Off!	DTC が OFF になっている (➠ 44)
	Traction control deactivated.	
DTC インジケーター / 警告灯が点灯します。	Traction control failure!	DTC 故障 (➠ 44)
ジェネラル警告灯 (黄 /橙) が点灯します。	Spring strut adjustment faulty!	D-ESA の故障 (➠ 45)

インジケーター / 警告灯	ディスプレイテキスト	意味
	リザーブ容量に達しました。近いうちにガソリンスタンドに向かってください	燃料がリザーブ容量に達している (➠ 45)
	停止アイコンが表示されます。	Hill Start Control ON (➠ 45)
ジェネラル警告灯 (黄) が点滅します。	停止アイコンが短く点滅します。	Hill Start Control が自動的に作動解除 (➠ 46)
ジェネラル警告灯 (黄) が点滅します。	停止アイコンが短く点滅します。	Hill Start Control を作動できない (➠ 46)
	シフト表示が点滅します。	ギアが学習されていない (➠ 46)
左フラッシャーコントロールライトが緑に点滅します。		ハザードランプは ON の状態です (➠ 47)

インジケーター / 警告灯	ディスプレイテキスト	意味
右フラッシャーコントロールライトが緑に点滅します。		ハザードランプは ON の状態です (➠ 47)
	白で表示されます。 Service due!	サービス期限 (➠ 47)
ジェネラル警告灯 (黄 /橙) が点灯します。	黄色で表示されます。 Service overdue!	サービス時期を過ぎている (➠ 47)

外気温度

外気温度は TFT ディスプレイのステータス欄に表示されます。
停車している時には、エンジン放射熱により外気温度の測定に誤差が生じる場合があります。エンジン放射熱の影響が著しい場合には、値の代わりに一時的に線が表示されます。

外気温度が以下の限界値未満になると、路面が凍結する恐れがあります。

外気温度の限界値
約 3 °C

この温度を初めて下回った時点で、外気温度表示が氷結晶アイコンと共に TFT ディスプレイのステータス欄で点滅します。

路面凍結警告

氷結アイコンが表示されます。

考えられる原因:

モーターサイクル付近で測定された外気温度 <
約 3 °C

警告

3 °C 以上でも路面が凍結するおそれあり

事故の危険

- 外気温度が低い場合、橋の上や陰になった暗い路面は凍結しているおそれがあることを考慮してください。◀
- よく注意して走行してください。

無線キーが受信範囲外

– Keyless Ride[OE] 装備

ジェネラル警告灯 (黄 /橙) が点灯します。

Remote key not in range. Do not stop engine. Not possible to restart the engine.

考えられる原因:

無線キーとエンジンエレクトロニクス間の通信が妨げられています。

- 無線キーのバッテリーを点検します。

– Keyless Ride[OE] 装備

- 無線キーのバッテリー交換(➠ 55)。
- 継続走行にはスペアキーを使用してください。

– Keyless Ride[OE] 装備

- 無線キーのバッテリーが空になっているまたは無線キーの紛失(➠ 54)。
- 走行中にチェックコントロールダイアログ画面が表示されて

も、平静を保ってください。引き続き走行できます。エンジンは停止しません。
- 故障した無線キーはBMW Motorrad ディーラーで交換を依頼します。

無線キーのバッテリー交換

ジェネラル警告灯(黄 /橙)が点灯します。

Remote key battery at 50%. No functional impairment.

Remote key battery weak. Limited central locking function. Change battery.

考えられる原因:
- 無線キーのバッテリー容量がフルではありません。無線キーの機能は、限られた時間のみ保証されます。

– Keyless Ride[OE] 装備
- 無線キーのバッテリー交換(➠ 55)。

車両電装システム電圧不足

ジェネラル警告灯(黄 /橙)が点灯します。

黄色で表示されます。

Vehicle voltage low. Switch off unnecessary consumers.

警告

バッテリーの放電による、ライト、エンジン、ABS などのさまざまな車両システムの機能停止
事故の危険
- 走行を続けないでください。◀

バッテリーを充電できません。走行を続行する際は、車両エレクトロニクスはバッテリーを放電します。

注意事項

12 V バッテリーが誤って取り付けられている場合、または極性に誤りがある場合(ジャンプスタートの場合など)、オルタネーターレギュレーター(電圧調整器)のヒューズが溶断するおそれがあります。◀

考えられる原因:
ジェネレーターまたはジェネレーター駆動部の故障、バッテリーの故障、またはジェネレーターレギュレーターのヒューズが溶断している。
- できる限り早く、BMW Motorrad ディーラーに故障の修理を依頼してください。

ボードエレクトリック電源電圧が臨界に達している

ジェネラル警告灯(赤) が点灯します。

赤で表示されます。

Vehicle voltage critical! Consumers were switched off. Check battery condition.

⚠ 警告

バッテリーの放電による、ライト、エンジン、ABS などのさまざまな車両システムの機能停止

事故の危険

• 走行を続けないでください。◀

バッテリーを充電できません。走行を続行する際は、車両エレクトロニクスはバッテリーを放電します。

注意事項

12 V バッテリーが誤って取り付けられている場合、または極性に誤りがある場合 (ジャンプスタートの場合など)、オルタネーターレギュレーター (電圧調整器) のヒューズが溶断するおそれがあります。◀

考えられる原因:

ジェネレーターまたはジェネレーター駆動部の故障、バッテリーの故障、またはジェネレーターレギュレーターのヒューズが溶断している。

• できる限り早く、BMW Motorrad ディーラーに故障の修理を依頼してください。

バルブの不具合

ジェネラル警告灯 (黄 /橙) が点灯します。

故障しているバルブが表示されます :

High beam faulty!

Front left turn indicator faulty! またはFront right turn indicator faulty!

Low-beam headlight faulty!

Front side light faulty!

Daytime riding light faulty!

– LED 補助ヘッドライト OA 装備

Left additional headlight faulty! または Right additional headlight faulty!◁

Tail light faulty!

Brake light faulty!

Rear left turn indicator faulty! またはRear right turn indicator faulty!

Number plate light faulty!

– Have it checked by a specialist workshop.

警告

車両の照明手段の機能停止により、車両が通行中に気付かれずに見過ごされる

安全に関わる危険

- 故障したバルブはできるかぎり早急に交換します。できれば、常に適切な予備バルブを携行してください。◀

考えられる原因:

1 個または複数のバルブが故障しています。

- 故障しているバルブを目視点検により特定します。
- ロービーム / ハイビーム用バルブを交換する(➠ 171)。
- ポジションライト / パーキングライト用バルブを交換する(➠ 173)。

– LED ヘッドライト[OE] 装備

- LED ヘッドライトを交換させる(➠ 176)。
- フロント / リヤのウインカー用バルブを交換する(➠ 174)。
- LED テールライトを交換させる(➠ 176)。

– LED ウインカー装備[OE]

- LED ウインカーを交換させる(➠ 176)。

DWA バッテリーが弱っている

– 盗難警報装置 (DWA) 装備[OE]

Alarm system batt. capacity weak. No restrictions. Make an appointment at a specialist workshop.

注意事項

このエラーメッセージは、短時間、Pre-Ride-Check (走行前点検) の直後にのみ表示されます。◀

考えられる原因:

DWA バッテリーがフル充電されていません。DWA の機能が保証されるのは、バッテリーのターミナルを外している場合、ごく限られた時間内のみです。

- BMW Motorrad ディーラーにお問い合わせください。

DWA バッテリーが空になっている

– 盗難警報装置 (DWA) 装備[OE]

ジェネラル警告灯 (黄 /橙) が点灯します。

Alarm system battery empty. No independent alarm. Make an appointment at a specialist workshop.

注意事項

このエラーメッセージは、短時間、Pre-Ride-Check (走行前点検) の直後にのみ表示されます。◀

考えられる原因:
DWA バッテリーが充電されていません。DWA の機能は、バッテリーのターミナルを外している場合、保証されません。
- BMW Motorrad ディーラーにお問い合わせください。

電子的オイルレベルコントロール

電子的オイルレベルコントロールは、エンジンオイルレベルをOK またはLow! で評価します

電子的オイルレベルコントロールには、以下の条件が満たされている必要があります:
– エンジンが作動温度に達していること
– エンジンが少なくとも 10 秒間アイドリングしていること
– サイドスタンドが格納されていること
– モーターサイクルが平坦な地面に垂直に立っていること

上記の条件が満たされていない場合、オイルレベル測定はできません。情報の代わりに線が表示されます。

エンジンオイルレベルが低すぎる

Oil level too low! Check oil level.

考えられる原因:
電子式オイルレベルセンサーがエンジンオイルレベルが低すぎることを検知しました。次の燃料補給時に:
- エンジンオイルレベルを点検する(➠ 154)。

オイルレベルが低すぎる場合:
- エンジンオイルを補充する(➠ 155)。

オイルレベルが正常な場合:
- BMW Motorrad ディーラーに点検を依頼してください。

クーラント温度が高すぎる

ジェネラル警告灯 (赤) が点灯します。

Coolant temperature too high! Check coolant level. Continue riding in part. load to cool down.

重要事項

オーバーヒートしているエンジンでの走行
エンジンの損傷
- 必ず下記の処置を順守してください。◀

考えられる原因:
クーラントレベルが低すぎます。
- クーラントレベルを点検します(➠ 160)。

クーラントレベルが低すぎる場合:
- エンジンを冷却します。

- クーラントを補充します(➠ 161)。
- 専門の整備工場で冷却システムの点検を受けてください。BMW Motorrad パートナーが最も信頼できます。

考えられる原因:
クーラント温度が高すぎます。
- 可能であれば、エンジンを冷ますためにパーシャルロード域で走行してください。

クーラント温度がより頻繁に高くなりすぎる場合:
- できる限り早く、BMW Motorrad ディーラーに故障の修理を依頼してください。

排気ガス警告

排気ガス警告灯が点灯します。

Exhaust re-treatment impaired. Have it checked by a specialist workshop.

考えられる原因:
エンジンコントロールユニットが、有害物質の排出に作用する故障を診断しました。
- BMW Motorrad ディーラーに故障の修理を依頼してください。

» 走行を続行することは可能です。ただし、有害物質の排出規定値を超えています。

エンジンコントロール機能停止

ジェネラル警告灯(黄 /橙)が点灯します。

No communication with engine control. Multiple sys. affected. Ride carefully to the next specialist workshop.

エンジンがエマージェンシーモードになっている

ジェネラル警告灯(黄 /橙)が点灯します。

Fault in the engine control. Onward journey possible. Ride carefully to next specialist workshop.

警告

エンジンのエマージェンシーモード時の通常と異なる走行特性
事故の危険
- 走行スタイルを適合させます : 急激な加速や追い越しは避けてください。◀

考えられる原因:
エンジンコントロールユニットが、エンジン出力またはスロットルレスポンスを低下させる故障を診断しました。エンジンはエマージェンシーモードで作動しています。最悪の場合、エンジンが停止し、その後始動できなくなります。
- できる限り早く、BMW Motorrad ディーラーに

故障の修理を依頼してください。
» 走行を続けることは可能ですが、通常どおりのエンジン出力や回転数域に達しないおそれがあります。

エンジン制御の重度の故障

ジェネラル警告灯(黄) が点滅します。

Serious fault in the engine control! Onward journey possible. Engine damage possible Have checked by workshop.

⚠ 警告

エマージェンシーモード時のエンジンの損傷
事故の危険
- 走行スタイルを状況に合わせます：低速で走行し、急激な加速や追い越しは避けてください。
- できれば車両を引き取りにきてもらい、専門の整備工場またはBMW Motorrad ディーラーに修理を依頼してください。◀

考えられる原因:
エンジンマネジメントシステムが重度の不具合につながるおそれが不具合を検出しました。エンジンはエマージェンシーモードにあります。
- 走行を続行することは可能ですが、推奨されません。
- 高負荷高回転数域での走行は、できるかぎり避けてください。
- できる限り早く、BMW Motorrad ディーラーに故障の修理を依頼してください。

転倒検知センサーが故障している

Drop sensor faulty. Have it checked by a specialist workshop.

考えられる原因:
転倒検知センサーが機能していません。
- BMW Motorrad ディーラーにお問い合わせください。

エマージェンシーコール機能の使用に制限

– インテリジェントエマージェンシーコール搭載[OE]

Emergency call failure. Make an appointment at a specialist workshop.

考えられる原因:
エマージェンシーコールの自動確立または BMW を介した確立ができません。
- インテリジェントエマージェンシーコールの操作に関する情報は、(➠ 56) ページ以降を熟読してください。
- BMW Motorrad ディーラーにお問い合わせください。

サイドスタンドモニター故障

Side stand monitoring faulty. To avoid breakdown do not stop engine. Have checked by spec. workshp.

考えられる原因:

サイドスタンドスイッチまたはその配線が損傷しています。

- BMW Motorrad ディーラーにお問い合わせください。

ABS 自己診断が終了していません

ABS インジケーター / 警告灯が点滅します。

考えられる原因:

ABS 自己診断が終了していません
ABS は、自己診断が終了しなかったため、使用できません。(ホイール回転数センサーを点検するには、モーターサイクルが最低速度に達する必要があります： 5 km/h)

- ゆっくりと発進します。自己診断が終了するまで ABS 機能が使用できないことに注意してください。

ABS が OFF になっている

ABS インジケーター / 警告灯が点灯します。

Off!

ABS deactivated.

考えられる原因:

ABS システムは、ライダーにより OFF にされました。

- ABS 機能を ON にする(➠ 62)。

ABS 故障

ABS インジケーター / 警告灯が点灯します。

Limited ABS availability! Onward journey possible. Ride carefully to next specialist workshop.

考えられる原因:

ABS コントロールユニットが故障を検知しました。部分的インテグラルブレーキの機能が停止しました。ABS 機能は制限付きで使用可能です。

- 走行を続行することは可能です。ABS エラーメッセージにつながりかねない特別な状況に関するその他の情報に注意してください (➠ 139)。

- できる限り早く、BMW Motorrad ディーラーに故障の修理を依頼してください。

ABS 機能停止

ABS インジケーター / 警告灯が点灯します。

ABS failure! Onward journey possible. Ride carefully to next specialist workshop.

考えられる原因:

ABS コントロールユニットが故障を検知しました。ABS 機能は使用できません。

- 走行を続行することは可能です。ABS のエラーメッセージを引き起こす可能性のある特別な状況についての、詳細な情報をご確認ください (➠ 139)。
- できる限り早く、BMW Motorrad ディーラーに故障の修理を依頼してください。

ABS Pro 機能停止

– 走行モード Pro[OE]装備

ABS インジケーター / 警告灯が点灯します。

ABS Pro failure! Onward journey possible. Ride carefully to next specialist workshop.

考えられる原因:

ABS Pro コントロールユニットが故障を検知しました。ABS Pro 機能は使用できません。ABS 機能は引き続き使用できます。ABS は直進走行でのブレーキでのみサポートを行います。

- 走行を続行することは可能です。ABS Pro エラーメッセージにつながりかねない特別な状況に関するその他の情報に注意してください (➠ 139)。
- できる限り早く、BMW Motorrad ディーラーに故障の修理を依頼してください。

ASC 介入

– 走行モード Pro[OE]非装備

ASC インジケーター / 警告灯が素早く点滅します。ASC がリヤホイールの不安定な状態を検知し、トルクを制限します。インジケーター / 警告灯は、ASC の介入よりも長く点滅し続けます。これにより、厳しい走行状態の後でも、ライダーは制御が正常に行われた旨のフィードバック表示を目にすることができます。

ASC 自己診断が終了していない

– 走行モード Pro[OE]非装備

ASC インジケーター / 警告灯がゆっくりと点滅します。

考えられる原因:

ASC 自己診断が終了していません
自己診断が終了しなかったため、ASC は使用できません。(ホイールセンサーを点検するには、モーターサイクルが最低速度に達する必要があります： min 5 km/h)

- ゆっくりと発進します。数 m 走行後、ASC インジケーターおよび警告灯は消灯しなければなりません。

ASC インジケーターおよび警告灯が点滅し続ける場合:

- BMW Motorrad ディーラーに点検を依頼してください。

ASC オフ

ASC インジケーター / 警告灯が点灯します。

Off!

Traction control deactivated.

考えられる原因:

ASC システムは、ライダーによって OFF にされました。

– 走行モードPro[OE]非装備

- ASC 機能を ON にする(➠ 64)。

ASC 故障

ASC インジケーター / 警告灯が点灯します。

Traction control failure! Onward journey possible. Ride carefully to next specialist workshop.

考えられる原因:

ASC コントロールユニットが故障を検知しました。ASC 機能は使用できません。

- 走行を続行することは可能です。ASC 機能が使用できないことに注意してください。ASC 故障を引き起こしうる状況についての、詳細な情報をご確認ください (➠ 142)。
- できる限り早く、BMW Motorrad ディーラーに故障の修理を依頼してください。

DTC 介入

– 走行モードPro[OE]装備

DTC インジケーター / 警告灯が素早く点滅します。

DTC がリヤホイールの不安定な状態を検知し、トルクを制限します。インジケーター / 警告灯は、DTC の介入よりも長く点滅し続けます。これにより、厳しい走行状態の後でも、ライダーは制御が正常に行われた旨のフィードバック表示を目にすることができます。

DTC 自己診断が終了していない

– 走行モードProOE装備

DTC インジケーター / 警告灯がゆっくり点滅します。

考えられる原因:

DTC 自己診断が終了していません
自己診断が終了していないため、DTC 機能を使用できません。(ホイール回転数センサーの点検を行うには、モーターサイクルがエンジン作動状態で最低速度に達していなければなりません： min 5 km/h)

- ゆっくりと発進します。自己診断が終了するまでDTC 機能が使用できないことに注意してください。

DTC が OFF になっている

– 走行モードProOE装備

DTC インジケーター / 警告灯が点灯します。

Off!

Traction control deactivated.

考えられる原因:
DTC システムは、ライダーによって OFF にされました。
- DTC を ON にする(➠ 66)。

DTC 故障

– 走行モードProOE装備

DTC インジケーター / 警告灯が点灯します。

Traction control failure! Onward journey possible. Ride carefully to next specialist workshop.

考えられる原因:
DTC コントロールユニットが故障を検知しました。

重要事項

コンポーネントの損傷
センサーなどの故障、それに起因する機能不良
- ライダーまたはリアシートの下に物を搬送しないようにします。
- ツールキットをロックします。◀
- 角速度センサーを損傷しないようにします。
- DTC 機能が使用できない、または機能の使用に制限があることに注意してください。
- 走行を続行することは可能です。DTC の故障を引き起こしうる状況についての、詳細な情報をご確認ください (➠ 142)。
- できる限り早く、BMW Motorrad ディーラーに

故障の修理を依頼してください。

D-ESA の故障

ジェネラル警告灯 (黄 /橙) が点灯します。

Spring strut adjustment faulty! Onward journey possible. Ride carefully to next specialist workshop.

考えられる原因:

D-ESA コントロールユニットが故障を検知しました。原因はショックアブソーバーまたはスプリング調整、あるいはその両方である可能性があります。積載荷重モードAuto では、原因は走行位置アライメント機能の障害である可能性もあります。この状態にあるモーターサイクルでは、ショックアブソーバーが極めて硬くなっている可能性があり、特に悪路では乗り心地が不快になります。それとは別に、スプリングプリロードの調整が誤っている可能性もあります。

- できる限り早く、BMW Motorrad ディーラーに故障の修理を依頼してください。

燃料がリザーブ容量に達している

リザーブ容量に達しました。近いうちにガソリンスタンドに向かってください。

⚠ 警告

燃料不足による不規則なエンジン回転またはエンジン停止

触媒コンバーターの損傷、事故を起こす危険

- フューエルタンクを空にしないでください。◀

考えられる原因:

フューエルタンクには、リザーブ用フューエルがまだ最大容量入っています。

フューエルリザーブ容量

約 4 l

- 給油手順(➠ 131)。

Hill Start Control ON

– 走行モードPro[OE]装備

停止アイコンが表示されます。

考えられる原因:

Hill Start Control (➠ 148) は、ライダーによって ON にされました。

- Hill Start Control を OFF にします。
- Hill Start Control の操作(➠ 77)。

Hill Start Control が自動的に作動解除

– 走行モードPro[OE]装備

ジェネラル警告灯(黄) が点滅します。

停止アイコンが短く点滅します。

考えられる原因:

Hill Start Control は自動的に作動解除されました。

- サイドスタンドが展開されました。

» サイドスタンドが展開している場合は、 Hill Start Control は OFF の状態です。

- エンジンが停止されました。

» エンジンが停止している場合は、Hill Start Control は OFF の状態です。

- Hill Start Control が ON の場合は、 発進しました。
- Hill Start Control の操作(➠ 77)。

Hill Start Control を作動できない

– 走行モードPro[OE]装備

ジェネラル警告灯(黄) が点滅します。

停止アイコンが短く点滅します。

考えられる原因:

Hill Start Control を作動することができません。

- サイドスタンドを格納します。

» Hill Start Control はサイドスタンドが折りたたまれた状態でのみ機能します。

- エンジンを始動させます。

» Hill Start Control はエンジンが作動した状態でのみ機能します。

ギアが学習されていない

– シフトアシストPro[OE]装備

ギア表示が点滅します。
ギアシフトアシストPro は機能していません。

考えられる原因:

– シフトアシストPro[OE]装備

トランスミッションセンサーが学習されていません。

- アイドリングを学習させるためには、ニュートラル位置N に挿入し、停車した状態でエンジンを少なくとも 10 秒間作動させます。
- クラッチ操作によりすべてのギアを切替え、それぞれのギアで少なくとも 10 秒間走行します。

» トランスミッションセンサーが学習を完了すると、シフト表示は点滅しなくなります。

– トランスミッションセンサーが完全に学習すると、 (➠ 147) に説明されているようにシフトアシスト Pro が機能します。

- 学習プロセスに失敗する場合には、専門の整備工場に修理を依頼してください。BMW Motorrad パートナーが最も信頼できます。

ハザードランプは ON の状態です

左フラッシャーコントロールライトが緑に点滅します。

右フラッシャーコントロールライトが緑に点滅します。

考えられる原因:

ハザードフラッシャーはライダーによって ON にされました。

- ハザードランプを操作する(➠ 60)。

サービス表示

サービス時期を過ぎた場合には、期日または走行距離に関する指示を示すため、さらにジェネラル警告灯 (黄) が点灯します。

サービス時期を過ぎると、黄色いチェックコントロールメッセージが表示されます。それに加えて、サービス、サービス時期と残り距離の表示が、メニュー画面MY VEHICLE とSERVICE REQUIREMENTS でエクスクラメーションマークで強調されます。

注意事項

サービス期日まで 1 カ月以上あるのにサービス表示が表示されている場合、実際に即した日付に再度調整する必要があります。この症状は、バッテリーの接続が切られた場合に発生することがあります。◀

サービス期限

白で表示されます。

Service due! Have service carried out by a BMW Motorrad Retailer.

考えられる原因:

走行能力または日付のため、サービスの期限が来ています。

- BMW Motorrad ディーラーにサービスの実施を依頼してください。

» 車両の運転および交通の安全性が保たれます。

» 車両を最善の状態で保持することが確保されます。

サービス時期を過ぎている

ジェネラル警告灯 (黄 /橙) が点灯します。

黄色で表示されます。

Service overdue! Have service carried out by a BMW Motorrad Retailer.

考えられる原因:
走行距離または日付が原因で、サービスの期限が切れています。
- BMW Motorrad ディーラーにサービスの実施を依頼してください。

» 車両の運転および交通の安全性が保たれます。
» 車両を最善の状態で保持することが確保されます。

取扱方法

イグニッションスイッチ / ステアリングロック 50
Keyless Ride によるイグニッション..... 52
イグニッションキルスイッチ..... 56
インテリジェントエマージェンシーコール 56
ライト 59
ハザードランプ..... 60
ウインカー 61
アンチロックブレーキシステム (ABS) 61
オートマチックスタビリティコントロール(ASC) 63
ダイナミックトラクションコントロール(DTC) 65
電子調整式サスペンション(D-ESA) 66
走行モード 69
走行モードPRO 72
クルーズコントロール..... 74
発進アシスタント 77
盗難警報装置(DWA) 78
タイヤ空気圧コントロール(RDC) 81
グリップヒーター 81
オンボードコンピューター..... 82
フロントおよびリヤシート 82

イグニッションスイッチ / ステアリングロック

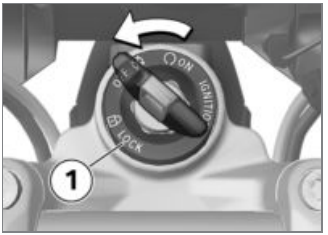
キー

イグニッションキーは 2 本あります。
キーを紛失した場合には、電子式イモビライザー (EWS) (➠ 51) に関する注意事項に従ってください。
イグニッションスイッチ / ステアリングロック、タンクキャップ、シートロックは、1 本の同じキーで操作できます。

ご要望により、ケースおよびトップケースも車両キーで操作するようにできます。この件につきましては、BMW Motorrad ディーラーにお問い合わせください。

ステアリングロックをロックする

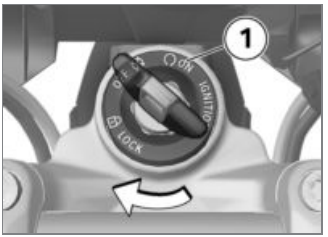
- ハンドルを左に回します。



- ハンドルバーを少し動かしながら、キーをポジション **1** に回します。

» イグニッション、ライトとすべての電気回路が OFF になります。
» ステアリングロックがロックされています。
» キーを抜き取ることができます。

イグニッションを ON にする



- キーをイグニッションロックに挿入し、ポジション **1** に回します。

» スモールライトおよびすべての電気回路が ON になります。
» Pre-Ride-Check が実行されます。(➠ 122)
» ABS 自己診断が実施されます。(➠ 123)
– 走行モード Pro OE 非装備
» ASC 自己診断が実施されます。(➠ 123)◁
– 走行モード Pro OE 装備
» DTC 自己診断が実施されます。(➠ 124)◁

ウェルカムライト

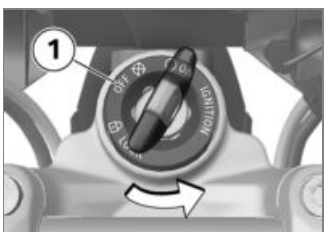
- イグニッションを ON にします。

» スモールライトが短時間点灯します。

– LED 補助ヘッドライト OA 装備

» LED 補助ヘッドライトが短時間点灯します。◁

イグニッションスイッチを OFF にする



- 車両キーをポジション **1** に回します。

» イグニッションのスイッチをオフにすると、メーターパネルはもう少しの間 ON のままで、場合により故障メッセージを表示します。

» ステアリングロックが解除されます。

» 追加装備機器は限られた時間内で使用できます。

» 電源ソケットからバッテリーの充電ができます。

» キーを抜き取ることができます。

– LED 補助ヘッドライト OA 装備

- イグニッションを OFF にした後、短時間で LED 補助ヘッドライトが消灯します。◁

電子式イモビライザー (EWS)

モーターサイクルの電子制御システムは、イグニッションロックのリングアンテナを介して、車両キーに内蔵されているデータを確認します。このキーが「権限あり」と認識されて初めて、エンジンマネジメントシステムがエンジンの始動を許可します。

注意事項

その他の車両キー (スペアキーなど) が始動用イグニッションキーと一緒に取り付けられていると、電子機器が「認識されない」ことがあり、エンジンの始動が許可されない場合があります。
スペアキーは必ず車両キーと別に保管してください。◀

車両キーを紛失した場合は、BMW Motorrad ディーラーでこのキーを停止させることができます。
そのためには必ず、モーターサイクルに付属している他のすべてのキーもお持ちください。使用停止となったキーでエンジンを始動させることはできなくなります。しかし、使用停止となったキーを再度登録し直すことは可能です。
非常用および追加のスペアキーは、BMW Motorrad ディーラーからのみ入手できます。キーは

セイフティシステムの一部ですので、ディーラーではお渡しする方の身元を確認させていただきます。

Keyless Ride によるイグニッション

– Keyless Ride[OE] 装備

キー

注意事項

無線キーをサーチしている間は、無線キー用インジケーターが点滅します。
無線キーまたはスペアキーが検知されると、消灯します。
無線キーまたはスペアキーが検知されない場合には、短時間点灯します。◀

お客様にお渡しするのは、無線キー 1 本ならびにスペアキー 1 本です。キーを紛失した場合には、電子式イモビライザー (EWS) (➠ 51) に関する注意事項に従ってください。
イグニッション、タンクキャップ、盗難警報装置は、無線キーを使用して制御します。シートロック、トップケース、ケースは手動で操作することができます。

注意事項

無線キーが手に届く範囲にないと (ケース内またはトップケース内など)、車両を始動することはできません。
無線キーがない状態が続くと、バッテリーを保護するため、イグニッションが約 1.5 分後に OFF になります。
無線キーを身に着けておく (ジャケットのポケットなど) か、またはスペアキーを携行することをお勧めします。◀

Keyless Ride の走行可能距離無線キー
– Keyless Ride[OE] 装備
約 1 m◁

ステアリングロックをロックする

前提条件

ハンドルバーを左方向へ回します。無線キーは受信範囲内です。

- ボタン **1** を押し続けます。

» ステアリングロックが音をたててロックします。

» イグニッション、ライトとすべての電気回路が OFF になります。
• ハンドルロックを解除するためには、ボタン **1** を短く押します。

イグニッションを ON にする

前提条件

無線キーは受信範囲内です。

• イグニッションは、以下の**2** つの方法でオンにすることができます。

バリエーション 1:

• ボタン **1** を短押しします。
» スモールライトおよびすべての電気回路が ON になります。
– LED 補助ヘッドライト[OA] 装備
» LED 補助ヘッドライトは ON の状態です。◁
» Pre-Ride-Check が実行されます。(➠ 122)
» ABS 自己診断が実施されます。(➠ 123)
– 走行モードPro[OE]非装備
» ASC 自己診断が実施されます。(➠ 123)◁

バリエーション 2:

• ステアリングロックがロックされます。ボタン **1** を押し続けます。
» ステアリングロックがロック解除されます。
» パーキングライトとすべての電気回路が ON になります。
» Pre-Ride-Check が実行されます。(➠ 122)
» ABS 自己診断が実施されます。(➠ 123)
– 走行モードPro[OE]非装備
» ASC 自己診断が実施されます。(➠ 123)◁

イグニッションスイッチを OFF にする

前提条件

無線キーは受信範囲内です。

• イグニッションは、以下の**2** つの方法でオフにすることができます。

バリエーション 1:
- ボタン **1** を短押しします。
» ライトが OFF になります。
» ステアリングロックが解除されます。

バリエーション 2:
- ハンドルを左に回します。
- ボタン **1** を押し続けます。
» ライトが OFF になります。
» ステアリングロックがロックされます。

電子式エンジン始動ロックシステムEWS

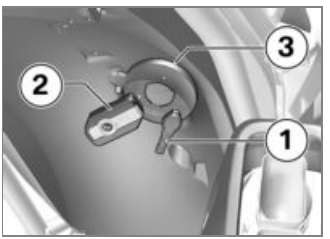
モーターサイクルの電子制御システムは、無線ロックのリングアンテナを介して、無線キーに蓄積されているデータを確認します。無線キーが「権限あり」と認識されてはじめて、エンジンコントロールユニットが、エンジン始動を許可します。

注意事項

その他の車両キーが始動用無線キーと一緒に取り付けられていると、電子制御システムが「妨害」され、エンジンの始動が許可されない場合があります。
スペアキーは必ず無線キーと別に保管してください。◀

無線キーを紛失したときなどには、BMW Motorrad ディーラーでそのキーの使用を停止することができます。そのためには、必ず、モーターサイクルに付属している他のすべてのキーもお持ちください。
使用停止となった無線キーでエンジンを始動させることはできなくなります。しかし、使用停止となった無線キーを再度登録し直すことは可能です。
非常用および追加のスペアキーは、BMW Motorrad ディーラーからのみ入手できます。無線キーはセイフティシステムの一部ですので、ディーラーではお渡しする方の身元を確認させていただきます。

無線キーのバッテリーが空になっているまたは無線キーの紛失



- キーを紛失した場合には、電子式イモビライザー (**EWS**) に関する注意事項に従ってください。
- 走行中に無線キーを紛失した場合には、スペアキーを使用して車両を始動させることができます。
- 無線キーのバッテリーが空になっている場合、無線キーでリ

アフェンダーにタッチすることにより、車両をスタートすることができます。

- リアフェンダーのエマージェンシーキー **1** または空の無線キー **2** をアンテナ **3** の高さにあるリアフェンダーに保持します。

注意事項

スペアキーまたは空の無線キーが、リヤフェンダーに**しっかりと接して**いなければなりません。◀

エンジン始動をその間に行わなければならない時間。その後、再度ロック解除を行う必要があります。
30 s

» Pre-Ride-Check が実行されます。
– キーが検知されました。
– エンジンを始動することができます。

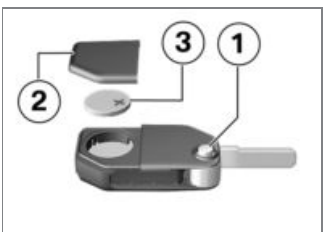
- エンジンを始動する(➠ 121)。

無線キーのバッテリー交換

無線キーが短押しまたは長押しして も反応しません：

- 無線キーのバッテリー容量がフルではありません。

Remote key battery weak. Limited central locking function. Change battery.



- ボタン **1** を押します。

» 切込み付きキーが開きます。

- バッテリーカバー **2** を押し上げます。
- バッテリー **3** を取り外します。
- 使用済みバッテリーはお住まいの地域の法規にしたがい廃棄処分します。バッテリーを家庭ごみとして捨てないでください。

重要事項

不適切なバッテリー、または入れ方が正しくないバッテリー

コンポーネントの損傷

- 規定のバッテリーを使用してください。
- バッテリーを組み込む際に、極性が正しいか確認してください。◀
- 新しいバッテリーをプラス極を上にして入れます。

バッテリータイプ
Keyless Ride 用無線キー
CR 2032

- バッテリーカバー **2** を取り付けます。

» メーターパネルで赤色 LED が点滅します。

» 無線キーは再び機能することができます。

イグニッションキルスイッチ

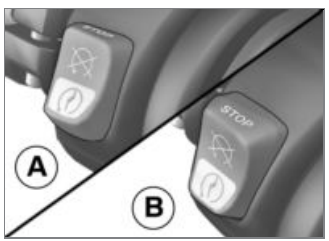
1 イグニッションキルスイッチ

⚠ 警告

走行中のイグニッションキルスイッチの操作
リヤホイールのロックによる転倒の危険

- 走行中はイグニッションキルスイッチを操作しないでください。◀

イグニッションキルスイッチにより、エンジンをすばやく簡単に停止することができます。



A エンジン停止
B 通常の操作ポジション

インテリジェントエマージェンシーコール

– インテリジェントエマージェンシーコール搭載[OE]

BMW を介したエマージェンシーコール

SOS ボタンは緊急時のみ押して下さい。
BMW を介したエマージェンシーコールができない場合も、公共の緊急通報用電話番号への発信が行われることがあります。 これは特にモバイル無線ネットや国別規定によって異なります。
エマージェンシーコールは技術的な理由から、 電波の届かない地域など条件が悪い場合は確実に機能することができません。

エマージェンシーコール用言語

対象となる市場に応じて、どの車両にも言語が割り当てられています。BMW Call Center はこの言語で応答します。

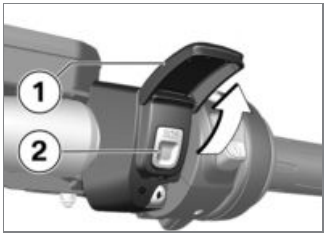
注意事項

エマージェンシーコール用言語の変更はBMW Motorrad ディーラーでしか行うことができません。この車両に割り当てられた言語は、TFT ディスプレイでライダーが選択可能な表示言語とは異なっています。◀

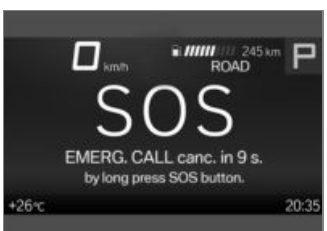
手動エマージェンシーコール

前提条件

緊急事態が発生しました。車両が立っていること。イグニッションは ON になっています。



- カバー **1** を開きます。
- SOS ボタン **2** を短押しします。



エマージェンシーコールを発信するまでの時間が表示されます。この時間が経過する間、エマージェンシーコールを中断することができます。

- イグニッションキルスイッチを操作して、エンジンを停止します。
- ヘルメットを脱ぎます。

» タイマーの経過後、BMW Call Center との音声接続が確立されます。

接続が確立されました。

- マイクロフォン **3** とスピーカー **4** を介して、救助隊向けの情報を伝えます。

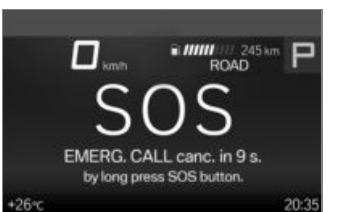
SOS コール

イグニッション ON 後、インテリジェントエマージェンシーコールは自動的に有効になり、転倒した場合に反応します。

軽度の転倒時のエマージェンシーコール

- 軽度の転倒または衝突が検知されます。

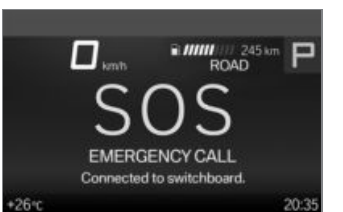
» 信号音が鳴り響きます。



エマージェンシーコールを発信するまでの時間が表示されます。この時間が経過する間、エマージェンシーコールを中断することができます。

- 可能であればヘルメットを脱いで、エンジンを停止します。

» BMW Call Center への音声接続が行われます。



接続が確立されました。

- カバー **1** を開きます。
- マイクロフォン **3** とスピーカー **4** を介して、救助隊向けの情報を伝えます。

重度の転倒時のエマージェンシーコール

- 重度の転倒または衝突が検知されました。

» エマージェンシーコールはタイムラグなしで自動的に発信されます。

ライト

ロービームおよびポジションライト / パーキングライト

イグニッションを ON にすると、パーキングライトは自動的に ON になります。

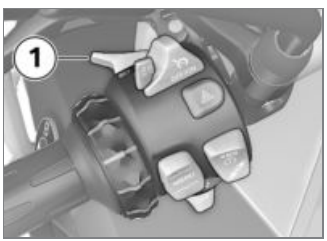
注意事項

ポジション / パーキングライトはバッテリーを消耗させます。必要な場合にのみ、イグニッションを ON にしてください。◀

エンジンの始動後、ロービームは自動的に ON になります。

ハイビームヘッドライトとパッシングライト

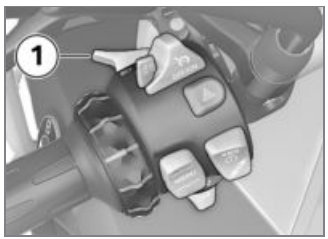
- イグニッションを ON にする(➠ 50)。



- スイッチ **1** を前方へ押し、ハイビームヘッドライトを ON にします。
- スイッチ **1** を後方へ引き、パッシングライトを操作します。

フォローミーホームライト

- イグニッションを OFF にします。



- イグニッションをオフにした直後、スイッチ **1** を後方へ引き、ホームライトが点灯するまで引いたまま維持します。

» 車両照明は 1 分間点灯し、自動的に再び消灯します。

– これは、車両を停止した後などに玄関までの道を照らすことができます。

パーキングライト

- イグニッションスイッチを OFF にする(➠ 51)。

- イグニッションを OFF にした直後、パーキングライトが ON になるまで、ボタン **1** を左方向へ押した状態で保ちます。
- パーキングライトを OFF にするため、イグニッションを ON にしてから再び OFF にします。

補助ヘッドライト

– LED 補助ヘッドライト[OA] 装備

前提条件

補助ヘッドライトが作動するのは、ロービームが作動中の場合のみです。

注意事項

補助ヘッドライトはフォグライトとして使用することができ、悪天候の場合にのみ、設定することが認められています。それぞれの国における道路交通規則を必ず遵守してください。◀

- エンジンを始動する(➠ 121)。

- ボタン **1** を操作すると、補助ヘッドライトがオンになります。

補助ヘッドライトの表示灯が点灯します。

- ボタン **1** を再び操作すると、補助ヘッドライトがオフになります。

ハザードランプ

ハザードランプを操作する

- イグニッションを ON にする(➠ 50)。

注意事項

ハザードランプはバッテリーを消耗させます。ハザードランプは必要な場合にだけ使用するようにしてください。◀

- ハザードフラッシャーを ON にするには、ボタン **1** を操作します。

» イグニッションを OFF にすることができます。

- ハザードフラッシャーをオフにするには、必要に応じてイグニッションをオンにし、ボタン **1** を再度操作します。

ウインカー

ウインカーを操作する

- イグニッションを ON にする(➠ 50)。

- 左側ウインカーを ON にするには、ボタン **1** を左方向へ押します。
- 右側ウインカーを ON にするには、ボタン **1** を右方向へ押します。
- ウインカーを OFF にするには、ボタン **1** を中間の位置にします。

ウインカーキャンセル

ウインカーは、一定の走行時間および走行距離に達すると自動的に OFF になります。

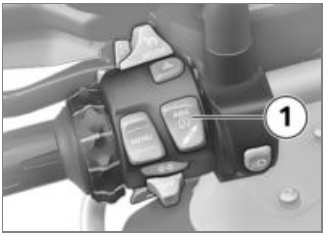
アンチロックブレーキシステム(ABS)

ABS 機能を OFF にする

- イグニッションを ON にする(➠ 50)。

注意事項

ABS 機能は走行中も OFF にすることができます。◀



- ABS インジケーターおよび警告灯の表示が変化するまで、ボタン **1** を押し続けます。

ボタン **1** を操作した直後に、現在のASC/DTC システムステータスと、ABS システムステータス ON が表示されます。

» まずASC インジケーターおよび警告灯の表示が変化します。ABS インジケーターおよび警告灯が反応するまで、ボタン **1** を押し続けます。この場合、ASC/DTC 設定は変化しません。

ABS インジケーター / 警告灯が点灯します。

設定可能な ABS システムステータスOFF! が表示されます。

- ABS システムステータスが切り替わったら、ボタン **1** から指を離します。

ASC/DTC システムステータスはそのままであり続け、新しいABS システムステータス OFF! が短時間表示されます。

ABS インジケーター / 警告灯が点灯し続けます。

» ABS 機能が OFF になります。
» インテグラル機能は ON のままです。
– 走行モードPro[OE]装備
» Hill Start Control の機能は引き続き作動しています。◁
- BMW Motorrad Integral ABS 装備のブレーキシステムに関する詳細な情報については、「技術情報」の章を参照してください。

» パーシャリーインテグラルブレーキ (➠ 138)
– 走行モードPro[OE]装備
» 発進アシスタント機能 (➠ 148)◁

ABS 機能を ON にする

- ABS インジケーターおよび警告灯の表示が変化するまで、ボタン **1** を押し続けます。

ボタン **1** を操作した直後に、現在のASC/DTC システムステータスと、ABS システムステータス OFF! が表示されます。

ABS インジケーター / 警告灯が消灯します。自己診断が終了していない場合には、点滅し始めます。

設定可能な ABS システムステータスON が表示されます。
- ABS システムステータスが切り替わったら、ボタン **1** から指を離します。

ABS インジケーター / 警告灯が消灯したままか、または点滅し続けます。

ASC/DTC システムステータスはそのままであり続け、新しいABS システムステータス ON が短時間表示されます。

» ABS 機能が ON になります。
- 代わりに、イグニッションを OFF にしてから再び ON にすることでも可能です。

イグニッションを OFF / ON にして、さらに最低速度以上で走行した後にABS インジケーター / 警告灯が点灯する場合には、ABS が故障しています。

min 10 km/h

– 走行モードPro[OE]装備
- コーディングプラグが取り外されている場合には、代わりにイグニッションを一旦 OFF にしてから再度 ON にすることもできます。◁

オートマチックスタビリティコントロール(ASC)

ASC 機能を OFF にする

– 走行モードPro[OE]非装備
- イグニッションを ON にする(➠ 50)。

注意事項

ASC 機能は走行中も OFF にすることができます。◀◁

- ASC インジケーターおよび警告灯の表示が変化するまで、ボタン **1** を押し続けます。

ボタン **1** を操作した直後に、ASC システムステータス ON と、現在のABS システムステータスが表示されます。

ASC インジケーター / 警告灯が点灯します。

設定可能な ASC システムステータスOFF! が表示されます。
- ASC システムステータスが切り替わったら、ボタン **1** から指を離します。

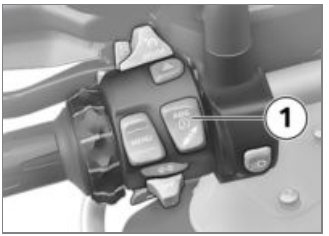
新しいASC システムステータス OFF! が短時間表示されます。ABS システムステータスはそのままであり続けます。

ASC インジケーター / 警告灯が点灯し続けます。

» ASC 機能が OFF になります。

ASC 機能を ON にする

– 走行モードPro[OE]非装備



- ASC インジケーターおよび警告灯の表示が変化するまで、ボタン **1** を押し続けます。

ボタン **1** を操作した直後に、ASC システムステータス OFF! と、現在のABS システムステータスが表示されます。

ASC インジケーター / 警告灯が消灯します。自己診断が終了していない場合には、点滅し始めます。

設定可能な ASC システムステータスON が表示されます。
- ステータスが切り替わったら、ボタン **1** から指を離します。

ASC インジケーター / 警告灯が引き続き消灯するか、点滅し続けます。

新しいASC システムステータス ON が短時間表示されます。ABS システムステータスはそのままであり続けます。

» ASC 機能が ON になります。
- コーディングプラグが装着されていない場合には、代わりにイグニッションを一旦 OFF にしてから再度 ON にすることもできます。

注意事項

BMW Motorrad オートマチックスタビリティコントロール (ASC) に関する詳細な情報については、「技術情報」の章をご覧ください。◀

イグニッション OFF / ON にして、さらに以下の最低速度で走行した後にASC インジケーター / 警告灯が引き続き点灯する場合には、ASC が故障しています。

min 5 km/h

- オートマチックスタビリティコントロールに関する詳細情報については、「技術情報」の章を参照してください：

» ASC はどのように作動するのでしょう？ (➠ 141)

ダイナミックトラクションコントロール(DTC)

– 走行モードProOE装備

DTC を OFF にする

- イグニッションを ON にします。

注意事項

DTC 機能は走行中も OFF にすることができます。◀

- DTC インジケーターの表示が変化するまで、ボタン **1** を押し続けます。

ボタン **1** を操作した直後に、DTC システムステータス ON と、現在のABS システムステータスが表示されます。

DTC インジケーター / 警告灯が点灯します。

設定可能な DTC システムステータスOFF! が表示されます。

- ステータスが切り替わったら、ボタン **1** から指を離します。

新しいDTC システムステータス OFF! が短時間表示されます。ABS システムステータスはそのままであり続けます。

DTC インジケーター / 警告灯が点灯し続けます。

» DTC 機能が OFF になります。

DTC を ON にする

- DTC インジケーターの表示が変化するまで、ボタン **1** を押し続けます。

ボタン **1** を操作した直後に、DTC システムステータス OFF! と、現在のABS システムステータスが表示されます。

DTC インジケーター / 警告灯が消灯します。自己診断が終了していない場合は、警告灯が点滅し始めます。

設定可能な DTC システムステータスON が表示されます。

- ステータスが切り替わったら、ボタン **1** から指を離します。

DTC インジケーター / 警告灯は消灯したままか、点滅を続けます。

新しいDTC システムステータス ON が短時間表示されます。ABS システムステータスはそのままであり続けます。

» DTC 機能が ON になります。

- コーディングプラグが装着されていない場合には、代わりにイグニッションを一旦 OFF にしてから再度 ON にすることもできます。

イグニッションを OFF / ON にして、さらに以下の最低速度で走行した後にDTC インジケーターが点灯する場合には、DTC が故障しています。
min 5 km/h

- ダイナミックトラクションコントロールに関する詳細情報については、「技術情報」の章を参照してください：

» トラクションコントロールはどのように作動するのでしょうか? (➠ 142)

電子調整式サスペンション(D-ESA)

– Dynamic ESA[OE]装備

Dynamic ESA 調整

電子調整式サスペンションDynamic ESA は、モーターサイクルを自動で積載荷重に適合させることができます。スプリングプリロードをAuto に設定すると、ライダーは積載荷重調整を行う必要はありません。

Dynamic ESA に関する詳細な情報については、「技術情報」の章 (➠ 143) を参照してください。

利用可能なショックアブソーバーモード

- オンロード走行用: Road およびDyna.
- オフロード走行用: Enduro

利用可能な積載荷重設定

- 固定設定の最小スプリングプリロード: Min
- スプリングプリロードの自動調整付きアクティブ走行位置アライメント: Auto
- 固定設定の最大スプリングプリロード: Max

シャシー設定を表示する

- イグニッションを ON にする(➠ 50)。

- 現在の設定を表示させるには、ボタン **1** を短押しします。

ボタン **1** を操作した直後に、ショックアブソーバー **2** とスプリングプリロード **3** のサスペンション設定が表示されます。

» 少し経つと、表示は再び自動的に消えます。

フレームを調整する

- イグニッションを ON にする(➠ 50)。

- 現在の設定を表示させるには、ボタン **1** を短押しします。

ショックアブソーバーを設定するには :

- ご希望の設定が表示されるまで、ボタン **1** を繰り返し短く押します。

注意事項

ダンピングの調整は、走行中もできます。◀

選択矢印 **4** が表示されます。

» 選択矢印 **4** はステータスが切り替わった後に非表示になります。

以下の設定が可能です：

– Road: 快適なオンロード走行用ショックアブソーバー
– Dyna.: ダイナミックなオンロード走行用ショックアブソーバー
– Enduro: オフロード走行用ショックアブソーバー。
走行モードENDURO またはENDURO PRO でのみ使用可能で、またこの走行モードでさらに調整することはできません。

選択した走行モードで調整ができない場合は、メッセージが通知されます。例： ENDURO riding mode: damping not adjusted.

スプリングプリロードを設定するには：

- エンジンを始動する(➠ 121)。
- ご希望の設定が表示されるまで、ボタン **1** を繰り返し長く押します。

注意事項

BMW Motorrad は、設定Max をオフロード走行用に、設定Min を接地性を高める際に使用することをお勧めします。◀

注意事項

設定Min、Auto とMax は停止状態でのみ選択可能です。◀

調整ができない場合は、以下のメッセージが通知されます: Load adjustment only avail. stopped.

選択矢印 **4** が表示されます。

» 選択矢印 **4** はステータスが切り替わった後に非表示になります。

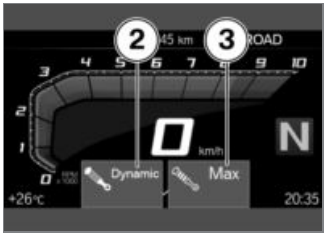
以下の設定が可能です：

– Min: 最小スプリングプリロード

– Auto: スプリングプリロードの自動調整

– Max: 最大スプリングプリロード

» ボタン **1** をしばらく操作しないでおくと、そのとき表示されていたショックアブソーバーおよびスプリングプリロードが設定されます。



ショックアブソーバー **2** とスプリングプリロード **3** の新しいサスペンション設定が短時間表示されます。

- 温度が非常に低い場合には、スプリングプリロードを高くする前に、モーターサイクルの負荷を軽減してください。必要に応じて、パッセンジャーに降りてもらってください。

» 設定の終了後、サスペンション設定は非表示になります。

» 積載荷重モードAutoでは、発進してはじめてスプリングプリロードが調整されます。

走行モード

走行モードの使用

BMW Motorrad は、お客様がご自身の状況に合わせて選択できるように、モーターサイクルにシナリオを開発しました:

標準装備

– RAIN: 雨でぬれた路面でのライディング。

– ROAD: 乾いた路面でのライディング。

– 走行モードPro[OE]装備

走行モード Pro 装備

– DYNAMIC: 乾いた路面でのダイナミックな走行。

– ENDURO: ストリートタイヤ装着時のオフロード走行。

走行モード Pro 装備およびコーディングコネクター装着

– DYNAMIC PRO: ライダーによる設定を考慮した上での、乾いた路面でのダイナミックな走行。

– ENDURO PRO: ライダーによる設定を考慮した上での、粗い路面用のオフロードタイヤを装着したオフロード走行。

コーディングコネクターを取り付けることにより、走行モードDYNAMIC とENDURO は、走行モードDYNAMIC PRO とENDURO PRO に変わります。

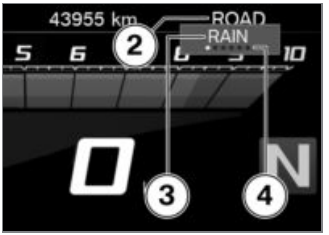
これらのシナリオには、それぞれに最適なスロットルレスポンス、ABS コントロール、ASC/DTC コントロールの組み合わせが用意されています。

– Dynamic ESA[OE]装備
サスペンション調整もまた選択されたシナリオに適合されます。
走行モードに関する詳細な情報については、「技術情報」の章を参照してください (➠ 144)。

走行モードを選択する

- イグニッションを ON にする(➠ 50)。

- ボタン **1** を押します。



現在有効の走行モード **2** は背景に移動し、最初に選択可能な走行モード **3** が表示されます。説明ヘルプ **4** に、利用可能な走行モードの数が表示されます。

重要事項

オンロード走行におけるオフロードモードの作動 (Enduro および Enduro Pro)

ABS もしくはASC/DTC の制御範囲におけるブレーキ操作もしくは加速時に走行状態が不安定となり、転倒する恐れ

- オフロードモード (Enduro および Enduro Pro) はオフロード走行時にのみオンにしてください。◀
- 希望する走行モードが表示されるまで、ボタン **1** を繰り返し押します。

注意事項

ENDURO PRO モードの選択時: リヤホイールの ABS 制御が無効になっていることに注意してください。◀

以下の走行モードから選択することができます:

– RAIN: 雨で濡れた路面での走行用。
– ROAD: 乾いた路面での走行用。

– 走行モードPro^{OE}装備

さらに、以下の走行モードを選択することができます:

– DYNAMIC: 乾いた路面でのダイナミックな走行用。
– ENDURO: ストリートタイヤ装着時におけるオフロード走行用。◁

– 走行モードPro^{OE}装備

コーディングコネクターを取り付けることにより、走行モードENDURO とDYNAMIC は、走行モードENDURO PRO とDYNAMIC PRO に変わります。

– DYNAMIC PRO: ライダーによる設定を考慮した上での、乾いた路面でのダイナミックな走行用。
– ENDURO PRO: ライダーによる設定を考慮した上での、粗い路面用のオフロードタイヤを装着したオフロード走行用。◁

» 停車している場合には、選択した走行モードは約 2 秒後に ON になります。
» 走行中に新しい走行モードを ON にするには、以下の前提条件が必要です:
– スロットルグリップがアイドリング位置にある。
– ブレーキが操作されていない。
» エンジン特性曲線、ABS、ASC/DTC、Dynamic ESA について適切に調整が行われ、設定

された走行モードは、イグニッションを OFF にした後も維持されます。

走行モードPRO

– 走行モードPro[OE]装備

設定方法

走行モード PRO は個別に設定することができます。

走行モードPRO のセットアップ

- コーディングプラグを取り付ける(➠ 73)。
- イグニッションを ON にする(➠ 50)。
- メニューSettings、Vehicle settings を呼び出します。

» 以下の走行モードPRO を調整することができます:

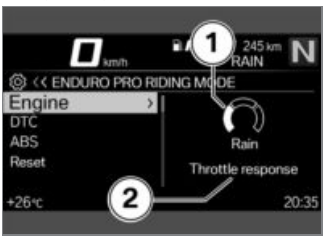
– ENDURO PRO riding mode
– DYNAMIC PRO riding mode

- 走行モードを選択して確定します。

Enduro Pro を設定する

– 走行モードPro[OE]装備

- 走行モードPRO のセットアップ(➠ 72)。



システムEngine が選択されています。現在の設定がグラフ **1** として、システムに関する説明文 **2** 付きで表示されます。

- システムを選択して確定します。

可能な設定 **3** とそれに対応する説明 **4** は通覧することができます。

- システムを設定します。

» システムEngine、DTC とABS は、同じ方法で設定することができます。

- 設定は初期設定にリセットすることができます :
- 走行モードの設定をリセットする(➠ 73)。

Dynamic Pro を設定する

- 走行モードPRO のセットアップ(➠ 72)。

- システムをENDURO PRO riding mode の場合と同様に設定します。

注意事項

ABS は走行モードEnduro PROでのみ設定可能です。◀

走行モードの設定をリセットする

- 走行モードPRO のセットアップ(➠ 72)。
- Reset を選択して確定します。

» ENDURO PRO RIDING MODE には以下の初期設定が適用されます：

– DTC: Enduro Pro
– ABS: Enduro Pro
– Engine: ROAD

» DYNAMIC PRO RIDING MODE には以下の初期設定が適用されます：

– DTC: Dynamic
– ENGINE: Dynamic

コーディングプラグを取り付ける

- イグニッションスイッチを OFF にする(➠ 51)。
- フロントシートを取り外す(➠ 83)。

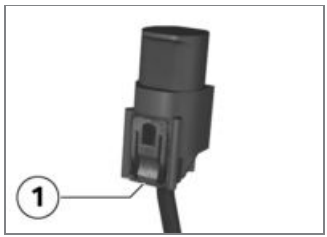
重要事項

空いているコネクターに汚れや水分が入り込む

機能障害

- コーディングプラグを外した後、保護キャップを再び組み込みます。◀

- コネクターの保護キャップ **1** を外します。



- その際はロック **1** を押し込み、キャップを抜き取ります。
- コーディングプラグを差し込みます。
- イグニッションを ON にします。

コーディングコネクターのアイコン **1** が表示されます。走行モード ENDURO PRO とDYNAMIC PRO が選択可能になり、走行モードENDURO とDYNAMIC に取って代わります。

- フロントシートを取り付ける(➠ 85)。

クルーズコントロール

– クルーズコントロール装備[OE]

設定時の表示(制限速度情報が無効)

クルーズコントロールのアイコン **1** は、Pure Ride 画面と上側のステータス欄に表示されます。

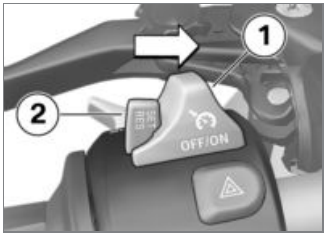
設定時の表示(制限速度情報が有効)

クルーズコントロールのアイコン **1** は、Pure Ride 画面と上側のステータス欄に表示されます。

クルーズコントロールのオン

前提条件

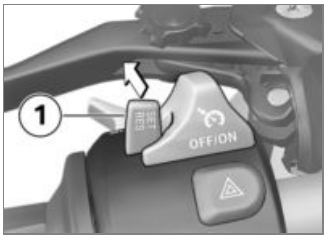
走行モード Enduro または Enduro Pro から別のモードに切り替えて初めて、クルーズコントロールが使用可能になります。



- スイッチ **1** を右方向へずらします。

» ボタン **2** を操作することができます。

車速をセットする



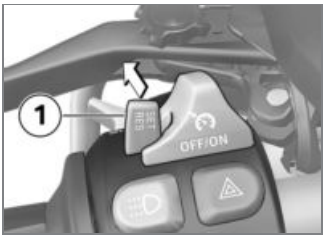
- ボタン **1** を前方向へ短時間押します。

クルーズコントロールの調整範囲 (ギアに応じて異なる)
20...210 km/h

クルーズコントロールの表示灯が点灯します。

» その時の車速を維持し、記憶します。

加速する



- ボタン **1** を前方向へ短く押します。

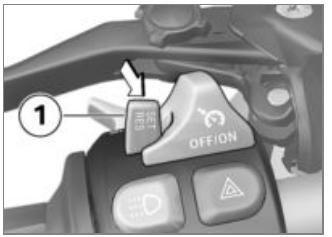
» 押すたびに速度が約 2 km/h ずつ加速します。

- ボタン **1** を前方へ押し続けます。

» 車速が無段階に加速します。

» ボタン **1** がそれ以上操作されないと、到達した車速が維持され、保存されます。

減速する



- ボタン **1** を後方へ短時間押します。
» 操作ごとに速度が約 2 km/h づつ減速します。
- ボタン **1** を後方へ押したまま保ちます。
» 車速が無段階に減速します。
» ボタン **1** がそれ以上操作されないと、到達した車速が維持され、保存されます。

クルーズコントロールを作動解除する

- ブレーキ、クラッチまたはスロットルグリップ(スロットルを基本位置よりさらに戻し、完全に閉じる) を操作し、クルーズコントロールを作動解除します。
» クルーズコントロール用表示灯が消灯します。

前回の速度を再設定する

- ボタン **1** を短時間後方へ押し、再び、メモリーされている車速にします。

注意事項

スロットルを操作することでは、クルーズコントロールは作動解除されません。たとえ登録速度以下に減速するつもりでも、スロットルグリップから手を放した後、速度は登録速度までしか下がりません。◀

クルーズコントロールの表示灯が点灯します。

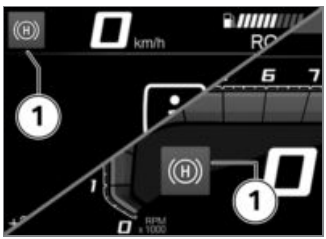
クルーズコントロールを OFF にする

- スイッチ **1** を左方向へずらします。
» システムが OFF になります。
» ボタン **2** が機能していません。

発進アシスタント

– 走行モードPro[OE]装備

表示



発進アシストのアイコン **1** は、Pure Ride 画面と上側のステータス欄に表示されます。

Hill Start Control の操作

前提条件

車両が立っていること。

重要事項

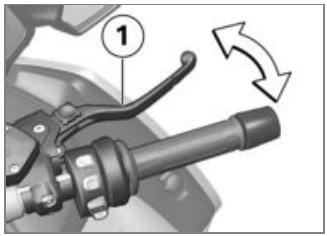
エンジンまたはイグニッション OFF、サイドスタンドの展開、時間超過(約 20 分) または故障時

Hill Start Control のブレーキ機能停止

- 車両を必ず手動ブレーキで固定します。◀

注意事項

発進アシストHill Start Control は登り坂での発進をより容易にするための単なるコンフォートシステムであり、パーキングブレーキと混同してはなりません。◀



- パーキングブレーキレバー **1** を強く握り、素早く再び放します。

停止アイコンが表示されます。

» Hill Start Control は作動しています。

- Hill Start Control をオフにするには、パーキングブレーキレバー **1** を再度握ります。

停止アイコンが非表示になります。

- またはその代わりに 1 速ギアまたは 2 速ギアで発進します。

注意事項

発進時にHill Start Control は自動的に作動解除されます。◀

ジェネラル警告灯 (黄) が点滅します。

停止アイコンが短く点滅します。

ブレーキを完全に開放した後、停止アイコンが非表示になります。

» Hill Start Control は OFF の状態です。
- Hill Start Control に関する詳細な情報については、「技術情報」の章を参照してください。

» 発進アシスタント機能 (➠ 148)

盗難警報装置(DWA)

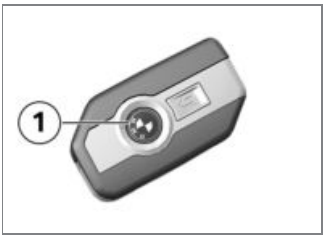
作動

– 盗難警報装置 (DWA) 装備[OE]

- イグニッションを ON にする(➠ 50)。
- 盗難防止装置の適合(➠ 80)。
- イグニッションを OFF にします。

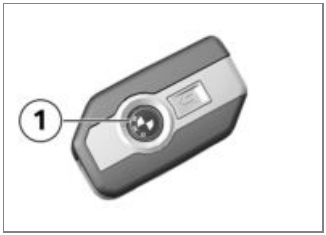
» DWA をオンにすると、イグニッションオフ後に DWA が自動的に作動します。
» 作動状態にするには約 30 秒かかります。
» ウインカーが 2 回点灯します。
» 操作音が 2 回鳴ります (プログラミングされている場合)。
» DWA はオンの状態です。

– Keyless Ride[OE] 装備



- イグニッションを OFF にします。
- 無線キーのボタン **1** を 2 回押します。

» 作動状態にするには約 30 秒かかります。
» ウインカーが 2 回点灯します。
» 操作音が 2 回鳴ります (プログラミングされている場合)。
» DWA はオンの状態です。



- モーションセンサーをオフにするには (モーターサイクルを列車で輸送し、激しい動きでアラームが作動するおそれがある場合など)、無線キーのボタン **1** をオンになる間に再度押します。

» ウインカーが 3 回点灯します。
» 確認音が 3 回鳴ります (プログラミングされている場合)。
» モーションセンサーはオフの状態です。

アラーム信号

– 盗難警報装置 (DWA) 装備[OE]

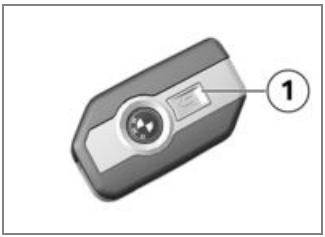
DWA アラームの発報は、以下によっても引き起こされることがあります :

– モーションセンサー
– 不正な車両キーによる始動の試み。
– DWA を車両バッテリーから取り外す (DWA バッテリーが電源供給。アラーム音のみ、ウインカーの点灯なし)

DWA バッテリーが放電している場合、車両バッテリーからの取り外し時のアラームの発報が行われなくなる以外は、全機能が保持されたままになります。

アラームの発報時間は約 26 秒です。発報中は、アラーム音が鳴り、ウインカーが点滅します。アラーム音の種類はBMW Motorrad ディーラーで調整することができます。

– Keyless Ride[OE] 装備



作動したアラームは、DWA をオフにすることなく、無線キーのボタン **1** でいつでも中断することができます。

ライダー不在時にアラームが発報していた場合には、イグニッションを ON にした時にアラーム音が 1 回鳴ってそれを知らせます。引き続き、DWA LED がアラームの原因について 1 分間、信号を発信します。

DWA LED のライト信号 :

– 1 回点滅 : モーションセンサー 1

– 2 回点滅 : モーションセンサー 2
– 3 回点滅 : 不正なキーを使用して、イグニッションが ON にされた
– 4 回点滅 : 車両バッテリーから DWA が取り外されている
– 5 回点滅 : モーションセンサー 3

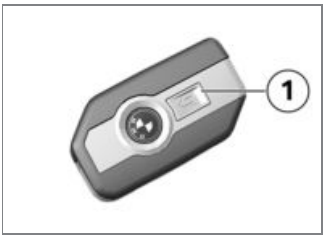
作動解除

– 盗難警報装置 (DWA) 装備OE

- イグニッションキルスイッチを通常の操作ポジションにします。
- イグニッションを ON にします。

» ウインカーが 1 回点灯します。
» 操作音が 1 回鳴ります (プログラミングされている場合)。
» DWA は OFF の状態です。

– Keyless RideOE 装備



- 無線キーのボタン **1** を 1 回押します。

注意事項

アラーム機能がリモートコントロールを介して OFF になり、そのままイグニッションが ON にされない場合、「イグニッション OFF 後に ON の状態にする」がプログラミングされていると、アラーム機能は 30 秒後に自動的に再び ON の状態になります。◀

» ウインカーが 1 回点灯します。
» 操作音が 1 回鳴ります (プログラミングされている場合)。
» DWA は OFF の状態です。

盗難防止装置の適合

- イグニッションを ON にする (➠ 50)。
- メニュー Settings、Vehicle settings、Alarm system を呼び出します。

» 以下の設定が可能です :
– Warning signal の調整
– Tilt sensor を ON または OFF にする
– Arming tone を ON または OFF にする
– Arm automatically を ON または OFF にする
» 調整 (➠ 80)

調整

Warning signal: 次第に強くなる / 弱くなる、または断続的なアラーム音を設定します。
Tilt sensor: 傾斜センサーを作動させて、車両の傾きをモニター

します。DWA はホイール盗難や牽引などの際に反応します。

注意事項

車両の輸送時には傾斜センサーを無効にして、DWA の作動を防止してください。◀

Arming tone: DWA の ON / OFF 後に、ウインカーの点灯に加えて鳴る確認アラーム音。
Arm automatically: イグニッションオフ時におけるアラーム機能の自動作動。

タイヤ空気圧コントロール(RDC)

– 走行モードPro[OE]装備

最小圧力警告を ON または OFF にする

- タイヤの最小圧力は自由に選択可能です。最小圧力に到達した時点で、最小圧力警告を表示させることができます。
- メニューSettings、Vehicle settings、RDC を呼び出します。
- Min. pressure alarm を ON または OFF にします。

グリップヒーター

– グリップヒーター装備[OE]

グリップヒーターの操作

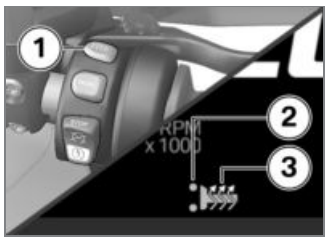
注意事項

グリップヒーターは、エンジン作動時にのみ作動させることができます。◀

注意事項

低回転域では、グリップヒーターによって電力消費が増すことによりバッテリーの放電に至ることがあります。バッテリーの充電が十分でない場合、始動性能を保持するために、グリップヒーターが OFF になります。◀

- エンジンを始動する(➠ 121)。



- ボタン **1** を繰り返し押して、希望の暖房レベル **2** をグリップヒーターアイコン **3** の前に表示させます。

グリップは 2 段階で暖めることができます。

ヒーター出力 50%

ヒーター出力 100%

» 2 段階目ではグリップを急速に温めることができます。その後、1 段階目に切り替えてください。
» それ以上変更が行われないと、選択した暖房レベルが設定されます。
- グリップヒーターを OFF にするには、ボタン **1** を繰り返し押して、グリップヒーターアイコン **3** を非表示にします。

オンボードコンピューター

オンボードコンピューターを呼び出す

- メニューMy Vehicle を呼び出します。
- 右にめくり続けて、メニュー画面ON-BOARD COMPUTER を表示させます。

オンボードコンピューターをリセットする

- オンボードコンピューターを呼び出す(➠ 82)。
- MENU ロッカーボタンの下を押します。
- Reset all values またはReset individual values を選択して確定します。

以下の値を個別にリセットすることができます：
– Break
– Journey
– Current
– Ø Speed
– Ø Consump.

トリップボードコンピューターを呼び出す

- オンボードコンピューターを呼び出す(➠ 82)。
- 右にめくり続けて、メニュー画面TRIP COMPUTER を表示させます。

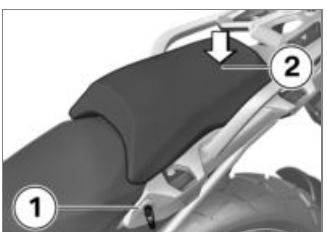
トリップボードコンピューターをリセットする

- トリップボードコンピューターを呼び出す(➠ 82)。
- MENU ロッカーボタンの下を押します。
- Autom. reset またはReset all を選択して確定します。

フロントおよびリヤシート

リヤシートを取り外す

- 平坦で、固くしっかりとした路面に、モーターサイクルを駐車します。



- シートロック **1** を車両キーを使用して右へ回して保ちます。その際、リヤシートの後部 **2** を保持しながら押し下げます。

- リヤシート前部を持ち上げ、キーを放します。
- シートを取り外し、シートのカバー側を下にして、平坦で清潔な場所に置きます。

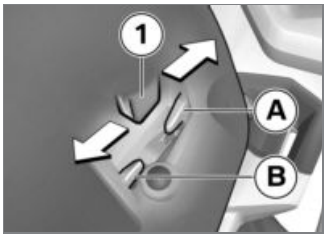
リヤシートを取り付ける

重要事項

コンポーネントの損傷

センサーなどの故障、それに起因する機能不良

- ライダーまたはリアシートの下に物を搬送しないようにします。
- ツールキットをロックします。◀



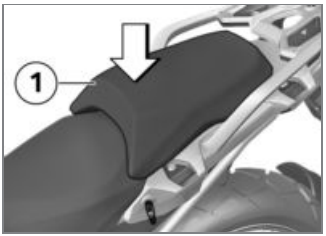
- リアシートの調整方向はライダーシートポジションに応じて考慮します。

– リヤシートは 2 種類のシート位置に設定することができます。

- 両シャックル **1** を用いて、リアシートをホルダーの中央にあてます。

– リアシートの後ろ側位置： リアシートを後方 **A** に押します。
– リアシートの前側位置： リアシートを前方 **B** に押します。

» リヤシートのタブ **1** が正しく固定されます。

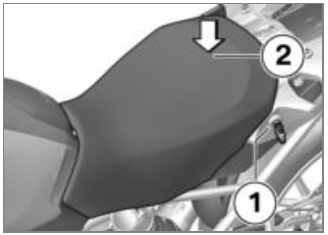


- リヤシート **1** 前部を力を込めて押し下げます。

» リヤシートが音をたててかみ合います。

フロントシートを取り外す

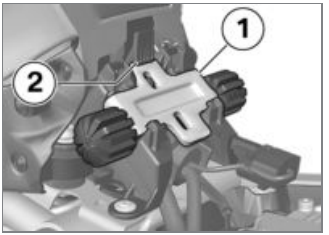
- リヤシートを取り外す(➠ 82)。



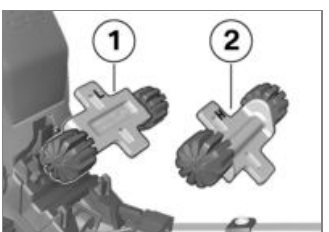
- シートロック **1** を車両キーを使用して左へ回して保ちます。その際、ライダーシートの後部 **2** を保持しながら押し下げます。
- ライダーシート後部を持ち上げ、キーを放します。
- ライダーシートを取り外し、シートのカバー側を下にして、平坦で清潔な場所に置きます。

フロントシート高さと傾きの調整

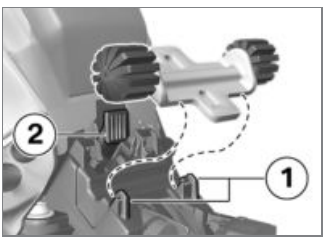
- フロントシートを取り外す(➠ 83)。



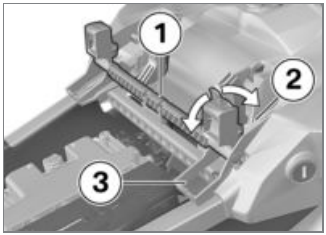
- フロントの高さ調整 **1** を取り外すには、ロック **2** を前方へ押し、高さ調整を上方へ取り外します。



- 低いシート位置を調整するには、フロントの高さ調整を **1** の位置に取り付けます (識別ラベル L)。
- 高いシート位置を調整するには、フロントの高さ調整を **2** の位置に取り付けます (識別ラベル H)。



- フロントの高さ調整をまずホルダー **1** の下にスライドさせ、引き続きロック **2** をはまる音がするまで押し込みます。



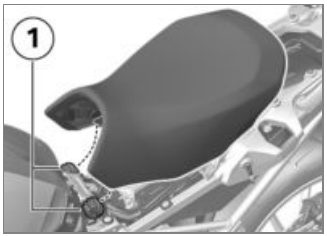
- 低いシート位置を調整するには、リアの高さ調整 **1** を **3** の位置に動かします (識別ラベル L)。
- 高いシート位置を調整するには、リアの高さ調整 **1**を **2** の位置に動かします (識別ラベル H)。

シート傾きを変更する場合:

- フロントとリアの高さ調整を様々に位置決めします。

フロントシートを取り付ける

- リヤシートを取り外す(➠ 82)。
- フロントシート高さと傾きの調整(➠ 84)。



- ライダーシートを左右のホルダー **1** にセットし、モーターサイクルにゆったりと置きます。
- ライダーシートの後部を、前方へ押した後に、ロックがはまる音がするまで力強く下方へ押します。

TFT ディスプレイ

一般的な情報 88
原理 89
Pure Ride 画面..... 95
一般的な設定 97
Bluetooth 98
私の車両..... 102
Navigation 105
メディア..... 107
TEL..... 107
GPS 同期を ON または OFF にする..... 108
ソフトウェアバージョンを表示する..... 108
ライセンス情報を表示する 108

一般的な情報

警告

警告

走行時もしくはエンジン作動時のスマートフォン操作

事故の危険

- それぞれ適用されている道路交通規則を遵守してください。
- 走行時には使用しないでください (ハンズフリーユニットを介する通話など操作を必要としない使用は除く)。◀

警告

交通状態から注意が逸れ、制御不能になる危険

統合型情報システムおよび通信機器を走行中に操作することで事故を起こす危険

- これらのシステムおよび装置の操作は、それが可能な交通状況のもとでのみ行ってください。
- 必要に応じて停車し、システムまたは装置を停止状態で操作してください。◀

Connectivity 機能

Connectivity 機能にはメディア、電話とナビゲーション領域が含まれます。Connectivity 機能は、TFT ディスプレイが携帯端末機器およびヘルメットと接続されている場合に利用することができます (➠ 99)。Connectivity 機能に関する詳細情報はこちらを参照してください：**bmw-motorrad.com/connectivity**

注意事項

燃料タンクが携帯端末機器と TFT ディスプレイの間にあると、Bluetooth 接続が制限される可能性があります。BMW Motorrad は、携帯端末機器を燃料タンクの上 (ジャケットポケットの中など) に収納することをお勧めします。◀

注意事項

携帯端末機器によっては、Connectivity 機能の範囲が制限される可能性があります。◀

BMW Motorrad Connected App

BMW Motorrad Connected App で、利用情報および車両情報を呼び出すことができます。ナビゲーションなどの一部の機能を利用するには、App を携帯端末機器にインストールして、TFT ディスプレイと接続しておく必要があります。App を使用して目的地ガイドをスタートさせて、ナビゲーションを調整します。

注意事項

iOS オペレーティングシステム搭載機器などの一部の携帯端末機

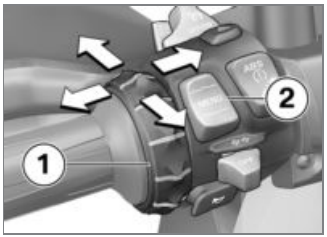
器では、使用前にBMW Motorrad Connected App を呼び出す必要があります。◀

本書の記述について

編集終了後に TFT ディスプレイが更新されることがあります。そのため、本書の記述が実際のモーターサイクルとは異なる場合があります。更新情報はこちらを参照してください：
bmw-motorrad.com

原理

操作エレメント



ディスプレイの全内容の操作は、マルチコントローラー **1** およびMENU ロッカーボタン **2** で行います。
状況に応じて以下の機能が可能です。

マルチコントローラーの機能

マルチコントローラーを上に回す：
- リストのカーソルを上に移動させます。
- 設定を行います。
- 音量を上げます。

マルチコントローラーを下に回す：
- リストのカーソルを下に移動させます。
- 設定を行います。
- 音量を下げます。

マルチコントローラーを左に傾ける：
- 機能を操作フィードバックに従って作動させます。
- 機能を左に、または前に戻るように作動させます。
- 設定後、メニュー画面に戻ります。
- メニュー画面で：一階層上に切り替えます。
- 私の車両メニューで：メニュー画面を先にめくります。

マルチコントローラーを右に傾ける：
- 機能を操作フィードバックに従って作動させます。

– 選択を確定します。
– 設定を確定します。
– メニューステップを先にめくります。
– リストで右にスクロールします。
– 私の車両メニューで: メニュー画面を先にめくります。

MENU ロッカーボタンの機能

注意事項

メニューNavigation が呼び出されていない場合、ナビゲーション指示はダイアログ画面として表示されます。MENU ロッカーボタンの操作は一時的に制限されます。◀

MENU の上を短押しする:

– メニュー画面で: 一階層上に切り替えます。
– Pure Ride 画面で: ライダー情報ステータス欄の表示を切り替えます。

MENU の上を長押しする:

– メニュー画面で: Pure Ride 画面を開きます。
– Pure Ride 画面で: 操作焦点を Navigator に切り替えます。

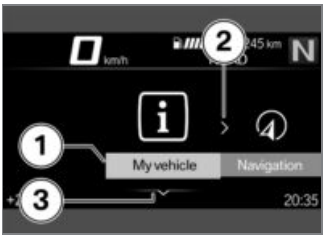
MENU の下を短押しする:

– 一階層下に切り替えます。
– 最下層に達した場合は機能しません。

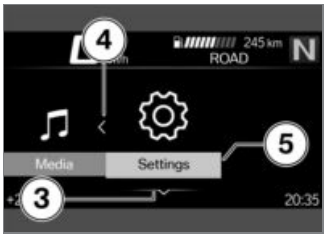
MENU の下を長押しする:

– MENU ロッカーボタンの上を長押ししてメニューを切り替えた後に、前回呼び出したメニューに戻ります。

スタートメニューでの操作情報



操作情報は、どのような操作が可能 / 不可能であるかを示します。

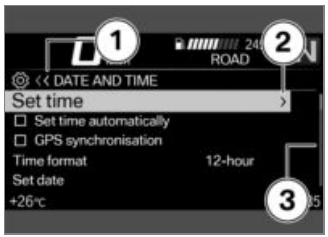


操作情報の意味：

- 操作情報 **1**: 左端に達しています。
- 操作情報 **2**: 右にめくることができます。
- 操作情報 **3**: 下にめくることができます。
- 操作情報 **4**: 左にめくることができます。
- 操作情報 **5**: 右端に達しています。

サブメニューの操作情報

スタートメニューの操作情報に加えて、サブメニューにもそれ以外の操作情報があります。



操作情報の意味：

- 操作情報 **1**: 現在の表示は階層メニューの中にあります。アイコンはサブメニュー階層を示します。2 つのアイコンはサブメニュー階層が 2 つ以上あることを示します。上の階層に戻れるかどうかに応じて、アイコンの色は変化します。
- 操作情報 **2**: さらにサブメニュー階層を呼び出すことができます。
- 操作情報 **3**: 項目の数が表示できる数を超えています。

Pure Ride 画面を表示する

- MENU ロッカーボタンの上を長押しします。

機能を ON または OFF にする

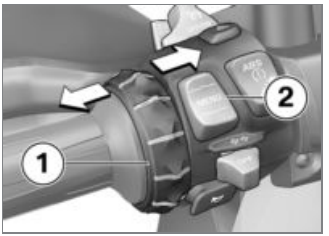
メニュー項目の一部の前にはボックスが表示されています。このボックスは、機能が ON または OFF であるかを示しています。メニュー項目の後ろにあるアク

ションアイコンは、マルチコントローラーを右に短く傾けると何がどのように切り替わるのかを具体的に示しています。

ON と OFF の例：

– アイコン **1** は、機能が ON であることを示しています。
– アイコン **2** は、機能が OFF であることを示しています。
– アイコン **3** は、機能を OFF にできることを示しています。
– アイコン **4** は、機能を ON にできることを示しています。

メニューの呼出し



- Pure Ride 画面を表示する(➠ 91)。
- ボタン **2** を下方向へ短く押します。

以下のメニューを呼び出すことができます：

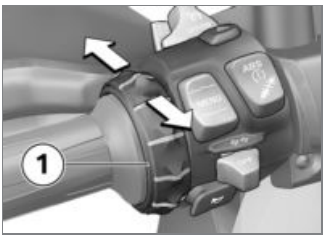
– My Vehicle
– Navigation
– Media
– Telephone
– Settings

- マルチコントローラー **1** を右に繰り返し短押しして、希望のメニュー項目をマークします。
- ボタン **2** を下方向へ短く押します。

注意事項

メニューSettings は停止状態でのみ呼び出すことができます。◀

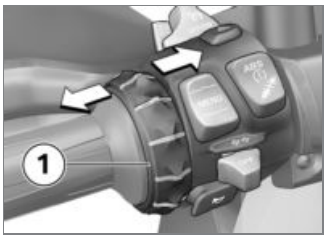
リストのカーソルを移動させる



- メニューの呼出し(➠ 92)。
- リストのカーソルを下に移動させるには、希望の項目がマークされるまで、マルチコントローラー **1** を下に回します。
- リストのカーソルを上に移動させるには、希望の項目がマーク

されるまで、マルチコントローラー **1** を上に回します。

選択を確定する



- 希望の項目を選択します。
- マルチコントローラー **1** を右に短押しします。

前回使用したメニューを呼び出す

- Pure Ride 画面で：MENU ロッカーボタンの下を長押しします。

» 前回使用したメニューが呼び出されます。前回マークした項目が選択されています。

操作焦点の切替

– ナビゲーションシステム用取付けキット装備[OE]

Navigator が接続されている場合、Navigator と TFT ディスプレイの操作を切り替えることができます。

操作焦点を切り替える

– ナビゲーションシステム用取付けキット装備[OE]

- ナビゲーションユニットをしっかりと取り付ける(➠ 197)。
- Pure Ride 画面を表示する(➠ 91)。
- MENU ロッカーボタンの上を長押しします。

» 操作焦点がNavigator または TFT ディスプレイに切り替わります。左の上側のステータス欄に、その都度有効になっている装置がマークされます。操作焦点を改めて切り替えるまで、操作行為の対象はその都度有効になっている装置となります。

» ナビゲーションシステムを操作する (➠ 198)

システムステータスの表示

機能が ON または OFF になると、システムステータスは下側のメニュー領域に表示されます。

システムステータスの意味の例：

– システムステータス **1**：ASC/DTC 機能が ON です。

– システムステータス **2**：ABS 機能が OFF です。

ライダー情報ステータス欄の表示を切り替える

前提条件

車両が立っていること。
Pure Ride 画面が表示されていること。

- イグニッションを ON にする(➠ 50)。

» TFT ディスプレイには、公道走行用に必要なすべての情報がオンボードコンピューターから提供されます。この情報は上側のステータス欄に表示することができます。

- ライダー情報ステータス欄の内容を選択する(➠ 95)。

- ボタン **1** を長押しして、Pure Ride 画面を表示させます。
- ボタン **1** を繰り返し短押しして、上側のステータス欄 **2** の値を選択します。

以下の値を表示することができます：

– オドメーターTotal
– トリップメーター 1 Current
– トリップメーター 2 Current
– 瞬間燃料消費量Consumption
– 平均燃費 1
– 平均燃費 2
– 走行時間 1
– 走行時間 2
– 休止時間 1
– 休止時間 2
– 平均速度 1
– 平均速度 2
– タイヤ充填圧
– 燃料残量メーター。
– 走行可能距離

ライダー情報ステータス欄の内容を選択する

- メニュー Settings、Display、Status line content を呼び出します。
- 希望の表示を ON にします。

» ライダー情報ステータス欄では、選択した表示の中で切り替えることができます。表示が選択されていない場合は、走行可能距離のみが表示されます。

設定を行う

- 希望の設定メニューを選択して確定します。
- マルチコントローラー **1** を下に回して、希望の設定をマークします。
- 操作情報がある場合は、マルチコントローラー **1** を右に傾けます。
- 操作情報がない場合は、マルチコントローラー **1** を左に傾けます。

» 設定が保存されました。

制限速度情報を ON または OFF にする

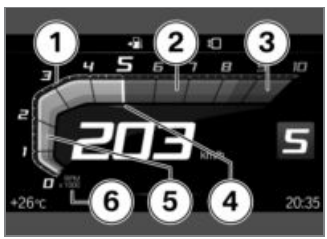
前提条件

車両が Navigator または互換性のある携帯端末機器と接続されていること。携帯端末機器に BMW Motorrad Connected App がインストールされていること。

- Speed Limit Info は現在の許容最高速度を示します。
- メニュー Settings、Display を呼び出します。
- Speed Limit Info を ON または OFF にします。

Pure Ride 画面

エンジン回転数表示



1 目盛り
2 低回転域
3 高回転域 / レッドゾーン
4 針
5 バーグラフ表示
6 回転数表示の単位 : 1000 rpm

注意事項

レッドゾーンはオイル温度に応じて変化します。
エンジンの温度が低ければ低いほど、レッドゾーンが始まる回転数は低くなります。
エンジンの温度が高ければ高いほど、レッドゾーンが始まる回転数は高くなります。
作動温度に到達すると、レッドゾーンの表示は変化しなくなります。
回転数が高すぎると、目盛り全体が点滅します。
シフトアップ推奨も状況に応じて変化しながら適合されます。◀

Range

走行可能距離 **1** は、残りのフューエルであとどれだけ走行できるかを示します。算出は、平均燃費およびフューエルレベルに基づいて行われます。

– モーターサイクルがサイドスタンドで立てられている場合、その傾きのために、フューエルレベルが正確に測れないおそれがあります。そのため、走行可能距離の新算出はサイドスタンドを格納した状態でのみ行われます。
– 走行可能距離はフューエルリザーブ容量に到達した後に、警告と共に通知されます。
– 燃料補給後に、フューエルレベルがフューエルリザーブ容量を超えている場合、走行可能距離は新たに算出されます。
– 算出された走行可能距離は、概算数値です。

シフトアップ推奨

シフトアップ推奨 **1** は燃費面で最良のシフトアップ時点を知らせます。

一般的な設定

音量を調整する

- ライダー用ヘルメットとパッセンジャー用ヘルメットを接続する(➠ 100)。
- 音量を上げる： マルチコントローラーを上に回します。
- 音量を下げる： マルチコントローラーを下に回します。
- ミュートにする： マルチコントローラーを一番下まで回します。

日付設定

- イグニッションを ON にする(➠ 50)。
- メニュー—Settings、System settings、Date and time、Set date を呼び出します。
- Day、Month およびYear を設定します。
- 設定を確定します。

日付形式を設定する

- メニュー—Settings、System settings、Date and time、Date format を呼び出します。
- 希望の設定を選択します。
- 設定を確定します。

時計を調整する

- イグニッションを ON にする(➠ 50)。

⚠ 警告

走行中の時計の調整

事故の危険

- 時計の調整は、必ずモーターサイクルを停止させた状態で行ってください。◀

- メニュー—Settings、System settings、Date and time、Set time を呼び出します。
- Hour およびMinute を設定します。

自動時間設定を ON または OFF にする

注意事項

仕様によっては、時刻は自動的に更新されます。◀

⚠ 警告

走行中の時計の調整

事故の危険

- 時計の調整は、必ずモーターサイクルを停止させた状態で行ってください。◀

- メニュー—Settings、System settings、Date and time を呼び出します。
- Set time automatically を ON または OFF にします。

時刻形式を設定する

⚠ 警告

走行中の時計の調整

事故の危険

- 時計の調整は、必ずモーターサイクルを停止させた状態で行ってください。◀

- メニュー—Settings、System settings、Date and time、Time format を呼び出します。
- 希望の設定を選択します。
- 設定を確定します。

単位を設定する

- メニュー—Settings、System settings、Units を呼び出します。

設定可能な単位は以下の通りです：

– 走行距離
– 圧力
– 温度
– 車速
– 燃費

言語を設定する

- メニュー—Settings、System settings、Language を呼び出します。

設定可能な言語は以下の通りです：

– 中国語
– ドイツ語
– 英語
– スペイン語
– フランス語
– イタリア語
– オランダ語
– ポルトガル語
– ロシア語
– ウクライナ語

明るさを調整する

- メニュー—Settings、Display、Brightness を呼び出します。
- 明るさを調整します。

すべての設定をリセットする

- メニュー—Settings の全設定は、初期設定にリセットすることができます。
- メニュー—Settings を呼び出します。
- Reset all を選択して確定します。

以下のメニューの設定がリセットされます：

– Vehicle settings
– System settings
– Connections
– Display
– Information

» 既存の Bluetooth 接続は削除されません。

Bluetooth

近距離無線技術

Bluetooth 機能は、国別の仕様や状況により、提供されない場合があります。

Bluetooth では、周辺の無線技術が問題となります。Bluetooth 機器はショートレンジデバイス(限定された受信可能距離で伝送)として、使用料のかからない 2,402 GHz～ 2,480 GHz の ISM 帯(産業、科学および医療帯)で通信します。このデバイスは世界中で自由に使用することができます。
Bluetooth は、接続を短距離でできるかぎり確実に確立するように設計されてはいるものの、各種の無線技術により障害が発生するおそれがあります。接続が阻害されたり、短時間中断されたり、まったく機能しなくなることもありえます。特に、複数の機器を 1 つの Bluetooth ネットワークで利用している場合、あらゆる状況で操作がスムーズに行われるという保証はありません。

考えられるノイズ源:
– 電波塔などによる妨害磁界。
– 実装されている Bluetooth 標準規格が不十分な機器
– 周辺に他の Bluetooth 対応機器がある

Pairing

2 つの Bluetooth 機器を相互接続する前に、相互認識を行う必要があります。この相互認識の手順を「ペアリング」と言います。一度認識したデバイスはメモリーされるので、ペアリングの作業は最初に行うだけですみます。

注意事項

iOS オペレーティングシステム搭載機器などの一部の携帯端末機器では、使用前にBMW Motorrad Connected App を呼び出す必要があります。◀

ペアリングの際、TFT ディスプレイは自分の受信範囲内にある他の Bluetooth 対応機器をサーチします。ユニットが認識されるためには、以下の条件が満たされなくてはなりません。
– 機器の Bluetooth 機能がオンになっていること
– 機器が他の機器から「検知可能」になっていること
– ユニットはレシーバーとして A2DP プロファイルをサポートしていなければなりません。
– その他の Bluetooth 対応機器が OFF になっていなければなりません(携帯電話やナビゲーションシステムなど)。

そのために必要な手順については、お客様コミュニケーションシステムの取扱説明書を確認してください。

ペアリングを行う

- メニュー—Settings、Connections を呼び出します。

» メニューCONNECTIONS で Bluetooth 接続を確立し、管理し、削除することができます。以下の Bluetooth 接続が表示されます：
– Mobile device
– Rider's helmet
– Passenger helm.
携帯端末機器の接続ステータスが表示されます。

携帯端末機器を接続する

- ペアリングを行う(➠ 99)。
- 携帯端末機器の Bluetooth 機能を有効にします (携帯端末機器の取扱説明書を参照)。
- Mobile device を選択して確定します。
- PAIR NEW MOBILE DEVICE を選択して確定します。

携帯端末機器をサーチします。

ペアリング中、Bluetooth アイコンが下側のステータス欄で点滅します。

認識可能な携帯端末機器が表示されます。

- 携帯端末機器を選択して確定します。
- 携帯端末機器の指示に従います。
- コードが一致していることを確認します。

» 接続が確立され、接続ステータスが更新されます。
» 接続が確立されない場合、「テクニカルデータ」の章のトラブルシューティングが解決に役立つ可能性があります。(➠ 211)
» 携帯端末機器に応じて、電話データが車両に自動的に転送されます。
» 電話データ (➠ 108)
» 電話帳が表示されない場合、「テクニカルデータ」の章のトラブルシューティングが解決に役立つ可能性があります。(➠ 212)
» Bluetooth 接続が想定された通りに機能しない場合、「テクニカルデータ」の章のトラブルシューティングが解決に役立つ可能性があります。(➠ 212)

ライダー用ヘルメットとパッセンジャー用ヘルメットを接続する

- ペアリングを行う(➠ 99)。
- Rider's helmet もしくはPassenger helm. を選択して確定します。
- ヘルメットのコミュニケーションシステムを認識可能にします。
- PAIR NEW RIDER'S HELMET もしくはPAIR NEW PASSENG. HELMET を選択して確定します。

ヘルメットをサーチします。

ペアリング中、Bluetooth アイコンが下側のステータス欄で点滅します。

認識可能なヘルメットが表示されます。

- ヘルメットを選択して確定します。

» 接続が確立され、接続ステータスが更新されます。

» 接続が確立されない場合、「テクニカルデータ」の章のトラブルシューティングが解決に役立つ可能性があります。(➠ 211)

» Bluetooth 接続が想定された通りに機能しない場合、「テクニカルデータ」の章のトラブルシューティングが解決に役立つ可能性があります。(➠ 212)

接続を削除する

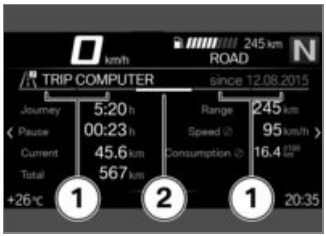
- メニュー—Settings、Connections を呼び出します。
- Delete connections を選択します。
- 接続を個別に削除するには、接続を選択して確定します。
- すべての接続を削除するには、Delete all connections を選択して確定します。

私の車両

スタート画面

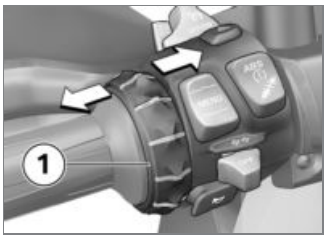
1 チェックコントロール表示表示 (➠ 24)
2 冷却水温警告灯 (➠ 38)
3 Range (➠ 96)
4 総走行距離
5 サービス表示 (➠ 47)
6 車両電装システム電圧 (➠ 178)
7 エンジンオイルレベル (➠ 38)

操作情報



– 操作情報 **1**: 左または右にどの程度めくることができるかを示すタブ。
– 操作情報 **2**: 現在のメニュー画面の位置を示すタブ。

メニュー画面でページをめくる



- メニューMy Vehicle を呼び出します。
- 右にめくるには、マルチコントローラー **1** を右に短押しします。
- 左にめくるには、マルチコントローラー **1** を左に短押しします。

以下の画面が私の車両メニューに含まれています:
– MY VEHICLE
– チェックコントロールメッセージ(ある場合)
– ON-BOARD COMPUTER
– TRIP COMPUTER
– SERVICE REQUIREMENTS

- タイヤ空気圧およびチェックコントロールメッセージに関する詳細情報は、「表示」の章に記載されています。

注意事項

チェックコントロールメッセージは状況によって変化しながら、私の車両メニューのメニュー画面に追加タブとして添付されます。◀

オンボードコンピューターとトリップボードコンピューター

メニュー画面ON-BOARD COMPUTER と TRIP COMPUTER は、平均値などの車両データと走行データを表示します。

サービスリクエスト

次回サービスまでの残余期間が1ヵ月を切るか、残余走行距離が1000 km を切ると、白いチェックコントロールメッセージが表示されます。

Navigation

警告

警告

走行時もしくはエンジン作動時のスマートフォン操作

事故の危険

- それぞれ適用されている道路交通規則を遵守してください。
- 走行時には使用しないでください (ハンズフリーユニットを介する通話など操作を必要としない使用は除く)。◀

警告

交通状態から注意が逸れ、制御不能になる危険

統合型情報システムおよび通信機器を走行中に操作することで事故を起こす危険

- これらのシステムおよび装置の操作は、それが可能な交通状況のもとでのみ行ってください。
- 必要に応じて停車し、システムまたは装置を停止状態で操作してください。◀

前提条件

車両が互換性のある携帯端末機器と接続されていること。

前提条件

接続されている携帯端末機器にBMW Motorrad Connected App がインストールされていること。

注意事項

iOS オペレーティングシステム搭載機器などの一部の携帯端末機器では、使用前にBMW Motorrad Connected App を呼び出す必要があります。◀

目的地アドレスを入力する

- 携帯端末機器を接続する(➠ 100)。
- BMW Motorrad Connected App を呼び出して、目的地ガイドをスタートさせます。
- TFT ディスプレイでメニュー—Navigation を呼び出します。

» アクティブ目的地ガイドが表示されます。

» アクティブ目的地ガイドが表示されない場合、「テクニカルデータ」の章のトラブルシューティングが解決に役立つ可能性があります。(➠ 213)

目的地を最近の目的地から選択する

- メニュー—Navigation、Recent destinations を呼び出します。
- 目的地を選択して確定します。
- Start route guidance を選択します。

目的地をお気に入りから選択する

- メニュー FAVOURITES には、BMW Motorrad Connected App にお気に入りとして保存されている目的地すべてが表示されます。TFT ディスプレイでは新しいお気に入りを登録することはできません。
- メニューNavigation、Favourites を呼び出します。
- 目的地を選択して確定します。
- Start guidance を選択します。

施設を入力する

- 観光名所などの施設を地図上に表示させることができます。
- メニューNavigation、POIs を呼び出します。

以下の場所を選択することができます：

– At current location
– At destination
– Along the route

- 施設を検索する場所を選択します。

例えば以下の施設を選択することができます：

– Filling station

- 施設を選択して確定します。
- Start route guidance を選択して確定します。

ルート基準を決定する

- メニューNavigation、Route criteria を呼び出します。

以下の基準を選択することができます：

– Route type
– Avoid

- 希望のRoute type を選択します。
- 希望のAvoid を ON または OFF にします。

有効になっている除外対象の数が括弧の中に表示されます。

目的地ガイドを終了する

- メニューNavigation、Active route guidance を呼び出します。
- End route guidance を選択して確定します。

音声指示を ON または OFF にする

- ライダー用ヘルメットとパッセンジャー用ヘルメットを接続する(➠ 100)。
- ナビゲーションはコンピューター音声による読み上げが可能です。それを行うには、Spoken instruction を ON にする必要があります。
- メニューNavigation、Active route guidance を呼び出します。
- Spoken instruction を ON または OFF にします。

前回の音声指示を繰り返す

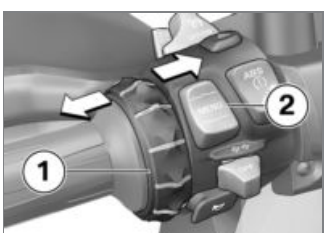
- メニュー—Navigation、Active route guidance を呼び出します。
- Current instruction を選択して確定します。

メディア

前提条件

車両が互換性のある携帯端末機器および互換性のあるヘルメットと接続されていること。

音楽の再生を操作する



- メニュー—Media を呼び出します。

注意事項

BMW Motorrad は、走行開始前に携帯端末機器の音量を最大に設定することをお勧めします。◀

- 音量を調整する(➠ 97)。
- 次のトラック：マルチコントローラー **1** を右に短く傾けます。
- 前のトラックまたは現在のトラックの出だし：マルチコントローラー **1** を左に短く傾けます。
- 早送り：マルチコントローラー **1** を右に長く傾けます。
- 早戻し：マルチコントローラー **1** を左に長く傾けます。
- コンテキストメニューを呼び出す：ボタン **2** を下方向へ押します。

注意事項

携帯端末機器によっては、Connectivity 機能の範囲が制限される可能性があります。◀

» コンテキストメニューでは以下の機能が利用できます：

– Start playback または Pause playback。
– 検索および再生するには、カテゴリ—Now playing、All artists、All albums または All tracks を選択します。
– Playlists を選択します。

サブメニュー—Audio options で、以下の設定を行うことができます：

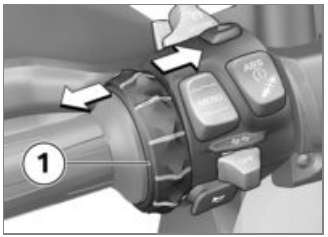
– Shuffle を ON または OFF にします。
– Repeat：Off、One (現在のトラック) または All を選択します。

TEL

前提条件

車両が互換性のある携帯端末機器および互換性のあるヘルメットと接続されていること。

電話する



- メニューTelephone を呼び出します。
- 電話に出る：マルチコントローラー **1** を右に傾けます。
- 電話を拒否する：マルチコントローラー **1** を左に傾けます。
- 通話を終了する：マルチコントローラー **1** を左に傾けます。

ミュートスイッチ

通話が有効な際に、ヘルメットのマイクロフォンをミュートに切り替えることができます。

複数の通話者との通話

通話中に二番目の電話に出ることができます。最初の通話は保留になります。有効な通話の数がメニューTelephone に表示されます。2 つの通話の間で切り替えることができます。

電話データ

携帯端末機器に応じて、ペアリング (➠ 99) 後に電話データが車両に自動的に転送されます。
Phone book: 携帯端末機器に保存されている連絡先のリスト
Call list: 携帯端末機器を使用した電話のリスト
Favourites: 携帯端末機器に保存されているお気に入りのリスト

GPS 同期を ON または OFF にする

- メニューSettings、System settings、Date and time を呼び出します。
- GPS synchronisation を ON または OFF にします。

ソフトウェアバージョンを表示する

- メニューSettings、Information、Software version を呼び出します。

ライセンス情報を表示する

- メニューSettings、Information、Licences を呼び出します。

調整

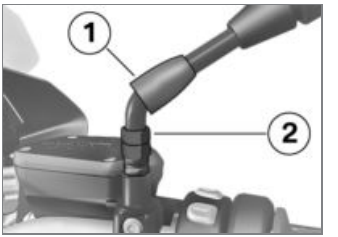
ミラー 110
ヘッドライト 110
ウインドシールド 111
クラッチ..... 112
ブレーキ..... 112
ハンドルバー 113
スプリングプリロード..... 113
ショックアブソーバー..... 114

ミラー

ミラーを調整する

- ミラーを回してご希望の位置に調整します。

ミラーアームを調整する



- ミラーアーム接続部にかぶせてある保護キャップ **1** を上へずらします。
- ナット **2** を外します。
- ミラーアームをご希望の位置に回します。
- ミラーアームを保持しながら、ナットをトルクで締め付けます。

ミラー (ロックナット) とアダプター
22 Nm (左ねじ)

- 保護キャップ **1** をボルトの上へずらします。

ヘッドライト

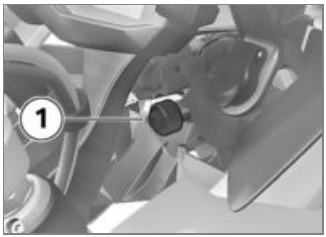
光軸およびスプリングプリロード

通常、積載条件に応じてスプリングプリロードを調整することにより、光軸は常に一定になります。
ただし、負荷が非常に高い場合には、スプリングプリロードを適切に調整することができません。その場合は、光軸を重量に応じて調整してください。

注意事項

光軸が正しく調整されているか疑わしい場合には、できればBMW Motorrad、もしくは専門の整備工場に調整状態を確認するよう依頼してください。◀

光軸を調整する



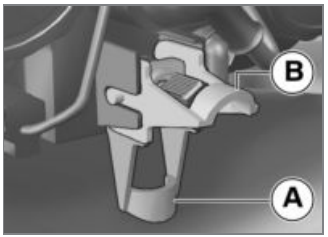
負荷が非常に高い場合には、対向車の目をくらませないように、スプリングプリロードを適切に調整することができません。

- アジャストノブ **1** を反時計回りに回して、ヘッドライトを下げます。

モーターサイクルを再度、積載を少なくして走行する場合：

- ヘッドライトの基本調整を専門の整備工場に、できれば、BMW Motorrad パートナーに依頼してください。

– LED ヘッドライト[OE] 装備



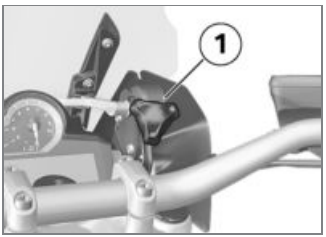
- 光軸の調整はスイングレバーによって行います。

– **A** 通常の光軸

– **B** 負荷が高い場合の光軸◁

ウインドシールド

ウインドシールドを調整する



警告

走行中のウインドシールドの調整

転倒の危険

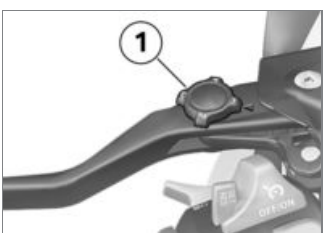
- ウインドシールドの調整は、必ずモーターサイクルを停止させた状態で行ってください。◀
- アジャストノブ **1** を時計回りに回して、ウインドシールドを下げます。
- アジャストノブ **1** を反時計回りに回して、ウインドシールドを上げます。

クラッチ

クラッチレバーを調整する

警告

走行中のクラッチレバーの調整
事故の危険
- クラッチレバーの調整は、必ずモーターサイクルを停止させた状態で行ってください。◀



- アジャストホイール **1** をご希望の位置に回します。

注意事項

その際、クラッチレバーを前へ押すとアジャストホイールを簡単に回すことができます。◀

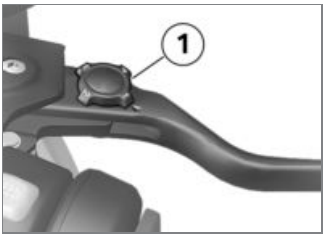
» 4 種類の設定が可能です：
– ポジション 1: ハンドルグリップとクラッチレバー間の距離は最小
– ポジション 4: ハンドルグリップとクラッチレバー間の距離は最大

ブレーキ

ブレーキレバーを調整する

警告

走行中のブレーキレバーの調整
事故の危険
- ブレーキレバーの調整は、必ずモーターサイクルを停止させた状態で行ってください。◀



- アジャストホイール **1** をご希望の位置に回します。

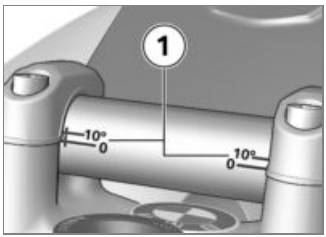
注意事項

その際、ブレーキレバーを前へ押すとアジャストホイールを簡単に回すことができます。◀

» 4 種類の設定が可能です：
– ポジション 1: ハンドルグリップとブレーキレバー間の距離は最小
– ポジション 4: ハンドルグリップとブレーキレバー間の距離は最大

ハンドルバー

調整式ハンドルバー



ハンドルバーはマーク **1** の領域で傾きを調整することができます。
BMW Motorrad ディーラーにハンドルバーの調整を依頼してください。

スプリングプリロード

– Dynamic ESA[OE]非装備

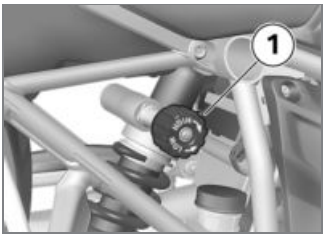
調整

リヤホイールのスプリングプリロードを、モーターサイクルの積載荷重に合わせて調整してください。積載荷重が重くなれば、スプリングプリロードを高く調整し、重量が軽くなれば、それに合わせてスプリングプリロードも低く調整する必要があります。

スプリングプリロードを調整する(リヤホイール)

⚠ 警告

走行中のスプリングプリロードの調整。
事故の危険
- スプリングプリロードの調整は、必ずモーターサイクルを停止させた状態で行ってください。◀
- 平坦で、固くしっかりとした路面に、モーターサイクルを駐車します。



⚠ 警告

スプリングプリロードとスプリングストラットダンピングの調整が適合していない。
走行特性の低下。
- スプリングストラットダンピングをスプリングプリロードに合わせて調整します。◀
- スプリングプリロードを高めるためには、アジャストノブ **1** を矢印方向に従ってHIGH へ回します。
- スプリングプリロードを低めるためには、アジャストノブ **1**

を矢印方向に従ってLOW へ回します。

リヤスプリングプリロード基本調整
アジャストノブをストップ位置まで LOW 方向に回す。(1 名乗車 + 荷物積載なし)
アジャストノブをストップ位置まで LOW 方向に回してから、15 回転分 HIGH 方向に回す。(1 名乗車 + 荷物積載)
アジャストノブをストップ位置まで LOW 方向に回してから、30 回転分 HIGH 方向に回す。(2 名乗車 + 荷物積載)

ショックアブソーバー

– Dynamic ESA[OE]非装備

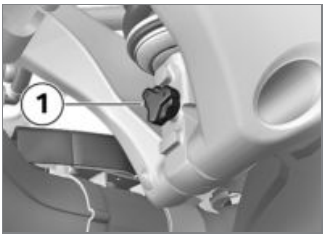
調整

ショックアブソーバーは、必ず路面状態およびスプリングプリロードに合わせて、調整してください。

– 凸凹のある路面では、平坦な路面の場合よりも、ショックアブソーバーはソフトに設定されている方が効果的です。
– スプリングプリロードが高い場合は、ショックアブソーバーもハードに調整し、スプリングプリロードが低い場合は、ショックアブソーバーもソフトに調整する必要があります。

ショックアブソーバーを調整する(リヤホイール)

- 平坦で、固くしっかりとした路面に、モーターサイクルを駐車します。
- ショックアブソーバーの設定を車両の左側面から実行します。



- ショックアブソーバーをハードにするには、アジャストスクリュー **1** を時計回りに回します。
- ショックアブソーバーをソフトにするには、アジャストスクリュー **1** を反時計回りに回します。

リヤショックアブソーバーの基本調整
アジャストノブを時計回りにストップ位置まで回してから、8 回カチッという音がするまで反時計回りに回す。(1 名乗車 + 荷物積載なし)

リヤショックアブソーバーの基本調整
アジャストノブを時計回りにストップ位置まで回してから、2 回カチッという音がするまで反時計回りに回す。(1 名乗車 + 荷物積載)
アジャストノブを時計回りにストップ位置まで回してから、2 回カチッという音がするまで反時計回りに回す。(積載荷重を伴う 2 名乗車)

走行

安全に関する注意事項..... 118
チェックリストを確認し、遵守する..... 121
走行開始のたびに 121
燃料補給 3 回目ごと..... 121
始動 121
慣らし走行 125
オフロード走行..... 125
ギヤチェンジ 127
ブレーキ..... 128
駐車する..... 129
給油 130
モーターサイクルを搬送用に固定します 134

安全に関する注意事項

ライダーエクイップメント

正しい装備品を装着 / 着用しないでモーターサイクルに乗ることは、極めて危険です。次のアイテムを、必ず装着 / 着用してください。

– ヘルメット
– ライディングスーツ
– グローブ
– ブーツ

走行距離の長短や天候にかかわらず、これらのアイテムは必ず装着 / 着用しなければなりません。BMW Motorrad ディーラーは喜んでご相談に応じます。また、それぞれの目的に合わせた、適切なアイテムをご用意しています。

最大許容バンク角の減少

– ローダウン装備[OE]

ローダウンシャシー仕様のモーターサイクルの場合、標準シャシー仕様のモーターサイクルと比べて、バンク角度が小さくなり、最低地上高も低くなります。

⚠ 警告

ローダウン仕様のモーターサイクルでコーナリングを行う場合に、車両部分を通常より早めに起こすことができます。

転倒の危険

- 車両の最大許容バンク角を注意深く確認し、走行スタイルをそれに合わせて調整してください。◀

危険のない状況で、ご使用のモーターサイクルの許容バンク角を点検してください。縁石の角や障害物などを乗り越えるときには、車両の最低地上高が低く制限されていることを考慮に入れてください。

モーターサイクルをローダウン仕様にすることにより、スプリングトラベルは短くなります(「テクニカルデータ」の章を参照)。それまでの走行快適性も制限される可能性があります。タンデム走行においては専用にスプリングプリロードを調整する必要があります。

荷物の積み込み

⚠ 警告

積載超過や不均等な積載により、走行安定性が損なわれる

転倒の危険

- 許容総重量を超えないようにし、積載に関する注意をお守りください。◀
- スプリングプリロードおよびショックアブソーバーの設定を車両重量に合わせて調整します。

– ケース[OA] 装備
- ケースの容量が左右均等になっているか確認します。
- 重量が左右均等になっているか確認します。
- 重いものはバッグの下部の内側に入れます。
- ケース内の注意ラベルに記載されている最大積載荷重および最高速度を遵守してください(「アクセサリー」の章も参照)。◁

– トップケース装備[OA]
- トップケース内の注意ラベルに記載されている最大積載荷重および最高速度を遵守してください(「アクセサリー」の章も参照)。◁

– タンクバッグ装備[OA]
- タンクバッグの最大容量に注意してください。

タンクバッグの積載容量

max 5 kg◁

車速

高速走行時には、さまざまな周辺状況が、モーターサイクルの走行特性に悪影響を及ぼす可能性があります:
– スプリングプリロードおよびショックアブソーバーの調整
– 荷物積載のアンバランス
– 不適切な服装
– タイヤ充填圧が低すぎる
– タイヤトレッドの摩耗
– その他

スパイクタイヤまたは冬タイヤを装着している場合の最高速度

危険

モーターサイクルの最高速度が、タイヤの許容最高速度を上回っている

高速すぎる場合、タイヤの損傷による事故の危険
- タイヤの許容最高速度を遵守してください。◀

スパイクタイヤまたは冬タイヤを装着している場合には、これらのタイヤの許容最高速度を確認し、遵守してください。
許容最高速度を記したステッカーを、メーターパネルの見える位置に貼ってください。

有毒物質

排気ガスは無色無臭ですが、たいへん有毒な一酸化炭素を含有しています。

⚠ 警告

健康を害するおそれのある排ガス

窒息の危険

- 排ガスを吸い込まないようにしてください。
- 閉め切った場所で、エンジンを作動させないでください。◀

火傷の危険

⚠ 注意

走行中のエンジンおよびエキゾーストシステムの過熱

火傷の危険

- 車両を駐車した後、誰も、何も、エンジンやエキゾーストシステムに触れないように注意してください。◀

触媒コンバーター

ミスファイヤによる未燃焼燃料がキャタライザーに流入する場合、異常過熱および損傷が発生する恐れがあります。

以下の基準を守ってください：

- フューエルタンクが空の状態で走行しない。
- スパークプラグコネクターを外したままエンジンを作動させない。
- ミスファイアが発生した場合は、ただちにエンジンを停止させる。
- 無鉛ガソリンのみを使用する。
- 指定されているメインテナンススケジュールを遵守する。

重要事項

触媒コンバーター内の未燃焼燃料

触媒コンバーターの損傷

- 触媒コンバーターの保護のため、作動ポイントに注意してください。◀

オーバーヒート

重要事項

長時間のアイドリング

冷却不足によるオーバーヒート、極端な場合には車両の燃焼

- エンジンを不必要にアイドリングしたままにしないでください。
- エンジンを始動したら、ただちに発進してください。◀

改造

重要事項

モーターサイクルの改造(例：エンジンマネジメントシステム、スロットルバタフライ、クラッチ)

関連するコンポーネントの損傷、安全に関わる機能の故障、保証の失効

- いかなる改造も行わないでください。◀

チェックリストを確認し、遵守する

- モーターサイクルを定期的に点検するため、以下のチェックリストを使用してください。

走行開始のたびに

- ブレーキシステムの機能を点検します。
- 照明および信号装置の機能を点検します。
- クラッチの機能を点検する(➠ 160)。
- タイヤのトレッド溝の深さを点検する(➠ 162)。
- タイヤ充填圧を点検する(➠ 162)。
- ケースおよび荷物が確実に固定されているか確認します。

燃料補給 3 回目ごと

– Dynamic ESA[OE]非装備
- リヤスプリングプリロードの調整(➠ 113)。

- ショックアブソーバーを調整する(リヤホイール) (➠ 114)。◁

– Dynamic ESA[OE]装備
- フレームを調整する(➠ 67)。◁

- エンジンオイルレベルを点検する(➠ 154)。
- フロントブレーキパッド厚を点検します(➠ 156)。
- リヤブレーキパッド厚を点検します(➠ 157)。
- フロントブレーキフルードレベルを点検する(➠ 158)。
- リヤブレーキフルードレベルを点検する(➠ 159)。
- クーラントレベルを点検します(➠ 160)。

始動

エンジンを始動する

- イグニッションを ON にします。

» Pre-Ride-Check が実行されます。(➠ 122)
» ABS 自己診断が実施されます。(➠ 123)
– 走行モードPro[OE]非装備
» ASC 自己診断が実施されます。(➠ 123)◁
– 走行モードPro[OE]装備
» DTC 自己診断が実施されます。(➠ 124)◁

- ニュートラルに設定するか、ギヤを入れた状態でクラッチを切ります。

注意事項

サイドスタンドを立てている状態でもギヤを入れることはできますが、モーターサイクルを発進させることはできません。モーターサイクルをニュートラルで始動させ、サイドスタンドを出し

た状態で 1 速に入れると、エンジンは停止します。◀

- コールドスタートおよび温度が低い場合： クラッチを引きます。

- スターターボタン **1** を操作します。

» エンジンが始動します。

» エンジンが始動しない場合は、「テクニカルデータ」の章のトラブルシューティングをご覧ください。(➠ 210)

始動操作を続ける前に、バッテリーを充電するか、ジャンプスタートを行ってください:

- 接続しているバッテリーを充電する(➠ 178)。
- 始動補助(➠ 176)。

注意事項

バッテリー電圧が十分でない場合、始動動作は自動的に中断されます。◀

Pre-Ride-Check (走行前点検)

イグニッションをオンにした後、メーターパネルにより表示灯および警告灯のテスト「Pre-Ride-Check」が実行されます。その終了前にエンジンを始動すると、テストは中断されます。

ステップ 1

すべての表示灯および警告灯がオンになります。

車両が比較的長い間停止状態にあった後にシステムをスタートされると、アニメーションが表示されます。

ステップ 2

ジェネラル警告灯が赤色から黄色に変わります。

ステップ 3

点灯した表示灯および警告灯が、逆の順序で次々に消灯します。

排気ガス警告灯が消灯するまで、15 秒かかります。

表示灯および警告灯の一つが点灯しない場合：

- できる限り早く、BMW Motorrad ディーラーに故障の修理を依頼してください。

ABS 自己診断

BMW Motorrad Integral ABS の作動可能状態が自己診断によって点検されます。自己診断は、イグニッションを ON にすると自動的に始まります。

ステップ 1

» 停止状態で診断可能なシステムコンポーネントの点検。

ABS インジケーター / 警告灯が点滅します。

ステップ 2

» 発進時のホイール回転数センサーの点検。

ABS インジケーター / 警告灯が点滅します。

ABS 自己診断が終了

» ABS 表示灯 / 警告灯が消灯します。

ABS 自己診断が終了していません

ABS は、自己診断が終了しなかったため、使用できません。(ホイール回転数センサーを点検するには、モーターサイクルが最低速度に達する必要があります： 5 km/h)

ABS 自己診断の終了後に、ABS の故障が表示される場合：

- 走行を続行することは可能です。ABS 機能もインテグラル機能も使用できないことに注意してください。
- できる限り早く、BMW Motorrad ディーラーに故障の修理を依頼してください。

ASC 自己診断

– 走行モードPro[OE]非装備

BMW Motorrad ASC の作動可能状態は、自己診断により点検されます。自己診断は、イグニッションを ON にすると自動的に始まります。

ステップ 1

» 診断可能なシステムコンポーネントを停止状態で点検します。

ASC インジケーター / 警告灯がゆっくりと点滅します。

ステップ 2

» 走行中に診断可能なシステムコンポーネントを点検します。

ASC インジケーター / 警告灯がゆっくりと点滅します。

ASC 自己診断が終了

» ASC 表示灯 / 警告灯が消灯します。

- すべてのインジケーター / 警告灯の表示に注意してください。

ASC 自己診断が終了していません

自己診断が終了しなかったため、ASC は使用できません。(ホイールセンサーを点検するには、モーターサイクルが最低速度に達する必要があります： min 5 km/h)

ASC 自己診断の終了後に、ASC の故障が表示される場合：

- 走行を続行することは可能です。ASC 機能が使用できないことに注意してください。
- できる限り早く、BMW Motorrad ディーラーに故障の修理を依頼してください。

DTC 自己診断

– 走行モード Pro[OE]装備

BMW Motorrad DTC の作動可能状態は、自己診断により点検されます。自己診断は、イグニッションを ON にすると自動的に始まります。

ステップ 1

» 停止状態で診断可能なシステムコンポーネントの点検。

DTC インジケーター / 警告灯がゆっくり点滅します。

ステップ 2

» 発進時に診断可能なシステムコンポーネントの点検。

DTC インジケーター / 警告灯がゆっくり点滅します。

DTC 自己診断が終了しました

» DTC アイコンが表示されなくなります。

- すべてのインジケーター / 警告灯の表示に注意してください。

DTC 自己診断が終了していません

自己診断が終了していないため、DTC 機能を使用できません。(ホイール回転数センサーの点検を行うには、モーターサイクルがエンジン作動状態で最低速度に達していなければなりません： min 5 km/h)

DTC 自己診断の終了後に、DTC の故障が表示される場合：

- 走行を続行することは可能です。DTC 機能が使用できない、または機能の使用に制限があることに注意してください。
- できる限り早く、BMW Motorrad ディーラーに故障の修理を依頼してください。

慣らし走行

エンジン

- 最初の慣らし運転までは、負荷範囲とエンジン回転数域を頻繁に変化させてください。一定の回転数での長時間の走行は避けてください。
- カーブが多く、なだらかな坂のある道を選び、十分に慎重な走行をするようにしてください。
- 慣らし走行中のエンジン回転数を順守してください。

慣らし走行中のエンジン回転数
<5000 min^{-1} (走行距離 0...1000 km)
フルロードなし (走行距離 0...1000 km)

- 慣らし運転を行う際に従うべき走行距離を守ってください。

慣らし運転までの走行距離
500...1200 km

ブレーキパッド

新品のブレーキパッドは、最適な摩擦力に達するまで、慣らし走行が必要です。この段階のブレーキの効きの弱さは、ブレーキレバーを強く握ることで補うことができます。

⚠ 警告

新しいブレーキパッド

制動距離の延長、事故を起こす危険

- 早めにブレーキングしてください。◀

タイヤ

新しいタイヤの表面はきわめてなめらかな状態です。したがって、表面が適度に荒れるまで、慎重に慣らし走行を行う必要があります。タイヤの持つ最大のグリップ力を引き出すためには、この慣らし手順を必ず実行してください。

⚠ 警告

路面が濡れている場合や著しく傾斜している場所で新しいタイヤのグリップが失われる

事故の危険

- よく前方に注意して走行し、急な傾斜のある場所は回避してください。◀

オフロード走行

オフロード走行用

ホイールリム

重要事項

未舗装道路走行を上回るオフロード走行

標準アルミリムの損傷

- 激しいオフロード走行では、オプションで提供しているクロ

ススポークホイールを使用してください。◀

オフロード走行後

BMW Motorrad はオフロード走行後に以下の点に注意することをお勧めします：

タイヤ充填圧

警告

オフロード走行用に低下させたタイヤ空気圧で舗装路を走行

走行特性の悪化により事故を起こす危険。

- タイヤ充填圧が正しいか確認してください。◀

ブレーキ

警告

未舗装路または汚れた道路での走行

ブレーキディスクとブレーキパッドの汚れによるブレーキ作用の遅延

- ブレーキの汚れが落ちるまで、早めにブレーキをかけてください。◀

重要事項

未舗装または汚れた道路での走行

ブレーキパッド摩耗の助長

- ブレーキパッドの厚さを頻繁に点検し、ブレーキパッドを早目に交換してください。◀

スプリングプリロードおよびショックアブソーバー

警告

オフロード走行用に変更したスプリングプリロードとスプリングストラット減衰力の値

舗装路での走行特性の悪化

- オフロードを離れる前に、スプリングプリロードとスプリングストラット減衰力を正しく調整してください。◀

ホイールリム

BMW Motorrad は、オフロード走行後に、ホイールリムが損傷していないか点検することをお勧めします。

エアフィルター

重要事項

エアフィルターエレメントの汚れ

エンジンの損傷

- 埃の多いオフロードで走行する場合には、エアクリーナーの汚れの点検を頻繁に行い、必要に応じて清掃または交換します。◀

非常に埃の多い条件下での走行(砂漠や乾燥した草原など)においては、専用に開発されたエアフィルターの使用が必要です。

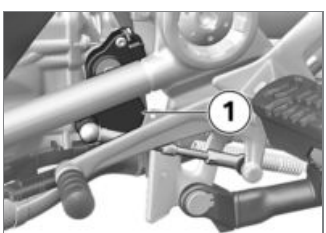
ギヤチェンジ

– シフトアシストPro[OE]装備

ギヤシフトアシストPro

注意事項

ギヤシフトアシストPro を使用してギヤシフトを行う場合には、安全上の理由から、クルーズコントロールは自動的に OFF になります。◀



- ギアのかみ合わせは、従来と同様に、シフトレバーにかける踏力で行われます。

» ギヤシフトアシストはシフトアップ / シフトダウンにおいてライダーをサポートするものです。シフトアップ / シフトダウンの際に、クラッチやスロットルグリップを操作する必要がありません。

– オートマチックは関係がありません。

– ライダーがシステムの重要な構成要素であり、シフトを行う時点を決定します。

– シフトシャフトのセンサー **1** がシフトの希望を検知し、シフトサポートを介入させます。

» 定速走行時にローギヤのまま高回転域に達している場合、クラッチ操作なしでのギヤシフトは過度な荷重移動による反応を招くおそれがあります。

– BMW Motorrad は、このような走行条件においてはクラッチ操作を伴うシフト切替のみをお勧めします。

– レブリミッターの領域では、シフトアシストPro の使用は避ける必要があります。

» 以下の状況では、シフトアシストは作動しません:

– クラッチが操作されている場合。

– シフトレバーが初期位置にない場合

– 減速時またはスロットルバタフライを閉じた状態 (惰行) でのシフトアップ時。

- シフトアシストPro を使用してさらにギアチェンジを行えるようにするには、ギアシフト後に、シフトレバーにかかる負荷を完全に解除します。

» シフトアシストPro に関する詳細な情報については、「技術情報」の章を参照してください:

– 走行モードPro[OE]装備

» ギヤシフトアシストPro (▶ 147)◁

ブレーキ

制動距離を最短にするには?

フロント / リヤホイール間の力学的な負荷配分は、ブレーキングによって変わります。ブレーキングが強くなるほど、フロントホイールにはより大きな負荷がかかります。そしてホイールにかかる負荷が大きくなるほど、より大きなブレーキフォースが伝達されます。
制動距離を最短にするには、徐々に強くなるようフロントブレーキをかけることが必要です。それにより、フロントホイールにかかる負荷の力学的な増加が、最も効果的に利用されます。同時に、クラッチは切っておく必要があります。しばしばトレーニングされる「緊急ブレーキ」では、ブレーキ圧ができるかぎり早急に最大の力で生成されます。力学的な負荷配分が減速に追いつけなくなり、ブレーキフォースが完全には路面に伝達できなくなります。
フロントホイールのロックは、BMW Motorrad Integral ABS により回避されます。

下り坂

⚠ 警告

山道や狭い通路などを抜けるときにリヤブレーキのみをかける
オーバーヒートによるブレーキの破損、制動作用の喪失
- フロントおよびリヤブレーキを作動させて、エンジンブレーキを使用してください。◀

濡れて汚れたブレーキ

ブレーキディスクやブレーキパッドが濡れていたり汚れていたりすると、ブレーキの効きが悪くなります。
以下の状況では、ブレーキの効きが遅れたり悪くなったりすることを、必ず考慮してください:
- 雨天走行時や、水たまりの中を走行した場合。
- 洗車の後。
- 塩が撒かれた路面を走行したとき。
- ブレーキ関連作業の後で、オイルやグリースの残留物による。
- 汚れている路面や、オフロードの走行時。

⚠ 警告

濡れや汚れが原因でブレーキの効きが悪くなる
事故の危険
- ブレーキを乾燥させて汚れをとり、必要に応じて清掃します。
- 再び制動力を完全に発揮できるようになるまでは、ブレーキを早めに操作してください。◀

ABS Pro

– 走行モードProOE装備

走行における物理的限界

⚠ 警告

コーナーにおけるブレーキング

ABS Pro 装備でもある転倒の危険性

- どのような走行スタイルを適切とするか、ライダーの責任が問われます。
- 安全のためのサポートを、リスキーな走行により制限しないでください。◀

ABS Pro はEnduro PRO 以外のすべての走行モードで使用することができます。

転倒をなくすことはできない

たとえABS Pro がライダーのために、バンク時のブレーキングの際に 100%のサポートを行い、安全性において著しいプラス効果を発揮しても、走行における物理法則の限界を超えられるものではありません。従来と同様に、誤った判断や運転ミスなどにより、この限界を超えることがあります。極端なケースでは、それが転倒につながることもあります。

公道での使用

ABS Pro は、公道においてモーターサイクルをより安全に使用するためのものです。コーナーにおける思いがけない危険な状況が原因のブレーキング時に、走行における物理的限界の範囲内で、ホイールのロックやスリップを回避します。

注意事項

ABS Pro はバンク時の限界域における個々のブレーキ性能の向上のために開発されたものではありません。◀

駐車する

サイドスタンド

- エンジンを停止させます。

重要事項

スタンドを使用している路面の状態が悪い

転倒によるコンポーネントの損傷

- スタンドを立てる路面が、平坦で固くしっかりとしているか確認してください。◀

重要事項

追加重量によるサイドスタンドの負荷

転倒によるコンポーネントの損傷

- 車両がサイドスタンドで立てられている状態のときには、着座しないでください。◀
- サイドスタンドを出し、モーターサイクルを立てます。
- ハンドルを左に回します。

- 下り坂では、モーターサイクルを上る方向に向けて、1 速に入れます。

センタースタンド

- エンジンを停止させます。

重要事項

スタンドを使用している路面の状態が悪い

転倒によるコンポーネントの損傷

- スタンドを立てる路面が、平坦で固くしっかりとしているか確認してください。◀

重要事項

急な動きが加えられるとメイン (センター) スタンドが折りたたまれる

転倒によるコンポーネントの損傷

- メイン (センター) スタンドを立てた状態で、車両に着座しないでください。◀
- メイン (センター) スタンドを出し、モーターサイクルを立てます。
- 下り坂では、モーターサイクルを上る方向に向けて、1 速に入れます。

給油

燃料品質

前提条件

最適な燃費を得るため、硫黄フリーの、またはできる限り硫黄が少ない燃料を使用するようにしてください。

重要事項

有鉛ガソリンを給油する

触媒コンバーターの損傷

- 有鉛ガソリンや金属添加物 (マンガン / 鉄など) を含む燃料は決して給油しないでください。◀
- エタノールの割合が最大で 10%、つまり E10 燃料を使用することができます。

推奨フューエルグレード
無鉛プレミアムガソリン (ハイオク) (エタノール 10 %以下、E10) 95 ROZ/RON 89 AKI

燃料品質の選択肢
無鉛レギュラーガソリン (出力および燃費の制約。) (最大 10%エタノール、E10) 91 ROZ/RON 87 AKI

» 品質が不十分な場合は、仕様変更が必要です。それに合わせてモーターサイクルを BMW Motorrad ディーラーで事前にプログラミングする必要があります。

給油手順

警告

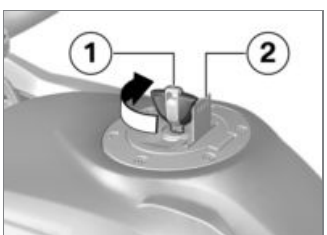
フューエルは簡単に引火します
火災や爆発の危険
- フューエルタンクに関する作業時には、いかなる場合でも、決してタバコを吸ったり、火を使ったりしないでください。◀

重要事項

コンポーネントの損傷
燃料タンクの過注入によるコンポーネントの損傷
- 燃料タンクに注入し過ぎると、余分な燃料がチャコールフィルターに流入し、そこでコンポーネントの損傷に至ります。
- 燃料タンクへの注入はフィラーネックの下端までにしてください。◀

重要事項

プラスチック表面に燃料が付着
表面の損傷(見苦しくなる、またはつやのない状態になる)
- プラスチック表面が燃料に触れた場合には、ただちに清掃します。◀
- 平坦で、固くしっかりとした路面に、モーターサイクルをメイン(センター) スタンドで立てます。



- 保護キャップ **2** を開きます。
- フューエルタンクのキャップを、車両キー **1** を時計回りに回してロック解除し、開きます。

- 燃料の補給はフィラーネックのアンダーエッジまで最大にしてください。

注意事項

フューエルリザーブ容量を下回った後に給油を行う場合、給油後の総容量がフューエルリザーブ容量を上回る必要があります。これにより新たな充填レベルが検知され、燃料残量警告灯が消灯します。◀

注意事項

テクニカルデータ(仕様諸元)に記載されている「フューエル容

量」は、フューエルタンクが空に近づき、燃料不足でエンジンが停止したときに給油できる燃料の量です。◀

フューエル容量
約 20 l

フューエルリザーブ容量
約 4 l

- フューエルタンクキャップを強く押して閉めます。
- 車両キーを抜き取り、保護キャップを閉めます。

給油手順

– Keyless Ride[OE] 装備

前提条件

ステアリングロックはロック解除された状態です。

警告

フューエルは簡単に引火します

火災や爆発の危険

- フューエルタンクに関する作業時には、いかなる場合でも、決してタバコを吸ったり、火を使ったりしないでください。◀

警告

燃料タンクの充填量が多すぎると、熱の影響で燃料が膨張した場合に漏れる

転倒の危険

- フューエルタンクを充填しすぎないでください。◀

重要事項

プラスチック表面に燃料が付着

表面の損傷(見苦しくなる、またはつやのない状態になる)

- プラスチック表面が燃料に触れた場合には、ただちに清掃します。◀
- 平坦で、固くしっかりとした路面に、モーターサイクルをメイン(センター)スタンドで立てます。

– Keyless Ride[OE] 装備

- イグニッションスイッチを OFF にする(➠ 53)。

注意事項

イグニッションを OFF にした後、無線キーが受信範囲内にない場合でも、タンクキャップを特定のアフターランニング時間以内に開くことができます。◀

タンクキャップを開くためのアフターランニング時間
2 min

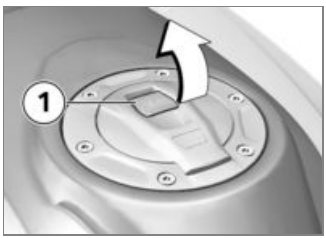
» タンクキャップは、以下の**2 つの方法**で開くことができます:

– アフターランニング時間内。

– アフターランニング時間の経過後。

バリエーション 1
– Keyless Ride[OE] 装備

前提条件
アフターランニング時間内



- タンクキャップのタブ **1** をゆっくりと引き上げます。
» タンクキャップはロック解除されています。
- タンクキャップを完全に開きます。

バリエーション 2
– Keyless Ride[OE] 装備

前提条件
アフターランニング時間の経過後

- 無線キーを受信範囲内に持ち込みます。
- タブ **1** をゆっくりと引き上げます。
» 無線キーを検索している間は、無線キー用表示灯が点滅します。
- タンクキャップのタブ **1** を再びゆっくりと引き上げます。
» タンクキャップはロック解除されています。
- タンクキャップを完全に開きます。

- 前述のグレードのフューエルをフィラーネックの下端 (MAX 位置) まで補給します。

注意事項

フューエルリザーブ容量を下回った後に給油を行う場合、給油後の総容量がフューエルリザーブ容量を上回る必要があります。これにより新たな充填レベルが検知され、燃料残量警告灯が消灯します。◀

注意事項

テクニカルデータ (仕様諸元) に記載されている「フューエル容

量」は、フューエルタンクが空に近づき、燃料不足でエンジンが停止したときに給油できる燃料の量です。◀

フューエル容量
約 20 l

フューエルリザーブ容量
約 4 l

- フューエルタンクのタンクキャップを、力を込めて下へ押します。

» タンクキャップが音とたててはまります。

» アフターランニング時間の経過後、タンクキャップが自動的にロックします。

» しっかりとかみ合ったタンクキャップは、ハンドルロックのロックまたはイグニッションON に伴い、ただちにロックがかかります。

モーターサイクルを搬送用に固定します

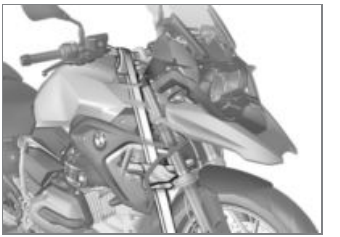
- テンションストラップが取り回されているすべてのコンポーネントを、損傷しないように保護します。接着テープや柔らかなウェスなどを使用してください。

重要事項

リフトアップのときに車両が左右に傾く

転倒によるコンポーネントの損傷

- 車両が倒れないよう、サポートする方と一緒に作業するようにしてください。◀
- モーターサイクルを搬送用プレートの上へ移動させます。サイドスタンドやメイン(センター) スタンドで立てないでください。



重要事項

コンポーネントの挟み込み
コンポーネントの損傷

- コンポーネント (ブレーキラインやケーブルなど) が挟み込まれないようにしてください。◀
- フロント側テンションストラップをハンドルの両側に取り付けて固定します。
- テンションストラップをトレーリングアームに通してピンと張ります。

- リヤ側テンションストラップをパッセンジャー用フットレストのホルダーに取り付けてピンと張ります (左右)。
- すべてのテンションストラップを均等に張り、車両ができるかぎりしっかりと固定されるようにします。

技術情報

一般的な情報 138
アンチロックブレーキシステム (ABS) 138
オートマチックスタビリティコントロール(ASC) 141
ダイナミックトラクションコントロール(DTC) 142
Dynamic ESA 143
走行モード 144
シフトアシスト 147
発進アシスタント 148

一般的な情報

技術に関するさらに詳しい情報については、以下を参照してください：

bmw-motorrad.com/technology

アンチロックブレーキシステム(ABS)

パーシャリーインテグラルブレーキ

このモーターサイクルには、パーシャリーインテグラルブレーキが装備されています。このブレーキシステムでは、ブレーキレバーを操作するとフロント / リヤホイールのブレーキが一緒に作動します。ブレーキペダルを操作した場合、リヤブレーキのみの作動となります。

BMW Motorrad Integral ABS は、ABS 制御に伴い、ブレーキング中のフロントおよびリヤホイールブレーキへのブレーキフォース配分を、モーターサイクルの荷重状態に合わせて行います。

重要事項

インテグラル機能があるにもかかわらずバーンアウトを試みる

リヤブレーキおよびクラッチの損傷

- バーンアウトを行わないこと。◀

ABS はどのように作動するのでしょう?

路面に伝達される最大ブレーキフォースは、様々な要因の中でも、路面の摩擦係数に依存しています。砂利、凍結、雪、水に覆われた路面の摩擦係数は、乾いた、クリーンなアスファルトの路面に比べてはるかに低いものになります。路面の摩擦係数が低くなるほど、制動距離は長くなります。

ライダーがブレーキ圧を上げたときに、路面にかかる最大ブレーキフォースが限界を越えると、ホイールがロックし、方向安定性が失われます。そのため、転倒するおそれがあります。この状況が発生する前に、ABS が作動して、ブレーキ圧が最大制動力に調整されます。そのためホイールは回転し続け、走行安定性は路面状態にかかわらず保持されます。

凸凹のある路面で起こることは?

起伏や凸凹のある路面によって、タイヤと路面のコンタクトが一時的に失われ、その結果、伝達されるブレーキフォースがゼロに落ち込むということが起こりえます。このような状況でブレーキングが行われる場合、再び路面に接触する際の走行安定性を確保するために ABS はブレーキ圧を低減する必要があります。この時、想定できるいかなる状況においてもホイールが回転し、それにより走行安定性が確保され

るよう、BMW Motorrad Integral ABS では摩擦係数を非常に低く見積もっています (砂利、凍結、積雪の場合)。実際の状況が明らかになった後、システムはブレーキ圧を最適な値にセットしなおします。

BMW Motorrad Integral ABS の作動は、ライダーにとってどのように感じられるでしょうか?

上記の状況のために ABS システムがブレーキフォースを制限する必要がある場合、ブレーキレバーに振動が感じられます。ブレーキレバーを操作すると、インテグラル機能によりリヤホイールでもブレーキ圧が生成されます。その後ブレーキペダルを操作すると、ブレーキペダルをブレーキレバー操作の前または同時に操作したかのように、すでに生成されているブレーキ圧が背圧として感じられます。

リヤホイールの浮き上がり

減速力が著しく強く、減速が迅速な場合、状況によっては、BMW Motorrad Integral ABS はリヤホイールの浮き上がりを回避できないことがあります。このような場合、モーターサイクルの横転もありえます。

⚠ 警告

急激なブレーキによるリヤホイールの浮き上がり

転倒の危険

- 急ブレーキの際には、ABS 制御は、必ずしも常にリヤホイールの浮き上がりを防ぐものではないことに注意してください。◀

BMW Motorrad Integral ABS はどのように設計されているのでしょう?

BMW Motorrad Integral ABS は、物理的限界内で、さまざまな路面における走行安定性を確保するためのものです。このシステムは、オフロードレースやレーストラックの過酷な状況で生じるような、特別な要求を満たすために設計されたものではありません。走行の仕方は、走行能力および路面状態に基づいて調整する必要があります。

特殊な状況

ホイールのロックを検知するために、特にフロントホイールとリヤホイールの回転数が比較されます。比較的長い時間にわたり、正常でない値が検知される場合、安全のためにABS 機能が停止し、ABS の故障が表示されます。エラーメッセージの表示には、自己診断が終了していることが前提となります。

BMW Motorrad ABS の問題の他にも、特殊な走行状態が原因となりエラーメッセージが表示される場合があります：

– センタースタンドまたは補助スタンドで車両を立てた状態で、ニュートラルでまたはギヤを入れて暖機運転する。
– エンジンブレーキにより長時間ロックされたリアホイール (滑りやすい路面での発進など)。

特殊な走行状態によりエラーメッセージが表示された場合には、ABS 機能は、イグニッションを OFF / ON にすることにより再び作動させることができます。

定期的なメインテナンスの役割りとは?

⚠ 警告

定期的にメインテナンスされていないブレーキシステム。
事故の危険

- ABS を確実に最適な整備状態にしておくために、規定の定期点検時期を必ず遵守してください。◀

安全を確保するための予防措置

BMW Motorrad Integral ABS により制動距離が短くなるからといって、無謀なドライビングスタイルは避けなければなりません。あくまでも緊急事態においてより高い安全性を確保するためのものなのです。

⚠ 警告

コーナーにおけるブレーキング
ABS を装備していても事故の危険性あり

- どのような走行スタイルを適切とするか、ライダーの責任が問われます。
- 安全のためのサポート機能を、リスキーな走行により制限しないでください。◀

ABS からABS Pro への改良

– 走行モードProOE装備

これまでBMW Motorrad ABS は、直進走行時のブレーキングにおける安全性に関して極めて高い基準を設定し、実現してきました。そして今、ABS Pro がコーナーにおけるブレーキプロセスにおいても、より高い安全性を提供します。ABS Pro は、素早いブレーキ操作時におけるホイールのロックを回避します。ABS Pro は、特に急ブレーキ時における急激な操舵力の変動を低減させ、思いがけない車両の立ち上がりを起こりにくくします。

ABS 制御

技術的には、ABS Pro はABS 制御をその都度ごとの走行条件に合わせ、モーターサイクルのバンク角に適合させています。モーターサイクルのバンク角を算出するため、ロールレート信号、

ヨーレート信号、横方向加速度信号が使用されます。
バンク角が大きくなると共に、ブレーキ開始時のブレーキ圧の変化度の制限がますます厳しくなります。これにより、圧力上昇に時間がかかります。さらにABS 制御において均等に圧力変換が行われます。

ライダーにとっての利点

ライダーにとってのABS Pro の利点は、コーナーにおいてもベストな減速を可能にする高精度の応答性、制動安定性および走行安定性です。

オートマチックスタビリティコントロール(ASC)

ASC はどのように作動するのでしょう?

BMW Motorrad ASC は、フロントホイールとリヤホイールのホイールスピードを比較します。スピードの差からスリップを、さらにリヤホイールの安定性レベルを算出します。スリップ限界値を超えると、エンジンマネジメントシステムがエンジントルクを調整します。

BMW Motorrad ASC はどのように設計されているのでしょうか?

BMW Motorrad ASC は、ライダーおよび公道での走行に対するドライビングアシスタントシステムとして設計されています。特に物理的制限領域では、ライダーがASC の制御性能に大きな影響を与えます(コーナーでの荷重移動、積載状態など)。
オフロード走行時には、走行モードEnduro を作動させることを推奨します。このモードではASC による制御介入が遅延して行われるため、コントロールされたドリフトが可能となります。
このシステムは、オフロードレースやレーストラックの過酷な状況で生じるような、特別な要求を満たすために設計されたものではありません。このような場合は、BMW Motorrad ASC を OFF にできます。

⚠ 警告

リスキーな走行

ASC 搭載でも事故の危険性あり

- どのような走行スタイルを適切とするか、ライダーの責任が問われます。
- 安全のためのサポートを、リスキーな走行により制限しないでください。◀

ダイナミックトラクションコントロール(DTC)

トラクションコントロールはどのように作動するのでしょうか?

トラクションコントロールには2つの特徴があります
– バンク角を考慮**しない**場合：オートマチックスタビリティコントロールASC
– ASC は、転倒を回避するための基本的な機能です。
– バンク角を考慮**する**場合：ダイナミックトラクションコントロールDTC
– DTC の制御はバンク角と加速に関する追加情報を通して、より精細かつ快適になります。

トラクションコントロールはフロントホイールとリヤホイールのホイール周速を比較します。速度の差から、リヤホイールのスリップおよび安定性レベルを算出します。スリップ限界値を超えると、エンジンマネジメントシステムがエンジントルクを調整します。

⚠ 警告

リスキーな走行

DTC 搭載でも事故の危険性あり
- どのような走行スタイルを適切とするか、ライダーの責任が問われます。
- 安全のためのサポートを、リスキーな走行により制限しないでください。◀

特殊な状況

車体の傾きが増すにつれ、物理的法則に従って、加速はますます強く制限されます。このため、非常にタイトなコーナーでは加速が低減される場合があります。

リヤホイールの回転(空転)やスリップを検知するため、特にフロントおよびリヤホイールの回転数が比較され、DTC ではASC に対してバンク角が考慮されます。

– 走行モードPro[OE]装備

一定の時間以上、検出される値が正常でない場合には、バンク角用に代替値が使用されるか、DTC が OFF になります。この場合には、DTC の不具合が表示されます。エラーメッセージの表示には、自己診断が終了していることが前提となります。

次のような、通常とは異なる運転 / 走行状態においては、BMW Motorrad トラクションコントロールが自動的に OFF になる場合があります。

特殊な運転 / 走行状態：

– 長時間の後輪走行(ウィーリー)。
– フロントブレーキをかけた際、その場で後輪が回転(空転)(バーンアウト)。

– 補助スタンドを立てたまま、ニュートラル位置またはギヤを入れた状態でウォームアップ。

コーディングコネクターが装着されていない場合、故障後、イグニッション OFF / ON を行い、最低速度で走行すると、DTC は再び ON の状態になります。

DTC を ON にするための最低速度
min 5 km/h

極端な加速によってフロントホイールの接地が失われた場合には、フロントホイールが路面を再び確実に捉えるようになるまで、ASC またはDTC が走行モードRAIN およびROAD でトルクを抑えます。
走行モードENDURO とENDURO PRO はオフロード走行用に設計されており、オンロード走行には適していません。

走行モードDYNAMIC、DYNAMIC PRO およびENDURO では、フロントホイール浮き上がり検知により一時的なウィリー走行が許可されます。
走行モードENDURO PRO では、フロントホイール浮き上がり検知は OFF になっています。
BMW Motorrad は、フロントホイールの浮き上がり時にスロットルグリップを少し戻して車両をできるだけ早く安定した運転 / 走行状態に戻すよう、お勧めします。

滑りやすい路面で、クラッチを切らずに突然スロットルグリップを完全に戻すことは決してしないでください。エンジンブレーキトルクによりリヤホイールが滑り、不安定な運転 / 走行状態に陥る場合があります。このような状態では、BMW Motorrad DTC による補正を行うことはできません。

Dynamic ESA

– Dynamic ESA OE装備

走行位置アライメント

電子調整式サスペンションDynamic ESA は、モーターサイクルを自動で積載荷重に適合させることができます。スプリングプリロードをAuto に設定すると、ライダーは積載荷重調整を行う必要はありません。
発進時および走行中には、システムはリアホイールのスプリングデフレクションをモニターし、正しい走行位置に調整されるようにスプリングプリロードを修正します。ショックアブソーバーは同様に自動で積載荷重に適合されます。
Dynamic ESA は車高レベルセンサーを介してフレームの動きを検知し、それに反応してショックアブソーバーバルブを調整します。これにより、サスペンションは路面状況に適合するように調整されます。

Dynamic ESA は定期的にキャリブレーションを行い、システムの正常な機能を確保します。

調整

ショックアブソーバーモード

– Road: 快適なオンロード走行用ショックアブソーバー
– Dyna.: ダイナミックなオンロード走行用ショックアブソーバー
– Enduro: オフロード走行用ショックアブソーバー

積載荷重設定

– Auto: スプリングプリロードとショックアブソーバーの自動調整付きアクティブ走行位置アライメント
– Min: 最小スプリングプリロード
– Max: 最大スプリングプリロード (オフロード走行時)
– スプリングプリロードMinとMax をライダーが選択することは可能ですが、変更することはできません。走行位置アライメントの機能は、MinとMax の設定では、作動しません。

走行モード

選択

モーターサイクルを路面状態および希望する走行体験に合わせるため、以下の走行モードから選択することができます:

– RAIN
– ROAD (標準モード)

– 走行モードPro[OE]装備
– DYNAMIC
– ENDURO

コーディングコネクターを取り付けることにより、走行モードDYNAMIC とENDURO は、走行モードDYNAMIC PROとENDURO PRO に変わります。

これらの走行モードにはそれぞれ、ABS、ASC/DTC システム用ならびにスロットルレスポンス用に調整されている設定があります。

– Dynamic ESA[OE]装備

Dynamic ESA の調整も、選択されている走行モードに応じて異なります。

それぞれの走行モードで、ABS および / またはASC/DTC を OFF にできます。以下の説明は、走行安全システムがオンにされている場合に関するものです。

スロットルレスポンス

– 走行モードRAIN およびENDURO: 控えめ
– 走行モードROAD およびENDURO PRO: ダイレクト
– 走行モードDYNAMIC およびDYNAMIC PRO: ダイナミック

– 走行モードDYNAMIC PRO およびENDURO PRO では、SETUP でスロットルレスポンスを異なる状態に設定することができます (➠ 69)。

ABS

– リアホイール浮き上がり検知は全走行モードで作動しています。
– 走行モードRAIN、ROAD、DYNAMIC およびDYNAMIC PRO では、ABS はオンロード走行に調整されています。
– 走行モードENDURO では、ABS はストリートタイヤを装着したオフロード走行に調整されています。

– 走行モードPro OE装備
– 走行モードENDURO PRO では、ブレーキペダルが操作されると、リアホイールにABS コントロールがかかりません。ABS はオフロード走行でラグタイヤ装着に調整されています。
– 走行モードENDURO PRO では、ABS をSETUP を介して異なる状態に設定することができます (➠ 69)。
– 走行モードRAIN、ROAD、DYNAMIC およびDYNAMIC PRO では、ABS Pro をフルに利用することができます。コーナーにおけるブレーキング時のモーターサイクルの傾きを最小限に抑えます。
– 走行モードENDURO では、良好な摩擦係数比の場合のみABS Pro を使用することができます。サポートは走行モードROAD に対して低減され、代わりに最大のブレーキ作用に達するように設計されています。
– 走行モードENDURO PRO では、ABS Pro は使用できません。

– 走行モードPro OE非装備

ASC

– フロントホイール浮き上がり検知は全走行モードで作動しています。
– ASC はオンロード走行用に調整されています。
– 走行モードROAD では、ASC は高い走行安定性を、走行モードRAIN では、最大の走行安定性を提供しています。

– 走行モードPro OE装備

DTC

タイヤ取付け

– 走行モードRAIN、ROAD、DYNAMIC およびDYNAMIC PRO では、DTC はストリートタイヤを装着したオンロード走行に調整されています。
– 走行モードENDURO では、DTC はストリートタイヤを装着したオフロード走行に調整されています。
– 走行モードENDURO PRO では、DTC はラグタイヤを装着

したオフロード走行に調整されています。

走行安定性

- 走行モードRAIN においてDTC は走行安定性が最大に達するよう迅速に介入します。
- 走行モードROAD においてDTC の介入は走行モードRAIN よりも遅延して行われます。リアホイールの空転はできる限り回避されます。
- 走行モードRAIN およびROAD では、フロントホイールの浮き上がりは阻止されます。
- 走行モードDYNAMIC およびDYNAMIC PRO では、DTC の介入は走行モードROAD より遅く行われるため、コーナー出口での軽いドリフトおよび短時間のウィリー走行が可能です。
- 走行モードDYNAMIC PRO では、DTC をSETUP を介して異なる状態に設定することができます (➠ 69)。
- 走行モードENDURO では、DTC の介入は、コーナー出口での長いドリフトと一時的なウィーリー走行も可能なように、さらに遅延して行われ、オフロード走行に調整されています。
- 走行モードENDURO PRO では、DTC は、ラグタイヤを装着したオフロード走行をすることを想定してコントロールを行います。長いウィーリー走行も、小さな傾きを伴うウィーリー走行も行うことができます。フロントホイール浮き上がり検知は OFF になっています。極端なケースでは後方へひっくり返ることも可能なほどです!
- 走行モードENDURO PRO では、DTC をSETUP を介して異なる状態に設定することができます (➠ 69)。

切替

走行モードは、イグニッションが ON で車両が停止しているときに変更することができます。走行中の切替は、以下の条件が満たされていれば可能です：

- リアホイールにドライビングトルクがかかっていない
- ブレーキシステム内でブレーキ圧が生成されていない。

走行中に切り替えるには、以下のステップを踏む必要があります：

- スロットルグリップを回し戻す。
- ブレーキレバーを操作しない。

ご希望の走行モードをまず事前に選択します。該当するシステムが必要とされる状態になって初めて、切替が行われます。走行モードの切替が行われた後、ディスプレイの選択メニューが消えます。

シフトアシスト

– 走行モードPro[OE]装備

ギヤシフトアシストPro

この車両には、本来レーシングスポーツにおいて開発され、ツーリング走行に適合されたシフトアシストPro が装備されています。これにより、全負荷範囲および全回転域において、シフトアップ / シフトダウンをクラッチ操作およびスロットル操作なしで行うことができます。

利点

– 走行時における全シフト動作の 70～ 80 %をクラッチ操作なしで行うことができます。
– シフト待ち時間が短くなり、ライダーとパッセンジャー間の動きが少なくてすみます。
– 加速時にスロットルバタフライを閉じる必要がありません。
– 減速およびシフトダウン (スロットルバタフライは閉じた状態) の際には、ダブルクラッチにより回転数の調整を行います。
– 切替時間はクラッチ操作に伴うシフト動作と比べて短くなります。

希望のシフトを認識させるには、ライダーは、シフトレバーを事前に操作しない状態からアキュムレーターのスプリングの抵抗を感じる「切替え位置」に向かって操作します。この操作は通常、素早く希望の方向に行い、ギアシフトが終了するまで保持している必要があります。ギアシフト中にシフト力をさらに高める必要はありません。ギヤシフトアシストPro を使用してさらにギヤ切替を行えるようにするには、シフト動作後に、シフトレバーにかかる負荷を完全に解除する必要があります。シフトアシストPro を用いてギアをシフトするためには、ギアシフト前およびギアシフト中にそれぞれの負荷状態 (スロットルグリップ位置) を一定に保つ必要があります。ギアシフト中にスロットルグリップ位置が変わると、機能の中断および / またはミスシフトを招くおそれがあります。クラッチ操作を伴うギアシフトでは、シフトアシストPro によるサポートは行われません。

シフトダウン

– シフトダウンは、ターゲットギヤにおける最高回転数に達するまでサポートされます。これにより、過回転も避けられます。

	最高回転数
max 9000 min^{-1}	

シフトアップ

– シフトアップは、ターゲットギヤにおけるアイドリング回転数

に達するまでサポートされます。
– それにより、アイドリング回転数を下回らないようにします。

アイドリング回転数
1150 min^{-1} (エンジン作動温度時)

発進アシスタント

– 走行モードPro[OE]装備

発進アシスタント機能

発進アシスタントHill Start Control は、パーシャリーインテグラルABS ブレーキシステムに標的に介入することにより、ライダーがブレーキレバーを持続的に押さなくても、制御不能の状態で登り坂を後退することを阻止します。Hill Start Control を ON にした時点でリアブレーキシステム内で圧力が生成されるため、坂道でもモーターサイクルが後退することはありません。

保持圧力の発進動作への影響

– 低ブレーキ圧で停車する場合は、わずかな保持圧力のみ生成されます。発進時のブレーキ開放が速くなります。よりゆるやかに発進する可能性があります。スロットルグリップをさらに緩めることはほとんど必要ありません。
– 高ブレーキ圧で停車する場合は、高い保持圧力が生成されます。発進時のブレーキ開放が幾分長くかかります。発進にはより多くのトルクが必要であり、スロットルグリップをさらに緩める必要があります。

車両が回転またはすべり落ちる場合の動作

– Hill Start Control 作動時に車両が動いた場合、ブレーキ圧が上昇します。
– リアホイールがすべり落ちると、おおよそ 1 m 進んだ先でブレーキが再び開放されます。それにより、リアホイールがロックした状態でのすべり落ちなどが防止されます。

エンジン停止時のブレーキ開放

イグニッションキルスイッチでエンジンを停止したり、サイドスタンドが展開している場合は、Hill Start Control は作動解除されます。

ライダーは、以下の動作を通して、インジケーター / 警告灯に加えて、Hill Start Control の作動解除に注意を払う必要があります:

ブレーキ警告が強く引かれること

– ブレーキが短時間開放され、その後すぐに再び作動する。
– その際、はっきりと感じられるほどの強い引きがある。
– ブレーキがゆっくりと開放される。
– 車両のブレーキがかかっていない。

– ライダーは手動で車両のブレーキをかける必要がある。

注意事項

イグニッションオフ時には、ブレーキ警告で強く引かれることなく、即時に保持圧力は解放されます。◀

メインテナンス

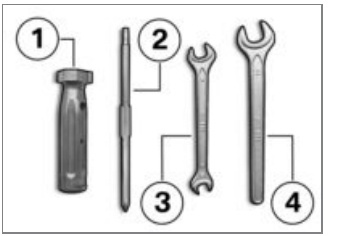
一般的な情報 152
ツールキット 152
サービスツールキット 152
フロントホイールスタンド 153
エンジンオイル 154
ブレーキシステム 155
クラッチ 160
クーラント 160
タイヤ 162
リムとタイヤ 162
ホイール 163
エアフィルター 169
バルブ 171
始動補助 176
バッテリー 178
ヒューズ 181
診断コネクター 183

一般的な情報

「メインテナンス」の章では、簡単に実施できる消耗部品の点検および交換作業について説明します。
取り付ける際に専用の締め付けトルクがある場合には、規定締め付けトルクも記載されています。必要なすべての締付けトルクを記した一覧表が「仕様(諸元)」の章にあります。
メインテナンスおよび修理作業に関するその他のインフォメーションは、BMW Motorrad ディーラーで DVD を入手することができます。

いくつかの作業の実施にあたっては、スペシャルツールと確かな専門知識が必要です。疑問に思われることが生じた場合には、BMW Motorrad ディーラーにお問い合わせください。

ツールキット



1 ドライバーグリップ
– 六角レンチと共に使用
– エンジンオイルを補充する (➠ 155)。

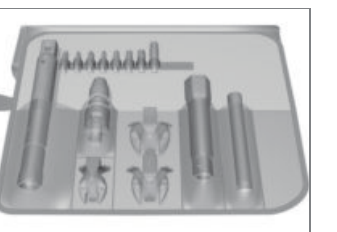
2 リバーシブルブレードドライバーインサート
プラス溝 PH1 およびトルクス T25
– フロント / リヤウインカー用バルブを取り外す (➠ 174)。
– バッテリーカバーを取り外す (➠ 179)。

3 オープンエンドレンチ
口径 8/10
– バッテリーを取り外す (➠ 179)。

4 オープンエンドレンチ
口径 14
– ミラーアームを調整する (➠ 110)。

サービスツールキット

– サービスツールセット OA 装備



さらに行われるサービス作業(ホイールの脱着など) のために、BMW Motorrad では、 あなたのモーターサイクルに対応する適切なサービスツールキットをご用意しています。 このツールキッ

トはBMW Motorrad ディーラーでお求めいただけます。

フロントホイールスタンド

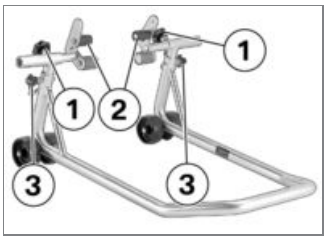
フロントホイールスタンドを取り付けます

重要事項

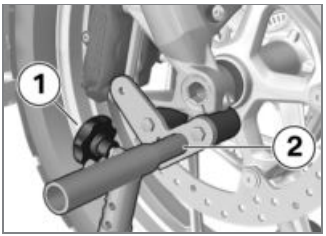
追加のメイン(センター) スタンドまたは補助スタンドなしでのBMW Motorrad フロントホイールスタンドの使用

転倒によるコンポーネントの損傷

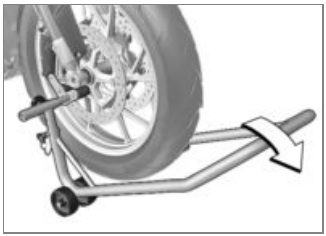
- モーターサイクルは、BMW Motorrad フロントホイールスタンドでリフトアップする前に、メイン(センター)スタンドまたは補助スタンドで立ててください。◀
- 平坦で、固くしっかりとした路面に、モーターサイクルをメイン(センター) スタンドで立てます。
- ベーススタンドを、フロントホイールサポートと共に使用します。ベーススタンドおよびその備品はBMW Motorrad ディーラーから入手できます。



- ボルト **1** を外す。
- 両方のサポート部 **2** を外側へ押して、フロントサスペンションが間に収まるようにします。
- フロントホイールスタンドを、固定ピン **3** を使用してご希望の高さに調整します。
- フロントホイールスタンドをフロントホイールのセンターに合わせ、フロントアクスルに押し込みます。



- 両方の支持部 **2** を、フロントホイールガイドが確実に取り付けられるように調整します。
- ボルト **1** を締め付けます。



重要事項

モーターサイクルをリフトアップし過ぎるとメイン(センター)スタンドが外れる

転倒によるコンポーネントの損傷

- リフトアップの際には、メイン(センター) スタンドが常に接地しているように注意してください。◀
- フロントホイールスタンドを左右均等に押し下げ、モーターサイクルを持ち上げます。

エンジンオイル

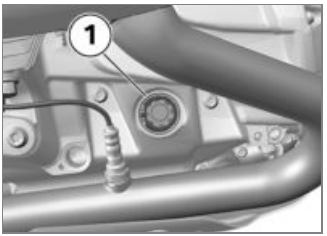
エンジンオイルレベルを点検する

重要事項

オイル充填についての誤った解釈。 オイルレベルは温度に対応して変化するため(温度が高くなるとオイルレベルも高くなる)

エンジンの損傷

- オイルレベルの点検は、長距離走行後またはエンジン温間時にのみ、行います。◀
- 通常の作動温度のエンジンを停止させます。
- 平坦で、固くしっかりとした路面に、モーターサイクルをメイン(センター) スタンドで立てます。
- オイルがオイルパンに集まるまで、5 分間待ちます。



- オイルレベルを表示 **1** で読み取ります。

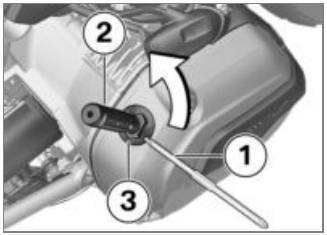
エンジンオイル規定レベル
MIN とMAX の間のマーク

オイルレベルが MIN マークを下回っている場合：
- エンジンオイルを補充する(➠ 155)。

オイルレベルが MAX マークを上回っている場合：
- BMW Motorrad ディーラーにオイルレベルの点検を依頼してください。

エンジンオイルを補充する

- 平坦で、固くしっかりとした路面に、モーターサイクルを駐車します。



- オイル注入口周辺を清掃します。
- 動力伝達を容易にするため、リバーシブルブレードのドライバーインサート **1** を、トルクス側を前にして、ドライバーのグリップ **2**(ツールキット)に差し込みます。
- 前述のツールをオイル注入口のキャップ **3** の上にセットし、反時計回りに回して取り外します。
- エンジンオイルレベルを点検する(➠ 154)。

重要事項

エンジンオイルの使用量が少なすぎる、または多すぎる。

エンジンの損傷
- エンジンオイルレベルが正しいか確認してください。◀
- エンジンオイルを規定レベルまで補充します。

エンジンオイル補充量
max 0.95 l (MIN とMAX 間の偏差)

- エンジンオイルレベルを点検する(➠ 154)。
- オイル注入口のキャップ **3** を取り付けます。

ブレーキシステム

ブレーキの作動を点検する

- ブレーキレバーを操作します。

» はっきりと抵抗が感じられる必要があります。
- ブレーキペダルを操作します。

» はっきりと抵抗が感じられる必要があります。

はっきりした抵抗が感じられない場合：

重要事項

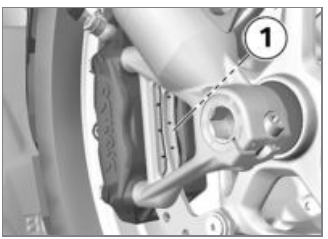
ブレーキシステムにおける不適切な作業

ブレーキシステムの動作信頼性が危険にさらされる

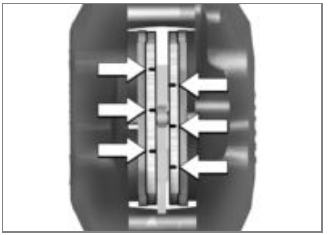
- ブレーキシステムに関するすべての作業は、専門スタッフに実行を依頼してください。◀
- BMW Motorrad ディーラーにブレーキシステムの点検を依頼してください。

フロントブレーキパッド厚を点検します

- 平坦で、固くしっかりとした路面に、モーターサイクルを駐車します。



- 左右ブレーキパッド厚を目視点検します。目視点検方向：ホイールとフロントサスペンションの間を通って、ブレーキパッド **1** へ。



フロントブレーキパッドの摩耗限度
1.0 mm (ライニングのみ (キャリアプレートなし)。摩耗インジケーター (溝) がはっきりと確認できなければなりません。)

摩耗インジケーターがはっきりと見えない場合：

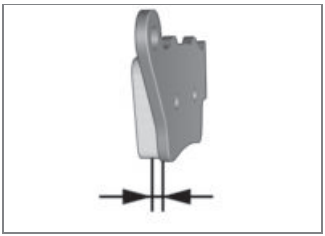
警告

パッドの使用限度厚を下回る
制動作用の低下、ブレーキの損傷
- ブレーキシステムの動作信頼性を確実にするため、パッドの使用限度厚を下回らないようにしてください。◀
- BMW Motorrad ディーラーにブレーキパッドの交換を依頼してください。

リヤブレーキパッド厚を点検します

- 平坦で、固くしっかりとした路面に、モーターサイクルを駐車します。

- ブレーキパッド厚を目視点検します。目視点検方向：スプラッシュガードとリアホイールの間を通って、ブレーキパッド **1** へ。



リヤブレーキパッドの摩耗限度
1.0 mm (ライニングのみ (キャリアプレートなし)。)

摩耗限度に達している場合：

警告

パッドの使用限度厚を下回る
制動作用の低下、ブレーキの損傷
- ブレーキシステムの動作信頼性を確実にするため、パッドの使用限度厚を下回らないようにしてください。◀

- BMW Motorrad ディーラーにブレーキパッドの交換を依頼してください。

フロントブレーキフルードレベルを点検する

⚠ 警告

ブレーキフルードタンク内のブレーキフルードが少なすぎる

ブレーキシステム内のエアによるブレーキパワーの著しい低下

- 走行をすぐに停止し、まず故障を解決します。
- ブレーキフルードレベルを定期的に点検します。◀
- 平坦で、固くしっかりとした路面に、モーターサイクルをメイン(センター) スタンドで立てます。
- ハンドルを直進位置にします。

- フロントブレーキフルードリザーバータンク **1** のブレーキフルードレベルを読み取ります。

注意事項

ブレーキパッドが徐々に摩耗してゆくことによって、リザーバータンクのブレーキフルードレベルは下がってきます。◀

フロントブレーキフルードレベル
ブレーキフルード、DOT4
ブレーキフルードレベルがMIN マークを下回らないようにしてください。(ブレーキフルードリザーバータンクが水平になるように、車両をまっすぐに立てます)

ブレーキフルードレベルが規定値を下回った場合：

- BMW Motorrad ディーラーにできるかぎり早く故障の修理を依頼してください。

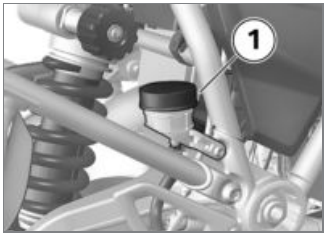
リヤブレーキフルードレベルを点検する

警告

ブレーキフルードタンク内のブレーキフルードが少なすぎる

ブレーキシステム内のエアによるブレーキパワーの著しい低下

- 走行をすぐに停止し、まず故障を解決します。
- ブレーキフルードレベルを定期的に点検します。◀
- 平坦で、固くしっかりとした路面に、モーターサイクルをメイン(センター) スタンドで立てます。



- リヤブレーキフルードリザーバータンク **1** のブレーキフルードレベルを読み取ります。

注意事項

ブレーキパッドが徐々に摩耗してゆくことによって、リザーバータンクのブレーキフルードレベルは下がってきます。◀

リヤブレーキフルードレベル
ブレーキフルード、DOT4
ブレーキフルードレベルがMIN マークを下回らないようにしてください。(ブレーキフルードリザーバータンクが水平になるように、車両をまっすぐに立てます)

ブレーキフルードレベルが規定値を下回った場合：

- BMW Motorrad ディーラーにできるかぎり早く故障の修理を依頼してください。

クラッチ

クラッチの機能を点検する

- クラッチレバーを操作します。

» はっきりと抵抗が感じられる必要があります。

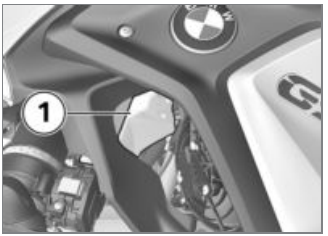
抵抗がはっきりと感じられない場合：

- BMW Motorrad ディーラーにクラッチシステムの点検を依頼してください。

クーラント

クーラントレベルを点検します

- 平坦で、固くしっかりとした路面に、モーターサイクルを駐車します。



⚠ 注意

エンジンの過熱

火傷の危険

- 熱くなっているエンジンからは離れていてください。
- 熱くなっているエンジンには触れないでください。◀
- リザーバータンク **1** のクーラントレベルを読み取ります。

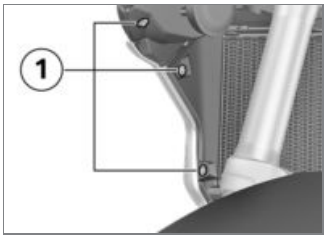
クーラント規定レベル

リザーバーの**MIN** と**MAX** のマークの間 (エンジンが冷たい状態)

クーラントレベルが規定値を下回った場合：

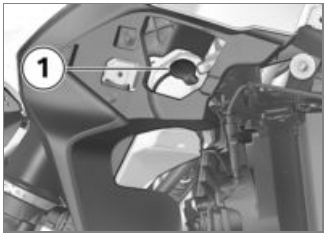
- クーラントを補充します(➠ 161)。

クーラントを補充します



- ボルト **1** を取り外します。

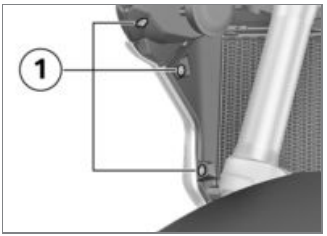
- ボルト **1** を取り外します。
- サイドトリムパネル **2** をクランプ **3** から引っ張り、取り外す。



- キャップ **1** を開く。
- クーラントを規定レベルまで補充します。
- クーラントレベルを点検します(➠ 160)。
- リザーバータンクのキャップを閉じます。

- サイドトリムパネル **2** をスロット **4** に差し込みます。
- クランプ **3** をロックします。

- ボルト **1** を取り付けます。



- ボルト **1** を取り付けます。

タイヤ

タイヤ充填圧を点検する

⚠ 警告

タイヤ充填圧が不適切
モーターサイクルの走行特性が悪化、タイヤ耐用年数の減少
- タイヤ充填圧が正しいか確認してください。◀

⚠ 警告

垂直に取り付けられているバルブコアが高速走行時に勝手に開く
タイヤ空気圧の突然の喪失
- ラバーシール付きバルブキャップを使用し、しっかりと締め付けます。◀
- 平坦で、固くしっかりとした路面に、モーターサイクルを駐車します。
- タイヤ充填圧を、以下のデータを使用して点検します。

タイヤ充填圧 (フロント)
2.5 bar (タイヤ冷間時)

タイヤ充填圧 (リヤ)
2.9 bar (タイヤ冷間時)

タイヤ充填圧が不十分な場合：
- タイヤ充填圧を調整します。

リムとタイヤ

ホイールリムを点検する

- 平坦で、固くしっかりとした路面に、モーターサイクルを駐車します。
- ホイールリムに不良な部分がないか目視点検します。
- ホイールリムが損傷した場合は、BMW Motorrad ディーラーに点検を依頼し、必要に応じて交換してください。

タイヤのトレッド溝の深さを点検する

⚠ 警告

著しく摩耗したタイヤでの走行
走行特性の悪化により、事故に至る危険
- 必要に応じて、法的に規定されているトレッドの最小残溝量に達する前にタイヤを交換してください。◀

- 平坦で、固くしっかりとした路面に、モーターサイクルを駐車します。
- タイヤのトレッド溝の深さを、メインのトレッド溝で、摩耗インジケーターを使用して点検します。

注意事項

摩耗インジケーターはタイヤごとにメインのトレッド溝に設けられています。タイヤのトレッド溝がインジケーターレベルにまで達している場合は、タイヤが完全に摩耗しています。インジケーターの位置は、タイヤの縁に TI、TWI などのアルファベットや矢印で示されています。◀

トレッドが最小残溝量に達している場合：

- 当該タイヤを交換します。

スポークを点検する

– クロススポークホイール装備OE

- 平坦で、固くしっかりとした路面に、モーターサイクルを駐車します。
- ドライバーのグリップなどでスポークをこすり、その際の音色に注意します。

音色が不均一である場合：

- 専門の整備工場 (BMW Motorrad ディーラーが理想的) にスポークの点検を依頼してください。

ホイール

ホイールサイズがフレーム制御システムに与える影響

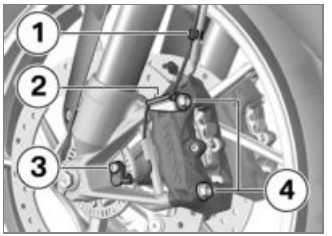
ホイールサイズは、フレーム制御システム ABS および ASC において、重要な役割を果たします。特にホイールの直径および幅は、必要となるすべての計算のベースとしてコントロールユニットにメモリーされています。標準装備ホイール以外のホイールへの変更によりこのサイズが変わると、これらのシステムの制御性に重大な影響が及ぶおそれがあります。

ホイール回転数検知に必要なセンサーリングも、取り付けられている制御システムに適合させる必要があり、交換はできません。

ご使用のモーターサイクルに他のホイールを装着なさりたい場合には、事前にBMW Motorrad ディーラーにご相談ください。コントロールユニットにメモリーされているデータを、新しいホイールサイズに適応させることができる場合もあります。

フロントホイールを取り外す

- 平坦で、固くしっかりとした路面に、モーターサイクルをメイン (センター) スタンドで立てます。



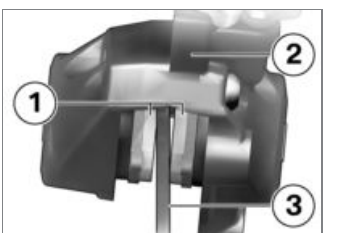
- ホイール回転数センサー用ケーブルをクランプ **1** および **2** から外します。
- ボルト **3** を外し、ホイール回転数センサーをボアから取り外します。
- リム周辺をマスキングテープなどで保護し、ブレーキキャリパーを取り外す際に、傷が付かないようにします。

重要事項

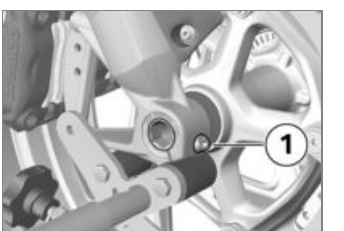
ブレーキパッドが意図せず押し付け合わされる

ブレーキキャリパーの装着時またはブレーキパッドの押し付け合わせ時のコンポーネントの損傷

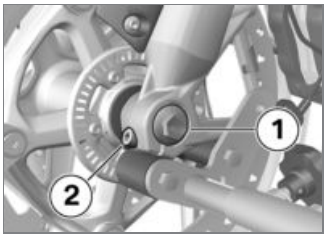
- ブレーキキャリパーが外れている (緩んでいる) 状態で、ブレーキを操作しないでください。◀
- 左右ブレーキキャリパーの固定ボルト **4** を取り外します。



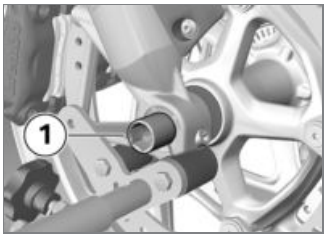
- ブレーキパッド **1** を、ブレーキキャリパー **2** を回転させて、ブレーキディスク **3** に少し押しつけます。
- ブレーキキャリパーを後方外側へ慎重に引いて、ブレーキディスクから取り外します。
- モーターサイクルを持ち上げ、フロントホイールが妨げなく回転できるようにします。それには、BMW Motorrad フロントホイールスタンドを使用するのが最も良い方法です。
- フロントホイールスタンドを取り付けます(➠ 153)。



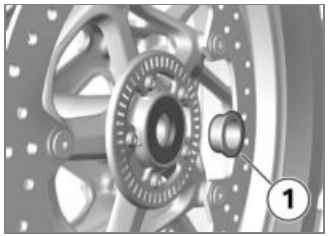
- 右側アクスルクランプボルト **1** を外します。



- ボルト **1** を取り外します。
- 左アクスルクランプボルト **2** を外します。
- アクスルシャフトをわずかに内側に押し、アクスルシャフ右側から手が届きやすいようにします。



- フロントホイールを保持しながら、アクスルシャフト **1** を引き出します。
- フロントホイールを下に置き、フロントサスペンションから前方へ転がして取り出します。



- スペーサーブッシュ **1** をホイールハブから取り出します。

フロントホイールを取り付ける

警告

当該シリーズに適合しないホイールの使用

ABS およびASC の制御介入における機能障害

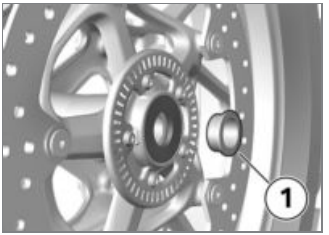
- この章のはじめにある、ホイールサイズがフレーム制御システムABS およびASC に与える影響についての注意事項を確認し、遵守してください。◀

重要事項

ボルト締め付け部を誤った締め付けトルクで締め付ける

ボルト締め付け部の損傷または緩み

- 締付けトルクの点検は、必ずBMW Motorrad ディーラーに依頼してください。◀



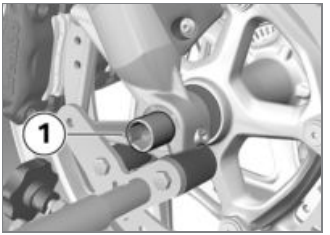
- ホイールハブ左側スペーサーブッシュ **1** を取り付けます。

重要事項

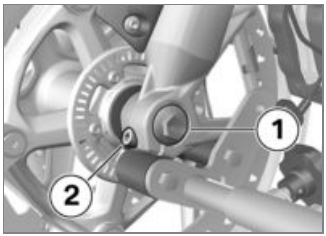
フロントホイールの取り付けが回転方向と逆

事故の危険

- タイヤまたはリム上にある回転方向を示す矢印を確認し、遵守してください。◀
- フロントホイールをフロントホイールロケーションへ転がし入れます。



- フロントホイールを持ち上げて、アクスルシャフト **1** を取り付けます。
- フロントホイールスタンドを外し、フロントフォークを数回、強く圧縮します。その際、ブレーキレバーを操作してはいけません。
- フロントホイールスタンドを取り付けます(➠ 153)。

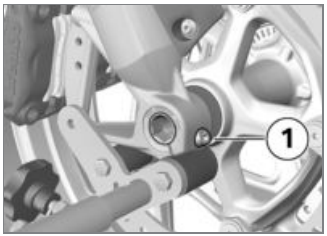


- ボルト **1** を規定の締付けトルクで取り付けます。その際、アクスルシャフトを右側に保持します。

テレスコピックフォーク内アクスルシャフト
30 Nm

- 左アクスルクランプボルト **2** を規定トルクで締め付けます。

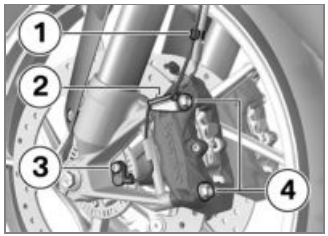
テレスコピックフォークのアクスルシャフト用固定ボルト
19 Nm



- 右アクスルクランプボルト **1** を規定のトルクで締付けます。

テレスコピックフォークのアクスルシャフト用固定ボルト
19 Nm

- フロントホイールスタンドを取り外します。
- 左右ブレーキキャリパーをブレーキディスクに取り付けます。



- 左右の固定ボルト **4** を規定トルクで締め付け、取り付けます。

テレスコピックフォークのブレーキキャリパー
38 Nm

- ホイールリムに貼られているマスキングテープなどをはがします。

⚠ 警告

ブレーキパッドがブレーキディスクに密着していない
ブレーキ作用の遅延によって事故を起こす危険あり。
- 運転開始前には、ブレーキ作用が遅延なくかかることを点検すること。◀
- ブレーキパッドが密着するまで、ブレーキを何度か操作します。
- ホイール回転数センサー用ケーブルをクランプ **1** および **2** に組み込みます。
- ホイール回転数センサーをボアに組み込み、ボルト **3** を取り付けます。

ホイール回転数センサーとフォーク
接合剤: マイクロカプセル付き
8 Nm

リヤホイールを取り外す
- 平坦で、固くしっかりとした路面に、モーターサイクルをメイン(センター) スタンドで立てます。
- ギヤを 1 速に入れます。

⚠ 注意

高温のエキゾーストシステム
火傷の危険
- 高温のエキゾーストシステムには触れないこと。◀
- エンドマフラーを冷却します。

- リヤホイールのボルト **1** を取り外します。その際、ホイールを保持します。
- リヤホイールを後方へ転がして取り外します。

リヤホイールを取り付ける

警告

当該シリーズに適合しないホイールの使用

ABS およびASC の制御介入における機能障害

- この章のはじめにある、ホイールサイズがフレーム制御システムABS およびASC に与える影響についての注意事項を確認し、遵守してください。◀

重要事項

ボルト締め付け部を誤った締め付けトルクで締め付ける

ボルト締め付け部の損傷または緩み

- 締付けトルクの点検は、必ずBMW Motorrad ディーラーに依頼してください。◀
- リヤホイールをリヤホイールサポートの上に載せます。

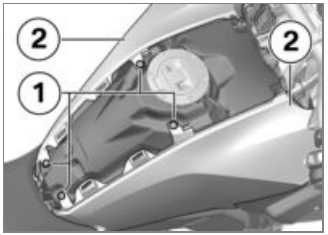
- ホイールボルト **1** を規定の締付けトルクで取り付けます。

	リヤホイールとホイールフランジ
締付け順序: 対角の順に締め付ける	
60 Nm	

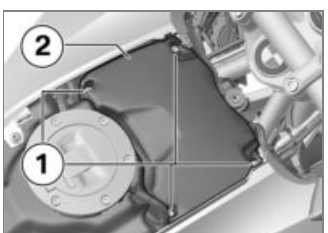
エアフィルター

エアフィルターエレメントを交換する

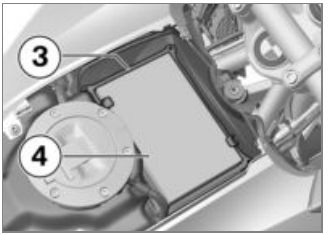
- フロントシートを取り外す(➠ 83)。
- ボルト **1** および **2** を取り外します。
- センターフェアリングを取り外します。



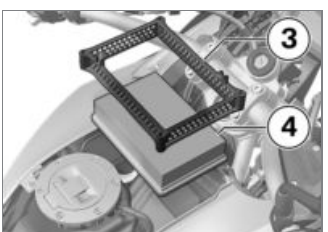
- ボルト **1** を取り外します。
- 両面のカバー **2** を外す。



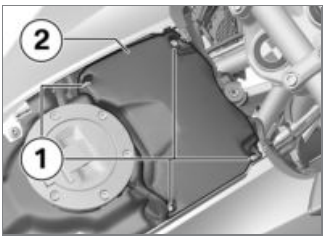
- ボルト **1** を取り外します。
- エアフィルターカバー **2** を取り外す。



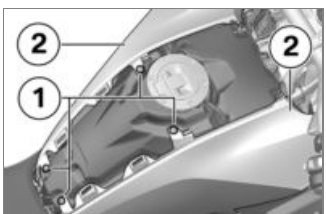
- フレーム **3** を取り外す。
- エアフィルターエレメント **4** を取り外す。



- エアフィルターエレメント **4** を清掃し、必要に応じて新品に交換します。
- エアフィルターエレメント **4** およびフレーム **3** をセットします。

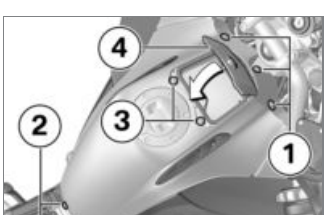


- エアフィルターカバー **2** を取り付けます。
- ボルト **1** を取り付けます。



- 両面のカバー **2** を位置決めします。
- ボルト **1** を取り付けます。

- タンクカバー **1** を組み込みます。取り付ける際には、フロントフェンダー下のガイド (**矢印**) が上 **2** にあるように注意してください。



- ボルト **1**、**2** と **3** を取り付けます。
- ストレージコンパートメントのカバー **4** を閉めます。
- フロントシートを取り付ける(➠ 85)。

バルブ

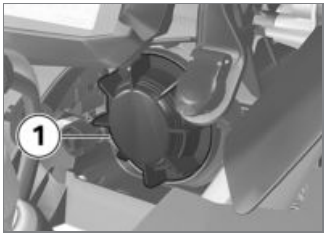
ロービーム / ハイビーム用バルブを交換する

– LED ヘッドライト OE 非装備

注意事項

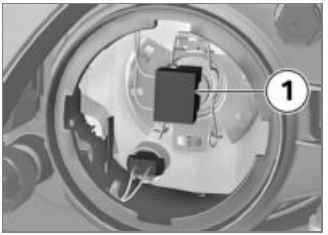
コネクターやスプリングクランプおよびライトバルブの位置や向きは、以下の図と異なる場合があります。◄

- 平坦で、固くしっかりとした路面に、モーターサイクルを駐車します。
- イグニッションを OFF にします。



- カバー **1** を反時計回りに回して取り外し、ロービームを交換します。

- カバー **1** を反時計回りに回して取り外し、ハイビーム用バルブを交換します。



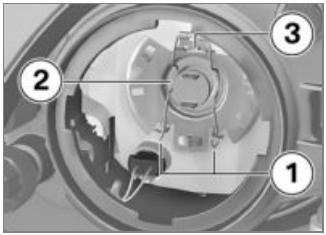
- コネクター **1** を外します。

- スプリングワイアホルダー **1** をロックから外し、横に折り曲げます。
- バルブ **2** を取り外します。
- 故障しているバルブを交換します。

ロービームのバルブ
H7 / 12 V / 55 W
– LED ヘッドライト OE 装備
LED◁

ハイビーム用バルブ
H7 / 12 V / 55 W
– LED ヘッドライト OE 装備
LED◁

- バルブを持つときには、ガラス面が汚れないように、必ずソケット部分を持ちます。

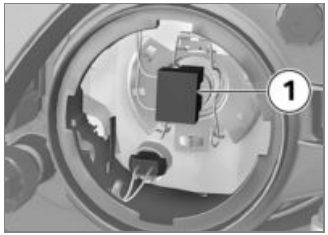


- 正しいノーズ **3** の位置に注意しながら、バルブ **2** をはめ込みます。

注意事項

白熱バルブの位置や向きは、図とは異なる場合があります。◀

- スプリングワイアホルダー **1** をロックにセットします。

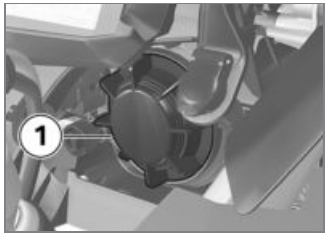


- コネクター **1** を接続します。
- カバーをあてがい、時計回りに回して取り付けます。

ポジションライト / パーキングライト用バルブを交換する

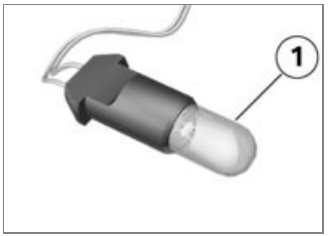
– LED ヘッドライト OE 非装備

- 平坦で、固くしっかりとした路面に、モーターサイクルを駐車します。
- イグニッションを OFF にします。



- カバー **1** を反時計回りに回して取り外します。

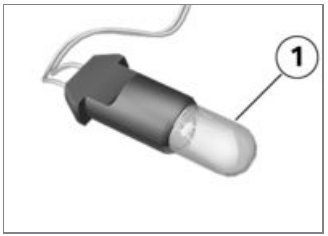
- ソケット **1** をヘッドライトハウジングから引き出します。



- バルブ **1** をソケットから引き出します。
- 故障しているバルブを交換します。

ポジションライト / パーキングライトバルブ
W5W / 12 V / 5 W
– LED ヘッドライト[OE] 装備
LED◁

- ガラス面に汚れが付かないようにするため、バルブは乾いているきれいなウエスを使用して取り扱います。



- バルブ **1** をソケットにセットします。

- ホルダー **1** をヘッドライトケースに取り付けます。
- カバーをあてがい、時計回りに回して取り付けます。

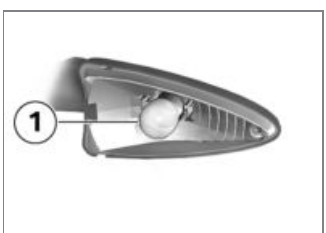
フロント / リヤのウインカー用バルブを交換する

– LED ウインカー非装備[OE]

- 平坦で、固くしっかりとした路面に、モーターサイクルを駐車します。
- イグニッションを OFF にします。

- ボルト **1** を取り外します。

- レンズのボルト固定側をミラーハウジングから引いて外します。



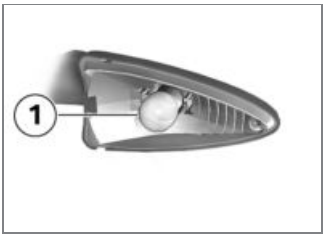
- バルブ **1** を反時計回りに回してミラーハウジングから取り外します。◁

- 故障しているバルブを交換します。

フロントウインカー用バルブ
RY10W / 12 V / 10 W
– LED ウインカー装備[OE]
LED◁

リヤウインカー用バルブ
RY10W / 12 V / 10 W
– LED ウインカー装備[OE]
LED◁

- ガラス面に汚れが付かないようにするため、バルブは乾いているきれいなウエスを使用して取り扱います。



- バルブ **1** を時計回りに回して、ライトハウジングに取り付けます。

- レンズ (車両側) をライトハウジングにセットし、閉じます。

- ボルト **1** を取り付けます。

LED テールライトを交換する

LED テールライトは、アセンブリーでのみ交換することができます。

- この件につきましては、BMW Motorrad ディーラーにお問い合わせください。

LED ウインカーを交換する

– LED ウインカー装備[OE]

- LED ウインカーはアセンブリーでのみ交換可能です。この件につきましては、BMW Motorrad ディーラーにお問い合わせください。

LED ヘッドライトを交換する

– LED ヘッドライト[OE] 装備

- LED ヘッドライトはアセンブリーでのみ交換可能です。この件につきましては、BMW Motorrad ディーラーにお問い合わせください。

LED 補助ヘッドライトを交換する

– LED 補助ヘッドライト[OA] 装備

LED 補助ヘッドライトは、アセンブリーでのみ交換可能です。LED を個別に交換することはできません。
BMW Motorrad ディーラーにお問い合わせください。

始動補助

注意

エンジン作動時に、イグニッションシステムの電圧を伝導する部品に接触

感電

- エンジン作動時は、イグニッションシステムの部品に決して触れないでください。◀

重要事項

モーターサイクルでジャンプスタートを行う際の強すぎる電流

車両電装系の損傷やケーブルの燃焼

- モーターサイクルのジャンプスタートは電源ソケットからではなく、必ずバッテリーターミナルから行ってください。◀

重要事項

ジャンパーコードのターミナルクランプと車両間の接触

ショートのおそれ

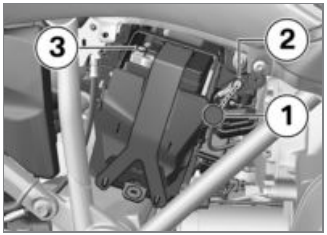
- ジャンパーコードは完全に絶縁されているターミナルクランプとともに使用してください。◀

重要事項

ジャンプスタートを 12 V より高い電圧で行う

車両電装系の損傷

- 供給側車両のバッテリー電圧が、12 V であることを確認してください。◀
- 平坦で、固くしっかりとした路面に、モーターサイクルを駐車します。
- バッテリーカバーを取り外す(➠ 179)。
- ジャンプスタートを行う際、バッテリーを車両電装システムから外さないでください。



- 保護キャップ **1** を取り除きます。
- ジャンパーコード (赤) を用いて、放電したバッテリーのバッテリープラスターミナル **2** を供給側バッテリーのプラス極に接続します。
- ジャンパーコード (黒) の一方の先端を供給側バッテリーのマイナスターミナルに接続します。その後、もう一方の先端を放電したバッテリーのマイナスターミナル **3** に接続します。
- ジャンプスタートを行っている間、供給側バッテリー車両のエンジンを作動させておきます。
- 放電したバッテリー側の車両のエンジンを、通常の方法で始動させます。正常に始動しなかった場合は、スターターと供給側バッテリーの保護のため、数分経ってから再始動させてください。
- 接続を外す前に、両車両のエンジンをそのまま数分間作動させておいてください。
- ジャンパーコードは、まずマイナスターミナルから外し、その後プラスターミナルから外します。

注意事項

エンジンを始動するために、スタートアシストスプレーや類似の補助剤は使用しないでください。◀

- 保護キャップを取り付けます。
- バッテリーカバーを取り付ける(➠ 181)。

バッテリー

メインテナンスに関する注意

正しいメインテナンス、充電、保管は、バッテリーの寿命を延ばし、また、保証のための前提条件となります。

バッテリーの寿命を延ばすために、以下のことに注意してください。

- バッテリーの表面を、清潔で乾いた状態に保つ。
- バッテリーを開けない。
- バッテリーに水を補充しない。
- バッテリーの充電を行う場合は、必ず、次ページ以降の注意事項に従う。
- バッテリーを逆さまにしない。

重要事項

車両エレクトロニクス(時計など)により、接続されているバッテリーが放電する

過放電、それによる保証要件からの除外

- 4 週間以上、走行しない場合：トリクルチャージャーをバッテリーに接続してください。◀

注意事項

BMW Motorrad では、ご使用のモーターサイクルの電子機器専用にトリクルチャージャーを開発しました。このチャージャーを使用すれば、車両を長期間使用しない場合でも、バッテリーを接続した状態で充電しておくことができます。詳しい情報につきましては、BMW Motorrad ディーラーにお問合せください。◀

接続しているバッテリーを充電する

重要事項

車両に接続されているバッテリーをバッテリーターミナルで充電

車両電装系の損傷

- 充電前にバッテリーをバッテリーターミナルから接続を外してください。◀

重要事項

電源ソケットまたは補助コネクターを使用して、完全に放電したバッテリーを充電する

車両電装系の損傷

- 完全に放電したバッテリー(バッテリー電圧 < 9 V、イグニッション ON の状態でインジケーターおよびマルチファンクションディスプレイが OFF のまま)は、常に、直接、**接続を外した** バッテリーのターミナルで充電してください。◀

重要事項

電源ソケットに接続されている、不適切なバッテリーチャージャー

チャージャーおよび車両電装系の損傷

- 適切なBMW チャージャーを使用します。対応する適切な

チャージャーはBMW Motorradディーラーで入手することができます。◀

- 接続しているバッテリーに電源ソケットから充電します。

注意事項

バッテリーがフル充電されると、車両の電子機器が検知します。この場合、電源ソケットの回路は遮断されます。◀

- チャージャーの取扱説明書に従ってください。

注意事項

電源ソケットからバッテリーの充電ができない場合、使用されたチャージャーがモーターサイクルの電子機器に適合していない可能性があります。この場合は、車両から分離したバッテリーのターミナルから、直接バッテリーを充電してください。◀

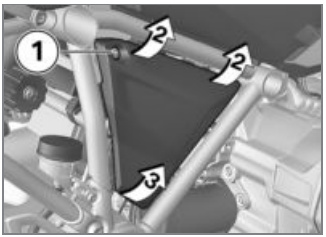
外したバッテリーを充電する

- 適切なチャージャーを使用して、バッテリーを充電します。
- チャージャーの取扱説明書に従ってください。
- 充電が終了したら、チャージャーのターミナルクランプをバッテリーターミナルから外します。

注意事項

長期間車両を使用しない場合は、バッテリーを定期的に充電する必要があります。その場合には、そのバッテリーの取扱い規定に従ってください。また、再使用する前に必ずバッテリーをフル充電してください。◀

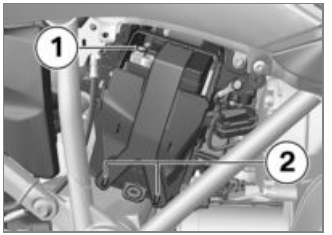
バッテリーを取り外す



- イグニッションを OFF にします。
- ボルト **1** を取り外します。
- バッテリーカバー上部を **2** の位置のところで、少し引っ張り出します。
- バッテリーカバーおよびサポートを損傷しないようにするため、バッテリーカバーを **3** の位置のところで上方へ取り外します。

– 盗難警報装置 (DWA)　装備[OE]

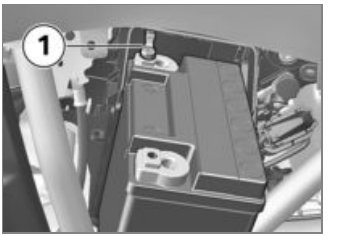
- 必要に応じて、盗難警報装置を OFF にします。◁



- バッテリーマイナス配線 **1** およびラバーバンド **2** を外します。

- ホールドプレートのポジション **1** を外側へ引いてから、上方へ取り外します。

- バッテリーをわずかに持ち上げて、プラス極に手が届くようになるまで止め具から取り外します。

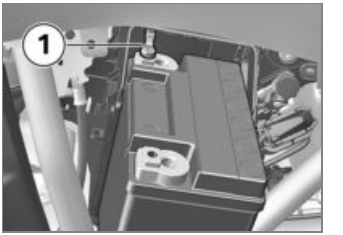


- バッテリープラス配線 **1** を外し、バッテリーを引き出します。

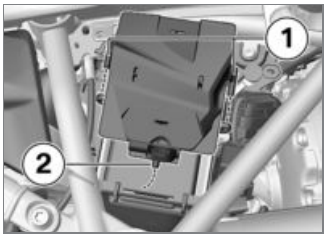
バッテリーを取り付ける

注意事項

12 V バッテリーが誤って取り付けられている場合、または極性に誤りがある場合 (ジャンプスタートの場合など)、オルタネーターレギュレーター (電圧調整器) のヒューズが溶断するおそれがあります。◀



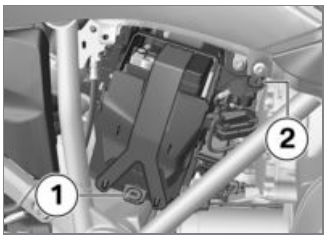
- バッテリープラス配線 **1** を取り付けます。
- バッテリーを止め具にスライドして入れます。



- ホールドプレートをまずホルダー **1** に組み込み、引き続きポジション **2** をバッテリーの下に押し込みます。

- バッテリーマイナス配線 **1** を取り付けます。

- バッテリーをラバーバンド **2** で固定します。



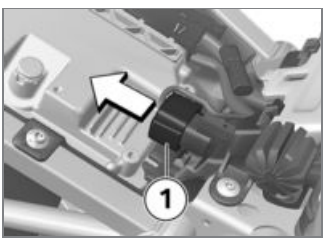
- バッテリーカバーをホルダー **1** に組み込み、ホルダー **2** に押し入れます。

- ボルト **1** を取り付けます。

- 時計を調整する(➠ 97)。
- 日付設定(➠ 97)。

ヒューズ

ヒューズを交換する



- イグニッションを OFF にします。
- フロントシートを取り外す(➠ 83)。
- コネクター **1** を外します。

重要事項

故障しているヒューズのバイパス
ショートや火災の危険

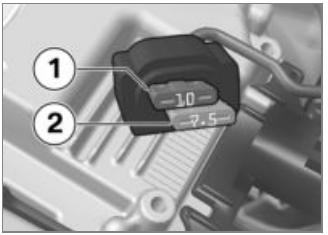
- 故障しているヒューズは交換してください。
- 故障ヒューズは新品のヒューズと交換してください。◀
- 故障しているヒューズをフューズ一覧に従って交換します。

注意事項

ヒューズが頻繁に故障する場合には、電装システムの点検を専門の整備工場またはBMW Motorradディーラーに依頼してください。◀

- コネクター **1** を取り付けます。
- フロントシートを取り付ける(➠ 85)。

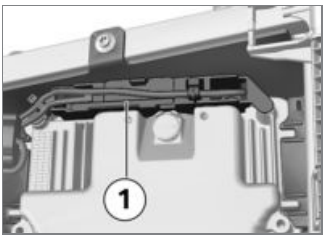
ヒューズ割当て



1 10 A
メーターパネル
盗難警報装置(DWA)
イグニッションロック
診断ソケット

2 7.5 A
左コンビネーションスイッチ
タイヤ空気圧コントロール(RDC)

オルタネーターレギュレーター(電圧調整器)用ヒューズ



1 50 A
オルタネーターレギュレーター(電圧調整器)

診断コネクター

診断コネクターを外す

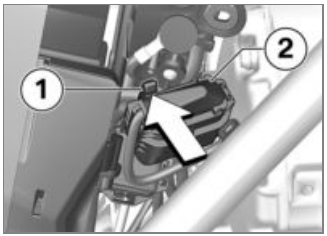
注意

オンボード診断用の診断コネクターを外す方法に誤り

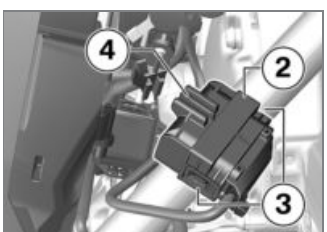
車両の機能障害

- 診断コネクターを外す場合は、必ずBMW Service の間に依頼するか、専門の整備工場またはその他の認定を受けた人物に依頼してください。
- 適切な教育を受けた人物に作業を依頼してください。
- 車両メーカーの規定を守ってください。◀

- バッテリーカバーを取り外す(➠ 179)。



- フック **1** を押し、診断コネクター **2** を上方へ引き出します。

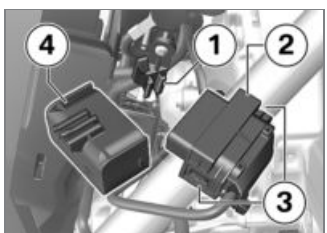


- ロック **3** の両側を押します。
- 診断コネクター **2** を止め具 **4** から外します。

» 診断および情報システム用インターフェースを診断コネクター **2** に差し込むことができます。

診断コネクターの固定

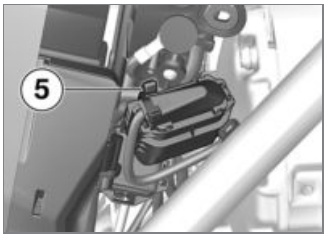
- 診断および情報システム用インターフェースを外します。



- 診断コネクター **2** を止め具 **4** に差し込みます。

» 両側でロック **3** がかみ合います。

- 止め具 **4** をホルダー **1** に差し込みます。



- フック **5** がロックしたか確認してください。
- バッテリーカバーを取り付ける(➠ 181)。

アクセサリー

一般的な情報 186
電源ソケット 186
ケース 187
トップケース 190
ナビゲーションシステム 197

一般的な情報

⚠ 注意

他社製品の使用

安全に関わる危険

- BMW Motorrad では、すべての他社製品について、BMW 車両において安全性の問題なく使用できるかどうか判定することはできません。国別仕様により公的な許可が与えられている場合にも、これは認められていません。それらのようなテスト / 点検では、常にBMW 車両におけるすべての使用条件を考慮に入れるということはできず、そのため部分的に十分でないところがあります。
- 必ず、BMW が BMW 車両用に承認している部品およびアクセサリー製品のみご利用ください。◀

部品およびアクセサリーは、BMW により、その安全性、機能、適性に関する試験が実施されています。これらの製品については、BMW が製造責任を保証いたします。承認されていない部品やアクセサリーにつきましては、いかなる種類であれ、BMW は責任を負いません。

変更を加える場合にはすべて、必ず法規制に従ってください。各国の道路交通法を遵守してください。

BMW Motorrad ディーラーは、皆様がBMW 純正部品、アクセサリー、その他の製品を選択されるにあたり、専門的なアドバイスをいたします。

アクセサリーに関する詳しい情報については、以下を参照してください：

bmw-motorrad.com/accessories

電源ソケット

電装系機器の接続

– 電源ソケットに接続されている機器は、イグニッション ON の状態でのみ、作動させることができます。

ケーブルの取り回し

– 電源ソケットから追加装備機器までのケーブルは、ライダーの邪魔にならないように取り回してください。
– ケーブルの取回しによって、ステアリングアングルや走行特性が制限されてはなりません。
– ケーブルが挟み込まれないようにします。

自動停止

– 電源ソケットは、始動動作中に自動的に OFF になります。
– 車両電装システムの負荷解除のため、電源ソケットは、イグニッションを OFF にしてか

ら 15 分以内に OFF になります。電流消費の少ない補助機器は車両エレクトロニクスによって検知されない可能性があります。これらの場合、イグニッション OFF 後にしばらく経ってから電源ソケットが OFF に切り替わります。

– バッテリー電圧が低すぎる場合、電源ソケットが OFF になり、車両のスタート特性を保持します。
– テクニカルデータに示されている最大荷重容量を超過している場合、電源ソケットは OFF になります。

ケース

ケースを開きます

– ケース[OA] 装備

- キー **1** を時計回りに回します。
- ロック **2**(黄) を押したまま、キャリングハンドル **3** を上に開きます。

- ボタン **1**(黄) を押し下げながら、ケースカバーを開きます。

ケース容量を調整する

– ケース[OA] 装備

- ケースを開き、空にします。

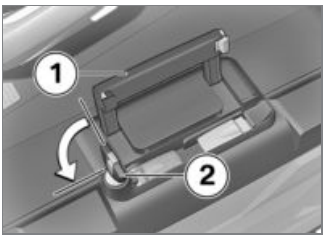
- スイングレバー **1** を上側終端位置にかみ合わせ、小さい方のボリュームになるようにします。
- 大きい方の容量にするため、スイングレバー **1** を下側終端位置にかみ合わせます。
- ケースを閉じます。

ケースを閉じる

– ケース[OA] 装備

- キーをケースロックに差し込み、進行方向に対して直角に回します。
- ケースカバーを閉じます。

» カバーがはまる音が聞こえます。



重要事項

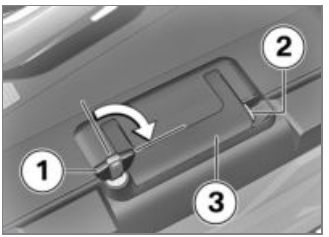
ロックされたケースロックによりキャリングハンドルが閉じる

ロックストラップの損傷

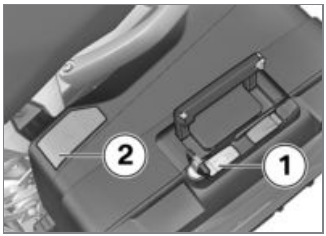
- キャリングハンドルを閉じる際、ケースロックを斜めに進行方向に向けるように注意すること。◀
- キャリングハンドル **1** を閉じます。
- キー **2** を反時計回りに回して抜き取ります。

ケースを取り外します

– ケース[OA] 装備



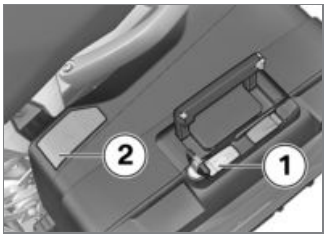
- キー **1** を時計回りに回します。
- ロック **2**(黄) を押したまま、キャリングハンドル **3** を上に開きます。



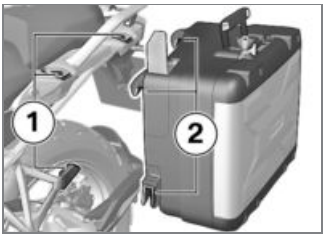
- ロック解除レバー(赤) **1** を引き上げます。
» ロックフラップ **2** が飛び出します。
- ロックフラップを完全に開きます。
- キャリングハンドルを持って、ケースをホルダーから外します。

ケースを取り付けます

– ケース[OA] 装備



- ロック解除レバー(赤) **1** を引き上げます。
» ロックフラップ **2** が飛び出します。
- ロックフラップを完全に開きます。

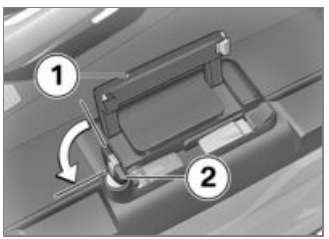


- ケースを上から止め具 **1** および **2** に組み込みます。

- ロックフラップ **1** をストップ位置まで下方向へ押します。

- 引き続きロックフラップおよびロック解除レバー **2** (赤) を同時に押し下げます。

» ロックフラップがロックします。



重要事項

ロックされたケースロックによりキャリングハンドルが閉じる

ロックストラップの損傷

- キャリングハンドルを閉じる際、ケースロックを斜めに進行方向に向けるように注意すること。◀
- キャリングハンドル **1** を閉じます。
- キー **2** を反時計回りに回して抜き取ります。

最大積載荷重および最高速度

ケース内の注意ラベルに記載されている最大積載荷重および最高速度を遵守してください。
車両にケースを組み合わせた場合についてステッカーに記載されていない場合には、最寄りのBMW Motorrad ディーラーにお問い合わせください。
ここに記載されている組み合わせについては、下記の値が適用されます：

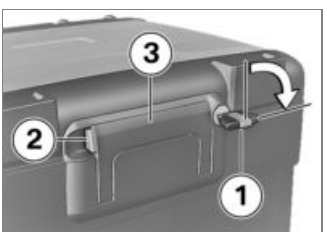
パニアケースを装着している状態で走行する場合の最高速度
max 180 km/h

パニアケースごとの積載荷重
max 10 kg

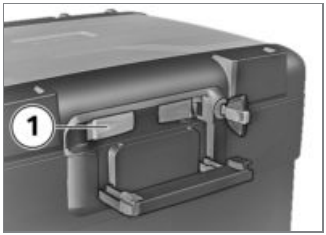
トップケース

トップケースを開きます

– トップケース装備[OA]



- キー **1** を時計回りに回します。
- ロック **2** (黄) を押したまま、キャリングハンドル **3** を上に開きます。



- ボタン **1**(黄) を前方へ押しながら、トップケースを開きます。

トップケース容量を調整する

– トップケース装備[OA]

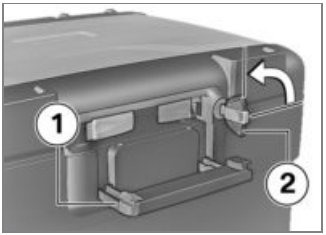
- トップケースを開き、空にします。

- 大きい方の容量に調整するため、スイングレバー **1** を前側終端位置にかみ合わせます。
- 小さい方の容量に調整するため、スイングレバー **1** を後ろ側終端位置にかみ合わせます。
- トップケースを閉じます。

トップケースを閉じる

– トップケース装備[OA]

- トップケースリッドを強く押して閉じます。



重要事項

施錠されたケースロックにおけるキャリングハンドルの折りたたみ

ロックストラップの損傷

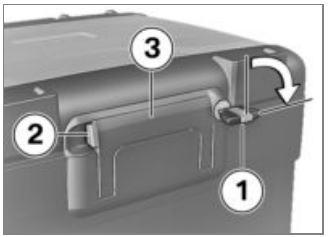
- キャリングハンドルを折りたたむ前に、トップケースロックが垂直に立っているか確認してください。◀
- キャリングハンドル **1** を閉じます。

» キャリングハンドルがはまる音が聞こえます。

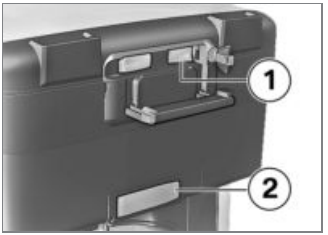
- キー **2** を反時計回りに回して抜き取ります。

トップケースを取り外す

– トップケース装備[OA]



- キー **1** を時計回りに回します。
- ロック **2**(黄) を押したまま、キャリングハンドル **3** を上に開きます。



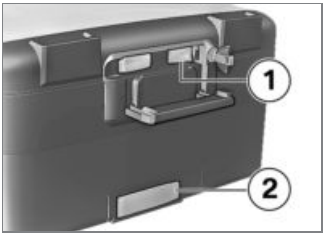
- レバー **1**(赤) を後方へ引きます。

» ロックフラップ **2** が飛び出します。

- ロックフラップを完全に開きます。
- キャリングハンドルを持って、トップケースをホルダーから外します。

トップケースを取り付ける

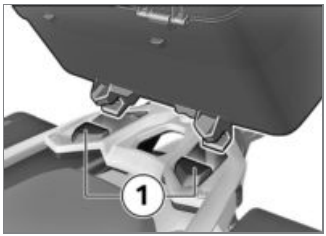
– トップケース装備[OA]



- レバー **1**(赤) を後方へ引きます。

» ロックフラップ **2** が飛び出します。

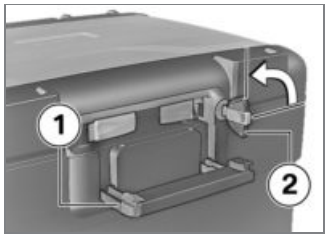
- ロックフラップを完全に開きます。



- トップケースをトップケースリテーニングプレートの前側ホルダー **1** に掛けます。
- トップケース後部をトップケースホールドプレートの上に押し付けます。

- ロックフラップ **1** をストップ位置まで前方向へ押します。
- 引き続きロックフラップおよびロック解除レバー **2**（赤）を同時に前方へ押します。

» ロックフラップがロックします。



重要事項

施錠されたケースロックにおけるキャリングハンドルの折りたたみ

ロックストラップの損傷

- キャリングハンドルを折りたたむ前に、トップケースロックが垂直に立っているか確認してください。◀
- キャリングハンドル **1** を閉じます。

» キャリングハンドルがはまる音が聞こえます。

- キー **2** を反時計回りに回して抜き取ります。

最大積載荷重および最高速度

トップケース内の注意ラベルに記載されている最大積載荷重および最高速度を遵守してください。
車両にトップケースを組み合わせた場合について注意ラベルに記載されていない場合には、最寄りのBMW Motorrad ディーラーにお問い合わせください。
ここに記載されている組み合わせについては、下記の値が適用されます：

Vario トップケース積載で走行時の最高車速
max 180 km/h

トップケースの積載荷重
max 5 kg

トップケースを取り付ける

– トップケース 2 (大)、49 ℓ 装備[OA]

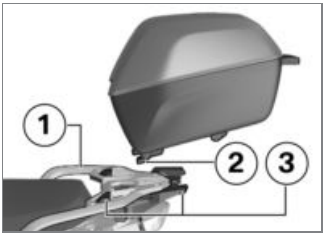
⚠ 警告

不適切に取り付けられているトップケース

走行安全性の低下

- トップケースにがたつきがあってはならず、遊びなしでしっかりと固定されていなければなりません。◀

- キャリングハンドル **1** を完全に引き上げます。



- トップケースをラゲッジラック **1** に固定します。フック **2** が、ホルダー **3** に確実にかみ合っているか確認します。
- キャリングハンドルを、はまる音がするまで押し下げます。

- トップケースロックのキーをポジション **1** に回し、引き抜きます。

トップケース 2、ラージ、49L を装着した場合の最高車速
max 180 km/h

トップケース 2、ラージ、49L の積載重量
max 5 kg

- 最高速度値および積載値を超過しないでください。

トップケースを開きます

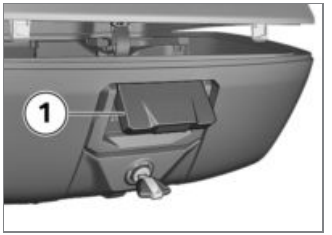
– トップケース 2 (大)、49 ℓ 装備OA

- トップケースロックのキーをポジション **1** に回します。

- ロックシリンダー **1** を前へ押します。
» ロック解除レバー **2** が飛び出します。
- ロック解除レバーを完全に引き上げます。
» トップケースカバーが開きます。

トップケースを閉じる

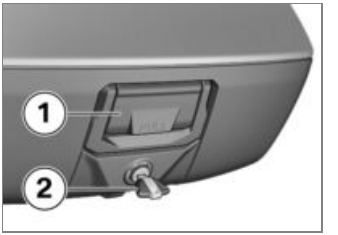
– トップケース 2 (大)、49 ℓ 装備OA



- ロック解除レバー **1** を完全に引き上げます。
- トップケースリッドを押したまま保持します。中身が挟まっていないか確認します。

注意事項

ロックがポジションLOCK にある場合、トップケースが閉じることもあります。この場合、車両キーがトップケースにあることを確認します。◀



- ロック解除レバー **1** を、しっかりとはまるまで押し下げます。
- トップケースロックに差し込んだキー **2** を **LOCK** 位置に回して引き抜きます。

トップケースを取り外す

– トップケース 2 (大)、49 ℓ 装備OA

- トップケースロックのキーをポジション **1** に回します。

» キャリングハンドルが飛び出します。

- キャリングハンドル **1** を完全に引き上げます。

- トップケース後部を持ち上げ、ラゲッジラックから引いて外します。

ナビゲーションシステム

– ナビゲーションシステム用取付けキット装備[OE]

ナビゲーションユニットをしっかりと取り付ける

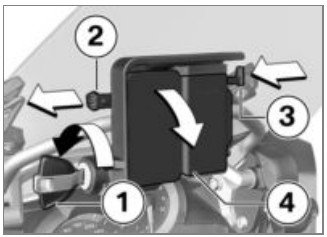
注意事項

ナビゲーション取り付けキットは、BMW Motorrad Navigator IV および BMW Motorrad Navigator V に適合しています。◀

注意事項

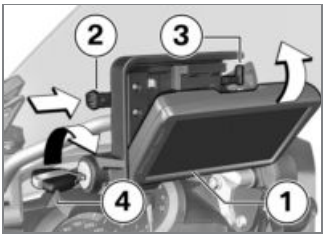
Mount Cradle のロックシステムに盗難からの保護機能はありません。

走行後には毎回、ナビゲーションシステムを取り外し、安全なところに保管してください。◀



- 車両キー **1** を反時計回りに回します。
- ヒューズ **2** を**左**方向へ引きます。
- ロック **3** を圧入します。

» Mount Cradle（マウントクレードル）はロック解除されており、カバー **4** を回転させて前方へ取り外すことができます。



- ナビゲーション装置 **1** を下側のエリアに組み込み、回転させて後方へ動かします。

» ナビゲーション装置がはまる音が聞こえます。

- ヒューズ **2** を完全に**右**方向へずらします。

» ロック **3** がロックしています。

- 車両キー **4** を時計回りに回します。

» ナビゲーション装置がロックされており、車両キーを抜き取ることができます。

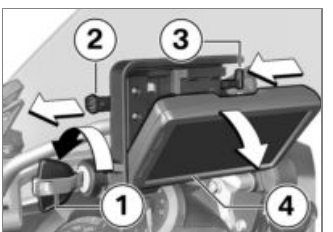
ナビゲーション装置を取り外し、カバーを取り付ける

重要事項

Mount Cradle の接触部の塵埃や汚れ

接触部の損傷

- 走行後には毎回、カバーを再度取り付けてください。◀



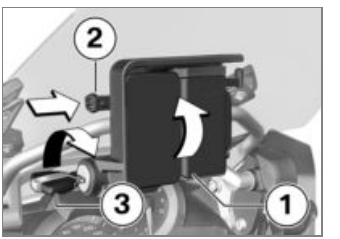
- 車両キー **1** を反時計回りに回します。
- ヒューズ **2** を完全に**左**方向へ引きます。

» ロック **3** はロック解除されています。

- ロック **3** を完全に**左**方向へずらします。

» ナビゲーション装置 **4** がロック解除されます。

- ナビゲーション装置 **4** を傾けながら下方向へ取り外します。



- カバー **1** を下側のエリアに組み込み、回転させて上方向へ動かします。

» カバーが音をたててはまります。

- ヒューズ **2** を**右**方向へずらします。
- 車両キー **3** を時計回りに回します。

» カバー **1** はロックされています。

ナビゲーションシステムを操作する

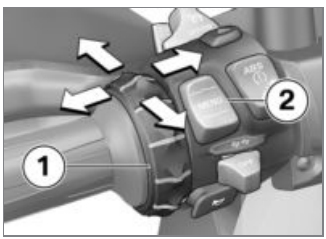
注意事項

以下の説明はNavigator V に関するものです。 Navigator IV は記載されているすべての機能を有するものではありません。◀

注意事項

BMW Motorrad コミュニケーションシステムの最新バージョンのみがサポートされます。場合により、 BMW Motorrad コミュニケーションシステム用のソフトウェア更新が必要です。 その場合には、 BMW Motorrad ディーラーにお問い合わせください。◀

BMW Motorrad Navigator が取り付けられており、操作焦点がNavigator に切り替えられている (➠ 93) 場合は、その機能の一部をハンドルバーから直接操作することができます。



ナビゲーションシステムの操作は、マルチコントローラー **1** およびMENU ロッカーボタン **2** で行います。

マルチコントローラー 1 を上下に回す

コンパスおよびMediaplayer 画面にて： Bluetooth を介して接続されているBMW Motorrad コミュニケーションシステムの音量を上げます / 下げます。
BMW スペシャルメニューにて：メニュー項目を選択します。

マルチコントローラー 1 を左右に短く傾ける

Navigator のメインページ間を移動します：
– 地図表示部
– コンパス
– Mediaplayer
– BMW スペシャルメニュー
– ご使用のモーターサイクルのページ

マルチコントローラー 1 を左右に長く傾ける

Navigator ディスプレイの特定の機能を作動させます。この機能は、該当するタッチパッドの上側に左矢印または右矢印で示されています。

この機能は右方向へ長押しすることにより起動します。

この機能は左方向へ長押しすることにより起動します。

MENU ロッカーボタン 2 の下を押す

操作焦点をPure Ride 画面に切り替えます。

それぞれ以下の機能が操作できます：

地図表示部
– 上方向へ回す： 地図表示部を拡大する (Zoom in)。
– 下方向へ回す： 地図表示部を縮小する (Zoom out)。

コンパスのページ
– 回すことにより、Bluetooth 経由で接続されているBMW Motorrad コニュニ

ケーションシステムの音量が上がります / 下がります。

BMW スペシャルメニュー

- 前回のナビゲーションアナウンスを繰り返します。
- ウェイポイント: 現在位置をお気に入りとして保存します。
- ホーム: 自宅住所へのナビゲーションを開始します (自宅住所が設定されていない場合にはグレー表示になっています)。
- ミュート: 自動ナビゲーションアナウンス OFF または ON (OFF: ディスプレイ内の最上段に線で消されたリップマークが表示されます)。ナビゲーションアナウンスはその後「アナウンスする」を介してアナウンス可能になります。他のすべての音声出力は ON のままです。
- 表示を OFF にする: ディスプレイを OFF にします。
- 自宅に電話する: ナビゲーターに登録されている自宅電話番号に電話します (通信システムおよび電話が接続されている場合に限り表示されます)。
- 迂回: 迂回機能を ON にします (アクティブになっているルートがあるときにのみ作動)。
- ジャンプ: 次のウェイポイントをジャンプします (そのルートにウェイポイントがある場合にのみ作動)。

ご使用のモーターサイクル

- 回す: 表示されているデータ数を変更します。
- ディスプレイ上のデータ欄を軽く押すことにより、データの選択用メニューが開きます。
- 選択用に表示されている値は、取り付けられているオプション装備品により異なります。

Mediaplayer

- 左方向へ長押しする: 前のトラックを再生します。
- 右方向へ長押しする: 次のトラックを再生します。
- 回すことにより、Bluetooth 経由で接続されているBMW Motorrad コニュニケーションシステムの音量が上がります / 下がります。

注意事項

Mediaplayer 機能は、A2DP 規格に適合したBluetooth 機器 (BMW Motorrad 通信システムなど) の使用時にのみ利用可能です。◀

インジケーターおよび警告メッセージ

モーターサイクルのインジケーターおよび警告メッセージは、マップ表示の左上の該当するアイコン **1** で表示されます。

注意事項

BMW Motorrad コミュニケーションシステムが接続されている場合、警告 1 件につきさらに注意音が 1 つ鳴ります。◀

複数のアクティブな警告メッセージがある場合には、メッセージ数が三角形の警告マークの下側に表示されます。
三角形の警告マークをクリックすると、2 個以上のメッセージがある場合に、すべての警告メッセージを掲載したリストが開きます。
メッセージを 1 個選択すると、さらに詳しい情報が表示されます。

注意事項

すべての警告について詳細な情報を表示することはできません。◀

特別機能

BMW Motorrad Navigator の統合により、Navigator 取扱説明書の記載に異なる箇所が出ています。

燃料残量警告

フューエルレベル表示の設定は使用できません。残量警告は車両からNavigator に伝送されるからです。メッセージがアクティブになっている場合には、メッセージの上をクリックすることにより、次のガソリンスタンドが表示されます。

クロックディスプレイと日付

クロックディスプレイと日付は、Navigator からモーターサイクルに伝送されます。このデータのメーターパネルへの伝送は、メーターパネルのSETUP メニューで作動します。

セキュリティ設定

BMW Motorrad Navigator V では、4 桁の PIN により、第三者による操作から保護することができます (Garmin Lock)。この機能がアクティブになると、ナビゲーターが車両に取り付けられていてイグニッションが ON の間に、ライダーに対して、この車両を保護されている車両のリストに追加するかどうか確認がなされます。この問いに対して「はい」で確定すると、Navigator が

この車両の車両識別番号を保存します。
車両識別番号は 5 つまで登録することができます。
これらの車両の 1 台でイグニッションを ON にすることにより、Navigator が ON になります。これで PIN 入力は必要なくなります。
Navigator が ON の状態で車両から取り外されると、安全上の理由から PIN の確認が開始されます。

画面の輝度

取り付けられている状態で、画面の輝度がモーターサイクルにより設定されます。マニュアル入力は必要ありません。
自動設定は、ご希望に応じてNavigator 内のディスプレイ設定で OFF にすることができます。

お手入れ

ケア用品..... 204
洗車 204
損傷しやすい車両部品のお手入れ..... 205
塗装のお手入れ..... 206
保護コーティング 206
長期保管..... 206
再使用 206

ケア用品

BMW Motorrad は、ご使用になる洗剤やケア用品をBMW Motorrad ディーラーでお求めになることをお勧めします。BMW Care Products については、材質適合性テストおよび研究機関による製品テストや実用試験が行われており、車両に使用されている素材のケアと保護を最適に行います。

重要事項

不適切な洗剤およびケア用品の使用

車両部品の損傷

- ニトロ希釈液、コールドクリーナー、ガソリン、アルコールを含んだクリーナーなどを使用しないでください。◀

洗車

BMW Motorrad は、ペイントに付着している昆虫や硬化した汚れなどを、洗車の前に BMW 専用クリーナーで柔らかくして洗い流しておくことをお勧めします。しみができるのを避けるため、強い直射日光にさらされた直後や日向での洗車は行わないでください。

特に冬季の間は、洗車をより頻繁に行ってください。

路面に散布された塩を除去するため、走行後は、直ちにモーターサイクルを冷水で洗車します。

警告

車両を水洗いしたり、水たまりの中を通過したり、雨の日に走行した後の、水分の付着したブレーキディスクおよびブレーキパッド

ブレーキの効きの低下、事故を起こす危険

- ブレーキディスクおよびブレーキパッドが乾いた状態でブレーキがかけられるようになるまでは、早めにブレーキングしてください。◀

重要事項

温水による塩の作用の増大

腐食

- 散布された塩を除去するには、必ず冷水を使用してください。◀

重要事項

高圧クリーナーやスチームジェット機器の高い水圧による損傷

ラベル、シーリング、油圧式ブレーキシステム、電装系およびシートの腐食、ショートまたは損傷

- 高圧ジェットやスチームクリーナーは慎重に使用してください。◀

損傷しやすい車両部品のお手入れ

プラスチック

重要事項

不適切な洗剤の使用
プラスチック表面の損傷
- アルコールや溶剤、研磨剤を含んだクリーナーは使用しないでください。
- 虫取りスポンジや表面の硬いスポンジは使用しないでください。◀

フェアリング部
フェアリング部は、水とBMW プラスチックケア製品とを使用して清掃してください。

プラスチック製ウインドシールドおよびカバーレンズ
汚れや昆虫を、柔らかいスポンジと水を大量に使用して除去してください。

注意事項
硬化した汚れや昆虫などの付着は、湿らせた布などをかぶせて柔らかくしてください。◀

水とスポンジのみを使用した洗浄。

化学洗剤は使用しないでください。

クローム
クロームメッキ部分は、特に塩の作用を受けた際には、大量の水と BMW シャンプーで慎重に清掃してください。さらに処置を施す場合には、クロームポリッシャーを使用してください。

ラジエター
ラジエターは、定期的に清掃してください。冷却が不十分なために起こるエンジンのオーバーヒートを避けるためです。例えば、水圧をわずかにして、ホースを使用してください。

重要事項

ラジエタープレートを折り曲げる
ラジエタープレートの損傷
- 清掃の際に、ラジエタープレートを折り曲げないように注意してください。◀

ラバー部品
ラバー部品の清掃には、水または BMW ラバークリーナーを使用してください。

重要事項

ラバーシールのお手入れにシリコンスプレーを使用
ラバーシールの損傷
- シリコンスプレーやシリコンを含んだケア製品を使用しないでください。◀

塗装のお手入れ

定期的に洗車を行うことにより、塗装部分に長期間にわたって影響を与え、ペイントを損傷する原因となる物質を除去することができます。特に、大気汚染が激しい地域や、樹脂や花粉などが付着するような地域を走行した場合などに効果的です。
特に侵食性の高い物質は、直ちに除去してください。ペイントの損傷や変色を引き起こすおそれがあります。侵食性の高い物質には、こぼれたフューエルやオイル、グリース、ブレーキ液、鳥のふんなどがあります。これらには、BMW ポリッシャーまたはBMW 塗装クリーナーの使用をお勧めします。
ペイントの表面仕上げに付着している汚れは、洗車後に特に見えやすくなります。このような汚れは、クリーニング用ベンジンまたはアルコールを清潔な布や綿球などに含ませて、直ちに除去してください。BMW Motorrad は、タール系の汚れには、BMW タールリムーバーの使用をお勧めします。その後、その箇所のペイントを保護コーティングなどで保護します。

保護コーティング

水滴が水玉にならなくなったら、塗装の防錆処理をしなければなりません。
BMW Motorrad は、ペイント保護コーティングには、BMW ワックス、またはカルナバワックス、合成ワックスを含むコーティング剤をお勧めします。

長期保管

- 洗車を行います。
- モーターサイクルを満タンにします。
- バッテリーを取り外す(➠ 179)。
- ブレーキレバー、クラッチレバー、メイン(センター)スタンド、サイドスタンドのピボット部に、適切な潤滑剤を塗布します。
- むき出しの部品とクロームメッキ部品に非酸性のグリース(ワセリン)で防錆処理を施します。
- モーターサイクルを、両ホイールに負荷がかからない状態にして、乾燥した場所に保管します(できればBMW Motorrad が提供しているフロントホイールスタンドおよびリヤホイールスタンドを使用)。

再使用

- 表面に塗布されている保護用コーティングを取り除きます。
- 洗車を行います。

- バッテリーを取り付ける(➠ 180)。
- チェックリストを確認し、遵守する(➠ 121)。

テクニカルデータ

トラブルシューティング 210
ネジ止め部 214
燃料 216
エンジンオイル..... 217
エンジン..... 217
クラッチ..... 218
ギヤボックス 219
リヤホイールドライブ..... 220
フレーム..... 220
シャシー..... 221
ブレーキ..... 223
ホイールとタイヤ 224
電装システム 225
盗難警報装置 227
寸法 227
重量 230
性能 230

トラブルシューティング

エンジンが始動しない。

原因	修理
サイドスタンドが出ていて、ギヤが入っている	サイドスタンドを格納します。
ギヤが入っていて、クラッチを切っていない	ギヤをニュートラルに入れるか、クラッチを切ります。
燃料が入っていない	給油手順 (➠ 131)。
バッテリーが空になっている	接続しているバッテリーを充電する (➠ 178)。
スターターに対する過熱保護が作動した。スターターを稼働させる時間は制限されています。	スターターが使用できるようになるまで約 1 分間冷却します。

Bluetooth 接続が確立されません。

原因	修理
ペアリングに必要なステップが踏まれませんでした。	コミュニケーションシステムの Operating instructions で、ペアリングに必要なステップに関する情報を入手してください。
ペアリングを行ってもコミュニケーションシステムが自動的に接続されません。	ヘルメットのコミュニケーションシステムを OFF にして、1〜 2 分後に再度接続してください。
ヘルメットに保存されている Bluetooth 機器の数が多すぎます。	ヘルメットのすべてのペアリング登録を削除してください (コミュニケーションシステムの Operating instructions を参照)。
Bluetooth 対応機器を装備した他の車両が付近にあります。	複数の車両との同時ペアリングは避けてください。

Bluetooth 接続が阻害されています。

原因	修理
携帯端末機器との Bluetooth 接続が遮断されます。	省電力モードを OFF にしてください。
ヘルメットとの Bluetooth 接続が遮断されます。	ヘルメットのコミュニケーションシステムを OFF にして、1〜 2 分後に再度接続してください。
ヘルメットの音量を調整することができません。	ヘルメットのコミュニケーションシステムを OFF にして、1〜 2 分後に再度接続してください。

電話帳が TFT ディスプレイに表示されません。

原因	修理
電話帳が車両にまだ転送されていません。	携帯端末機器でのペアリングの際に、電話データの転送 (➠ 108) を確認してください。

アクティブ目的地ガイドが TFT ディスプレイに表示されません。

原因	修理
BMW Motorrad Connected App のナビゲーションが転送されませんでした。	接続されている携帯端末機器で、走行開始前にBMW Motorrad Connected App を呼び出してください。
目的地ガイドをスタートさせることができません。	携帯端末機器のデータ接続を確認して、携帯端末機器のマップデータを点検してください。

ネジ止め部

フロントホイール	数値	有効
テレスコピックフォーク内アクスルシャフト		
M12 x 20	30 Nm	
テレスコピックフォークのアクスルシャフト用固定ボルト		
M8 x 35	19 Nm	
テレスコピックフォークのブレーキキャリパー		
M10 x 65	38 Nm	
ホイール回転数センサーとフォーク		
M6 x 16 マイクロカプセル付き	8 Nm	

リヤホイール	数値	有効
リヤホイールとホイールフランジ		
M10 x 1.25 x 40	**締付け順序: 対角の順に締め付ける**	
	60 Nm	

ミラー	数値	有効
ミラー(ロックナット) とアダプター		
M10 x 1.25	左ねじ、 22 Nm	
アダプターとクランプ台		
M10 x 14 - 4.8	25 Nm	

ハンドルバー	数値	有効
クランプ台 (ハンドルバークランプ) とフォークブリッジ		
M8 x 35	**締付け順序: 進行方向の前のブロックで締め付けます**	
	19 Nm	

燃料

推奨フューエルグレード	無鉛プレミアムガソリン (ハイオク) (エタノール 10 %以下、E10) 95 ROZ/RON 89 AKI
燃料品質の選択肢	無鉛レギュラーガソリン (出力および燃費の制約。) (最大 10%エタノール、E10) 91 ROZ/RON 87 AKI
フューエル容量	約 20 l
フューエルリザーブ容量	約 4 l
排ガス基準	ユーロ 4

エンジンオイル

エンジンオイル容量	max 4 l、 フィルター交換時
規格	SAE 5W-40、 API SL / JASO MA2、 添加剤 (例えばモリブデンベースのもの) は許可されていません。 コーティングされているエンジン部品が損傷するためです、 BMW Motorrad では、 BMW Motorrad ADVANTEC Ultimate オイルを推奨しています。
エンジンオイル補充量	max 0.95 l、 MIN とMAX 間の偏差

BMW recommends ADVANTEC ORIGINAL BMW ENGINE OIL

エンジン

エンジン番号位置	クランクハウジング下部右側、 スターター下部
エンジン型式	122EN
エンジン型式	エア冷却 / 液体冷却 2 シリンダー 4 ストロークボクサーエンジン、 上部にあるスパーギア駆動の二つのカムシャフトおよび一つのバランスシャフト装備
排気量	1170 cm^3
シリンダーボア	101 mm

ピストンストローク	73 mm
圧縮比	12.5:1
最高出力	92 kW、 エンジン回転数: 7750 min^{-1}
– 出力減少装備[OE]	79 kW、 エンジン回転数: 7750 min^{-1}
最大トルク	125 Nm、 エンジン回転数: 6500 min^{-1}
– 出力減少装備[OE]	122 Nm、 エンジン回転数: 5250 min^{-1}
最高回転数	max 9000 min^{-1}
アイドリング回転数	1150 min^{-1}、 エンジン作動温度時

クラッチ

クラッチの仕様	マルチプレート湿式クラッチ、 アンチホッピング

ギヤボックス

ギヤボックスの仕様	常時噛み合い式ヘリカルギア 6 速トランスミッション
ギヤ比	1.000 (60:60 丁)、一次減速比 1.650 (33:20 丁)、ギヤボックスインプットギヤ比 2.438 (39:16 丁)、1 速 1.714 (36:21 丁)、2 速 1.296 (35:27 丁)、3 速 1.059 (36:34 丁)、4 速 0.943 (33:35 丁)、5 速 0.848 (28:33 丁)、6 速 1.061 (35:33 丁)、トランスミッションアウトプットギヤ比

リヤホイールドライブ

リヤホイールドライブタイプ	ベベルギヤ付きシャフトドライブ
リヤサスペンション型式	鋳造アルミニウム製片持ち式スイングアームとBMW Motorrad Paralever
リヤホイールドライブのギヤレシオ	2.91 (32/11 ノッチ)

フレーム

フレーム型式	スチールチューブフレームとドライブユニット、スチールパイプリヤフレーム
型式プレートの位置	左フロントフレームとステアリングヘッド
車両識別番号の位置	右フロントフレームとステアリングヘッド

シャシー

フロントホイール	
フロントサスペンション型式	BMW テレレバー、上部フォークブリッジはアンチダイブ機能付き、トレーリングアームをモーターおよびテレスコピックフォークに設置、センタースプリングストラットをトレーリングアームおよびフレームに支持
フロントホイールサスペンションの構造	コイルスプリング付きセントラルスプリングストラット
– Dynamic ESA[OE]装備	コイルスプリングおよびリザーバー付きセントラルスプリングストラット、電気調整式プルおよびプレッシャステージショックアブソーバー
スプリングトラベル (フロント)	190 mm、ホイールで
– スタイル 1[OE] 装備 – スポーツスプリング[OE] 装備	210 mm、ホイールで
– ローダウン装備[OE]	158 mm、ホイールで

リヤホイール	
リヤサスペンション型式	鋳造アルミニウム製片持ち式スイングアームとBMW Motorrad Paralever
リヤサスペンション型式	コイルスプリング付きセントラルスプリングストラット、調整式リバウンドダンピングおよびスプリングプリロード
– Dynamic ESA[OE]装備	コイルスプリングおよびリザーバー付きセントラルスプリングストラット、電気調整式プルおよびプレッシャステージショックアブソーバー、電気調整式スプリングプリロード
スプリングトラベル (リヤホイール)	200 mm
– スタイル 1[OE] 装備 – スポーツスプリング[OE] 装備	220 mm
– ローダウン装備[OE]	170 mm

ブレーキ

フロントホイール	
フロントブレーキ型式	ラジアルマウント 4 ピストンモノブロックキャリパーを装着した油圧式ダブルディスクブレーキ。ブレーキディスクはフローティングマウント
フロントブレーキパッドの材質	焼結合金
ブレーキ操作の遊び (フロントブレーキ)	約 1.85 mm、ピストンのところで
リヤホイール	
リヤブレーキ型式	2 ピストンフローティングキャリパーを装備した油圧式ディスクブレーキ。ブレーキディスクはリジッドマウント
リヤブレーキパッドの材質	焼結合金
ブレーキペダルのブローバイクリアランス	1…1.5 mm、フレームとブレーキペダルの間

ホイールとタイヤ

承認タイヤ	最新の認可タイヤの概要については、BMW Motorrad ディーラーまたはインターネットbmw-motorrad.com で見ることができます。
タイヤ速度カテゴリー(フロント / リヤ)	V、少なくとも下記の値以上が必要: 240 km/h
フロントホイール	
フロントホイールの仕様	アルミニウムキャストホイール
– クロススポークホイール装備OE	クロススポークホイール
フロントホイールリムサイズ	3.00" x 19"
タイヤサイズ(フロント)	120/70 R 19
タイヤ荷重指数(フロント)	min 60
フロントホイールのアンバランスの許容値	max 5 g
リヤホイール	
リヤホイールの仕様	アルミニウムキャストホイール
– クロススポークホイール装備OE	クロススポークホイール
リヤホイールリムサイズ	4.50" x 17"
タイヤサイズ(リヤ)	170/60 R 17
タイヤ荷重指数(リヤ)	min 72
リヤホイールのアンバランスの許容値	max 45 g

タイヤ充填圧	
タイヤ充填圧 (フロント)	2.5 bar、 タイヤ冷間時
タイヤ充填圧 (リヤ)	2.9 bar、 タイヤ冷間時

電装システム

電源ソケットの定格電気負荷	max 5 A、 すべての電源ソケット (合計)
ヒューズホルダー 1	10 A、スロット 1: メーターパネル、盗難防止装置 (DWA)、 イグニッションスイッチ、 診断ソケット 7.5 A、 スロット 2: 左コンビネーションスイッチ、 タイヤ空気圧モニター (RDC)
ヒューズホルダー	50 A、 ヒューズ 1: 電圧レギュレーター
バッテリー	
バッテリー型式	AGM (Absorbent Glass Mat) バッテリー
バッテリー電圧	12 V
バッテリー容量	12 Ah
スパークプラグ	
スパークプラグのメーカーおよび名称	NGK LMAR8D-J
スパークプラグの電極ギャップ	$0.8^{\pm 0.1}$ mm、 新品時の状態 1.0 mm、 摩耗限度

バルブ	
ハイビーム用バルブ	H7 / 12 V / 55 W
– LED ヘッドライト[OE] 装備	LED
ロービームのバルブ	H7 / 12 V / 55 W
– LED ヘッドライト[OE] 装備	LED
ポジションライト / パーキングライトバルブ	W5W / 12 V / 5 W
– LED ヘッドライト[OE] 装備	LED
テールライト / ブレーキライトバルブ	LED
フロントウインカー用バルブ	RY10W / 12 V / 10 W
– LED ウインカー装備[OE]	LED
リヤウインカー用バルブ	RY10W / 12 V / 10 W
– LED ウインカー装備[OE]	LED

盗難警報装置

再使用時に ON になるまでの時間	約 30 s
アラーム継続時間	約 26 s
バッテリータイプ	CR 123 A

寸法

全長	2207 mm、スプラッシュガードを含む
全高	1430...1490 mm、ウインドシールドを含む、DIN 空車時
– スタイル 1[OE] 装備	1312...1372 mm、ウインドシールドを含む、DIN 空車時
– スタイル 1[OE] 装備 – スポーツスプリング[OE] 装備	1332...1392 mm、ウインドシールドを含む、DIN 空車時
– スタイル 1[OE] 装備 – スポーツスプリング[OE] 装備 – タンデムパッケージ[OE] 装備	1450...1510 mm、ウインドシールドを含む、DIN 空車時
– ローダウン装備[OE]	1405...1465 mm、ウインドシールドを含む、下の位置、DIN 空車時
全幅	952 mm、ミラー含む

フロントシート高さ	850...870 mm、ライダー非乗車時 (空車時)
– コンフォートシート OE 装備	825...845 mm、ライダー非乗車時 (空車時)
– ハイコンフォートシート OE 装備	850...870 mm、ライダー非乗車時 (空車時)
– フロントローシート装備 OE	820...840 mm、ライダー非乗車時 (空車時)
– スタイル 1 OE 装備	860 mm、ライダー非乗車時 (空車時)
– スタイル 1 OE 装備 – エクストラハイシート OE 装備	880 mm、ライダー非乗車時 (空車時)
– スタイル 1 OE 装備 – タンデムパッケージ OE 装備	850...870 mm、ライダー非乗車時 (空車時)
– スタイル 1 OE 装備 – スポーツスプリング OE 装備	880 mm、ライダー非乗車時 (空車時)
– スタイル 1 OE 装備 – スポーツスプリング OE 装備 – エクストラハイシート OE 装備	900 mm、ライダー非乗車時 (空車時)
– スタイル 1 OE 装備 – スポーツスプリング OE 装備 – タンデムパッケージ OE 装備	870...890 mm、ライダー非乗車時 (空車時)
– ローダウン装備 OE	800...820 mm、ライダー非乗車時 (空車時)
ライダーステップアーチレングス	1870...1910 mm、ライダー非乗車時 (空車時)
– コンフォートシート OE 装備	1880...1900 mm、ライダー非乗車時 (空車時)
– ハイコンフォートシート OE 装備	1920...1940 mm、ライダー非乗車時 (空車時)

– フロントローシート装備[OE]	1820...1860 mm、ライダー非乗車時 (空車時)
– スタイル 1[OE] 装備	1880 mm、ライダー非乗車時 (空車時)
– スタイル 1[OE] 装備 – エクストラハイシート[OE] 装備	1920 mm、ライダー非乗車時 (空車時)
– スタイル 1[OE] 装備 – タンデムパッケージ[OE] 装備	1870...1910 mm、ライダー非乗車時 (空車時)
– スタイル 1[OE] 装備 – スポーツスプリング[OE] 装備	1920 mm、ライダー非乗車時 (空車時)
– スタイル 1[OE] 装備 – スポーツスプリング[OE] 装備 – エクストラハイシート[OE] 装備	1960 mm、ライダー非乗車時 (空車時)
– スタイル 1[OE] 装備 – スポーツスプリング[OE] 装備 – タンデムパッケージ[OE] 装備	1910...1950 mm、ライダー非乗車時 (空車時)
– ローダウン装備[OE]	1790...1830 mm、ライダー非乗車時 (空車時)

重量

空車重量	244 kg、 車両重量 (走行可能状態、 燃料満載時の 90 %、 オプション非装備)
許容総重量	460 kg
最大積載荷重	216 kg

性能

最高速度	>200 km/h

サービス

リサイクリング..... 232
BMW Motorrad サービス 233
BMW Motorrad モバイルサービス..... 234
メインテナンス作業 234
BMW サービス 234
メインテナンススケジュール..... 237
メンテナンスの確認 238
サービスの確認..... 252

リサイクリング

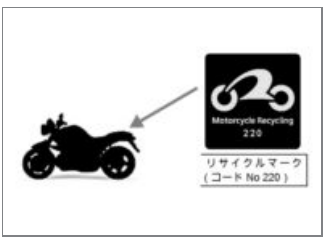
二輪車を廃棄する場合は?

最寄りの「廃棄二輪車取扱店」のBMW Motorrad ディーラーにご相談ください。
廃棄二輪車取扱店とは(社) 全国軽自動車協会連合会の登録販売店で、広域廃棄物処理指定業指定店として登録されている廃棄二輪車取扱店です。廃棄二輪車を適正処理するための窓口であり、店頭に「廃棄二輪車取扱店の証」が表示されています。

廃棄二輪車取扱店の証

リサイクル料金と二輪車リサイクルマーク

リサイクル料金は廃棄二輪車を適正な処理を行い、再資源化する費用です。
リサイクルマーク(3 cm × 3 cm)が車体(シートの下) に貼付されている BMW Motorrad は、リサイクル費用がメーカー希望小売価格に含まれておりますので、再資源化に必要なリサイクル料金はいただきません。
ただし、運搬および収集費用は含まれておりませんので、お客様から廃棄二輪車取扱店、および指定引取所迄の運搬および収集費用はお客様負担となります。
尚、運搬および収集費用は、依頼する廃棄二輪車取扱店にお問い合わせください。
また、お客様の都合で二輪車リサイクルシステムを活用されない場合に於いても、リサイクル料金は返還いたしません。



シート下のフレーム等に貼付しています。

二輪車リサイクルマークの取扱い

二輪車を廃棄する際は、二輪車リサイクルマークが必要となります。
リサイクルマークは車体から剥がさないでください。尚、紛失、破損による再発行、部品販売の取扱いはございません。
リサイクルマークの剥がれ等により、リサイクルマーク付車両か否か不明の場合は、(財) 自動車リサイクル促進センターのホームページおよび二輪車リサイクルコールセンターでご確認ください。

廃棄二輪車に関するお問合せについて

廃棄二輪車に関するお問い合わせは、最寄りの「廃棄二輪車取扱店」の BMW Motorrad ディーラーまたは下記の二輪車コールセンターまでお問合せください。

(財) 自動車リサイクル促進センター内

- 二輪車リサイクルコールセンター
- 電話番号 03-3598-8075
- 受付時間 9 時 30 分～ 17 時 00 分 (土日祝日、年末年始等を除く)
- インターネット : www.jarc.or.jp

BMW Motorrad サービス

BMW Motorrad は広範囲にわたるディーラーネットワークにより、世界 100 カ国以上で、お客様およびご使用のモーターサイクルのためのサービスを提供しています。BMW Motorrad ディーラーは、ご使用のBMW モーターサイクルにおいて、あらゆるメインテナンスおよび修理作業を確実に行うための技術情報および技術的ノウハウを備えています。
最寄りのBMW Motorrad ディーラーは下記のインターネットサイトでご確認いただけます :

bmw-motorrad.com

⚠ 警告

不適切に行われたメインテナンスや修理作業

損傷による事故の危険

- BMW Motorrad では、モーターサイクルに関する作業はBMW Motorrad ディーラーに依頼することをお勧めします。◀

ご使用の BMW モーターサイクルが常に最適な状態に保たれているようにするため、BMW Motorrad は、規定のメインテナンスインターバルを順守することをお勧めします。
実施すべきメインテナンスおよび修理作業については、本書の「サービス」の章でご確認ください。保証期間が満了した後で修理や点検を依頼される場合に、それまで定期的に整備されていたことが絶対的な必要条件になります。

BMW サービスの内容につきましては、BMW Motorrad ディーラーにおたずねください。

BMW Motorrad モバイルサービス

BMW Motorrad の新車は、万が一のトラブル発生時にはBMW Motorrad エマージェンシーサービスによる各種のサービスを受けることができます(モバイルサービス、現場で対応可能な範囲での応急処置、車両の回送など)。
エマージェンシーサービスの詳細につきましては、BMW Motorrad ディーラーにお問い合わせください。

メインテナンス作業

BMW 納車前点検(PDI)

BMW 納車前点検 (PDI) は、納車前に BMW Motorrad ディーラーによって実施されます。

BMW 初回点検

500 km～ 1200 km の間に必ず BMW 初回点検を行ってください。

BMW サービス

BMW サービスは 1 年に 1 度実施されます。サービス項目は車両使用年数および走行距離数に応じて異なります。BMW Motorrad ディーラーがお客様にサービスの実施を確認し、次回のサービス時期を登録します。
1 年間にかなりの距離を走行する車両に関しては、場合によっては登録されている時期以前にサービスを実施する必要があります。この場合、該当する最長走行距離が一般整備記録に追記されます。次回のサービス時期の前にこの走行距離に達した場合は、予定を早めてサービスを実施する必要があります。
TFT ディスプレイのサービス表示により、登録日の約 1 カ月前または登録距離の約 1000 km 前に、次のサービスの時期が近づいていることが示されます。

サービスに関する詳しい情報については、以下を参照してください：
bmw-motorrad.com/service

車両に必要なサービス範囲は、下記のメインテナンススケジュールで確認できます：

	500 -1200 km 300 - 750 mls	**10 000 km** 6 000 mls	**20 000 km** 12 000 mls	**30 000 km** 18 000 mls	**40 000 km** 24 000 mls	**50 000 km** 30 000 mls	**60 000 km** 36 000 mls	**70 000 km** 42 000 mls	**80 000 km** 48 000 mls	**90 000 km** 54 000 mls	**100 000 km** 60 000 mls	**12 months**	**24 months**
①	X												
②												X	
③		X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X[a]	
④			X		X		X		X		X		X[b]
⑤			X		X		X		X		X		
⑥			X		X		X		X		X		
⑦			X		X		X		X		X		
⑧		X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X[c]	
⑨												X[d]	X[d]

メインテナンススケジュール

1 BMW 慣らし運転 (オイル交換を含む)
2 BMW サービス標準範囲
3 エンジンオイルを交換する (フィルター交換時)
4 ベベルギヤのオイル交換
5 バルブクリアランスを点検する
6 すべてのスパークプラグを交換する
7 エアフィルターエレメントを交換する
8 エアクリーナーを点検または交換する
9 システム全体のブレーキフルードを交換する

a 1 年に 1 回または 10000 km ごと (どちらか先に該当したもの)
b 2 年に 1 回または 20000 km ごと (どちらか先に該当したもの)
c オフロード走行の場合、1 年に 1 回または 10000 km ごと (どちらか先に該当したもの)
d 初回は 1 年後、その後は 2 年ごと

メンテナンスの確認

BMW Service 標準範囲

以下は、BMW Service 標準範囲の活動が記載されています。車両に該当するサービス範囲は、実際には異なる場合があります。

- BMW Motorrad 故障診断装置を使用して、車両テストを実施する
- 油圧式クラッチシステムの目視点検
- ブレーキライン、ブレーキホース、接続箇所の目視点検を行う
- フロントブレーキパッドおよびブレーキディスクの摩耗の有無を点検する
- フロントブレーキフルードレベルを点検する
- リヤブレーキパッドおよびブレーキディスクの摩耗の有無を点検する
- リヤブレーキフルードレベルを点検する
- クーラントレベルを点検する
- サイドスタンドがスムーズに動くか点検する
- センタースタンドがスムーズに動くか点検する
- タイヤトレッド溝の深さおよびタイヤ充填圧を点検する
- スポークの張りを点検し、必要に応じて締め直す
- ライトおよび信号装置を点検する
- エンジン始動抑止機能の機能点検
- 最終点検および走行安全性の点検
- サービス時期およびサービス残余走行距離をセットする
- バッテリーの充電状態を点検する
- 車載書類に記載されているBMW サービスについて確認します

BMW 納車前点検
実施済み

日付_____

押印、署名

BMW 初回点検
実施済み

日付_____
距離 km_____

次回サービス
最長期限
日付_____
または最短
距離 km_____

押印、署名

BMW サービス

実施済み

日付_____
距離 km_____

次回サービス
最長期限
日付_____
または最短
距離 km_____

_____
押印、署名

実施済みの作業

	はい	なし
BMW サービス	☐	☐
エンジンオイルおよびフィルターの交換	☐	☐
リヤベベルギヤ内のオイル交換	☐	☐
バルブクリアランスの点検	☐	☐
全スパークプラグ交換	☐	☐
エアクリーナーエレメント交換	☐	☐
エアクリーナーの点検および交換（メインテナンス時）	☐	☐
ブレーキシステム全体のブレーキフルード交換	☐	☐

注意

BMW サービス

実施済み

日付_____
距離 km_____

次回サービス
最長期限
日付_____
または最短
距離 km_____

_____
押印、署名

実施済みの作業

	はい	なし
BMW サービス	☐	☐
エンジンオイルおよびフィルターの交換	☐	☐
リヤベベルギヤ内のオイル交換	☐	☐
バルブクリアランスの点検	☐	☐
全スパークプラグ交換	☐	☐
エアクリーナーエレメント交換	☐	☐
エアクリーナーの点検および交換 (メインテナンス時)	☐	☐
ブレーキシステム全体のブレーキフルード交換	☐	☐

注意

BMW サービス

実施済み

日付_____
距離 km_____

次回サービス
最長期限
日付_____
または最短
距離 km_____

_____
押印、署名

実施済みの作業

	はい	なし
BMW サービス	☐	☐
エンジンオイルおよびフィルターの交換	☐	☐
リヤベベルギヤ内のオイル交換	☐	☐
バルブクリアランスの点検	☐	☐
全スパークプラグ交換	☐	☐
エアクリーナーエレメント交換	☐	☐
エアクリーナーの点検および交換（メインテナンス時）	☐	☐
ブレーキシステム全体のブレーキフルード交換	☐	☐

注意

BMW サービス

実施済み

日付_____
距離 km_____

次回サービス
最長期限
日付_____
または最短
距離 km_____

_____
押印、署名

実施済みの作業

	はい	なし
BMW サービス	☐	☐
エンジンオイルおよびフィルターの交換	☐	☐
リヤベベルギヤ内のオイル交換	☐	☐
バルブクリアランスの点検	☐	☐
全スパークプラグ交換	☐	☐
エアクリーナーエレメント交換	☐	☐
エアクリーナーの点検および交換 (メインテナンス時)	☐	☐
ブレーキシステム全体のブレーキフルード交換	☐	☐

注意

BMW サービス

実施済み

日付_____
距離 km_____

次回サービス
最長期限
日付_____
または最短
距離 km_____

_____
押印、署名

実施済みの作業

	はい	なし
BMW サービス	☐	☐
エンジンオイルおよびフィルターの交換	☐	☐
リヤベベルギヤ内のオイル交換	☐	☐
バルブクリアランスの点検	☐	☐
全スパークプラグ交換	☐	☐
エアクリーナーエレメント交換	☐	☐
エアクリーナーの点検および交換（メインテナンス時）	☐	☐
ブレーキシステム全体のブレーキフルード交換	☐	☐

注意

BMW サービス

実施済み

日付_____
距離 km_____

次回サービス
最長期限
日付_____
または最短
距離 km_____

_____
押印、署名

実施済みの作業

	はい	なし
BMW サービス	☐	☐
エンジンオイルおよびフィルターの交換	☐	☐
リヤベベルギヤ内のオイル交換	☐	☐
バルブクリアランスの点検	☐	☐
全スパークプラグ交換	☐	☐
エアクリーナーエレメント交換	☐	☐
エアクリーナーの点検および交換 (メインテナンス時)	☐	☐
ブレーキシステム全体のブレーキフルード交換	☐	☐

注意

BMW サービス

実施済み

日付_____
距離 km_____

次回サービス
最長期限
日付_____
または最短
距離 km_____

_____
押印、署名

実施済みの作業

	はい	なし
BMW サービス	☐	☐
エンジンオイルおよびフィルターの交換	☐	☐
リヤベベルギヤ内のオイル交換	☐	☐
バルブクリアランスの点検	☐	☐
全スパークプラグ交換	☐	☐
エアクリーナーエレメント交換	☐	☐
エアクリーナーの点検および交換（メインテナンス時）	☐	☐
ブレーキシステム全体のブレーキフルード交換	☐	☐

注意

BMW サービス

実施済み

日付_____
距離 km_____

次回サービス
最長期限
日付_____
または最短
距離 km_____

_____
押印、署名

実施済みの作業

	はい	なし
BMW サービス	☐	☐
エンジンオイルおよびフィルターの交換	☐	☐
リヤベベルギヤ内のオイル交換	☐	☐
バルブクリアランスの点検	☐	☐
全スパークプラグ交換	☐	☐
エアクリーナーエレメント交換	☐	☐
エアクリーナーの点検および交換 (メインテナンス時)	☐	☐
ブレーキシステム全体のブレーキフルード交換	☐	☐

注意

BMW サービス

実施済み

日付_____
距離 km_____

次回サービス
最長期限
日付_____
または最短
距離 km_____

_____
押印、署名

実施済みの作業

	はい	なし
BMW サービス	☐	☐
エンジンオイルおよびフィルターの交換	☐	☐
リヤベベルギヤ内のオイル交換	☐	☐
バルブクリアランスの点検	☐	☐
全スパークプラグ交換	☐	☐
エアクリーナーエレメント交換	☐	☐
エアクリーナーの点検および交換（メインテナンス時）	☐	☐
ブレーキシステム全体のブレーキフルード交換	☐	☐

注意

BMW サービス

実施済み

日付_____
距離 km_____

次回サービス
最長期限
日付_____
または最短
距離 km_____

_____
押印、署名

実施済みの作業

	はい	なし
BMW サービス	☐	☐
エンジンオイルおよびフィルターの交換	☐	☐
リヤベベルギヤ内のオイル交換	☐	☐
バルブクリアランスの点検	☐	☐
全スパークプラグ交換	☐	☐
エアクリーナーエレメント交換	☐	☐
エアクリーナーの点検および交換 (メインテナンス時)	☐	☐
ブレーキシステム全体のブレーキフルード交換	☐	☐

注意

BMW サービス

実施済み

日付_____
距離 km_____

次回サービス
最長期限
日付_____
または最短
距離 km_____

_____
押印、署名

実施済みの作業

	はい	なし
BMW サービス	☐	☐
エンジンオイルおよびフィルターの交換	☐	☐
リヤベベルギヤ内のオイル交換	☐	☐
バルブクリアランスの点検	☐	☐
全スパークプラグ交換	☐	☐
エアクリーナーエレメント交換	☐	☐
エアクリーナーの点検および交換（メインテナンス時）	☐	☐
ブレーキシステム全体のブレーキフルード交換	☐	☐

注意

BMW サービス

実施済み

日付_____
距離 km_____

次回サービス
最長期限
日付_____
または最短
距離 km_____

_____
押印、署名

実施済みの作業

	はい	なし
BMW サービス	☐	☐
エンジンオイルおよびフィルターの交換	☐	☐
リヤベベルギヤ内のオイル交換	☐	☐
バルブクリアランスの点検	☐	☐
全スパークプラグ交換	☐	☐
エアクリーナーエレメント交換	☐	☐
エアクリーナーの点検および交換 (メインテナンス時)	☐	☐
ブレーキシステム全体のブレーキフルード交換	☐	☐

注意

サービスの確認

この表は、メンテナンス作業、修理作業、取り付けられた特別付属品、および実施された特別活動の確認のために利用できます。

実施済みの作業	距離 km	日付

実施済みの作業	距離 km	日付

付録

電子式エンジン始動ロックシステム用認証..... 256
キーレスエントリー用認証 258
TFT メーターパネル用認証 260

FCC Approval

Ring aerial in the ignition switch

To verify the authorization of the ignition key, the electronic immobilizer exchanges information with the ignition key via the ring aerial.

This device complies with Part 15 of the FCC rules. Operation is subject to the following two conditions:

(1) This device may not cause harmful interference, and

(2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Any changes or modifications not expressly approved by the party responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment. ◀

Approbation de la FCC

Antenne annulaire présente dans le commutateur d'allumage

Pour vérifier l'autorisation de la clé de contact, le système d'immobilisation électronique échange des informations avec la clé de contact via l'antenne annulaire.
Le présent dispositif est conforme à la partie 15 des règles de la FCC. Son utilisation est soumise aux deux conditions suivantes :

(1) Le dispositif ne doit pas produire d'interférences nuisibles, et
(2) le dispositif doit pouvoir accepter toutes les interférences extérieures, y compris celles qui pourraient provoquer une activation inopportune.

Toute modification qui n'aurait pas été approuvée expressément par l'organisme responsable de l'homologation peut annuler l'autorisation accordée à l'utilisateur pour utiliser le dispositif. ◀

Certifications

BMW Keyless Ride ID Device

USA, Canada

Product name: BMW Keyless Ride ID Device
FCC ID: YGOHUF5750
IC: 4008C-HUF5750

Canada:
Operation is subject to the following two conditions:
(1) This device may not cause harmful interference, and
(2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

USA:
This device complies with Part 15 of the FCC rules. Operation is subject to the following two conditions:
(1) This device may not cause harmful interference, and
(2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Any changes or modifications not expressly approved by the party responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

Declaration Of Conformity

We declare under our responsibility that the product

BMW Keyless Ride ID Device (Model: HUF5750)

camplies with the appropriate essential requirements of the article 3 of the R&TIE and the other relevant provisions, when used for its intended purpose. Applied Standards:

1. Health and safety requirements contained in article 3 (1) a)
   - EN 60950-1:2006+A11:2009+A1:2010+A12:2011; Information technology equipment- Safety
2. Protection requirements with respect to electromagnetic compatibility article 3 (1) b)
   - EN 301 489-1 (V1 .9.2, 09/2011), Electromagnetic compatibility and radio spectrum matters (ERM); Electromagnetic compatibility (EMC) standard for radio equipment and services; Part 1: Common technical requirements
   - EN 301 489-3 (V1.4.1, 08/2002) Electromagnetic compatibility and radio spectrum matters (ERM); Electromagnetic compatibility (EMC) standard for radio equipment and services; Part 3: Specific conditions for short range devices (SRD) operating on frequencies between 9 kHz and 40 GHz
3. Means of the efficient use of the radio frequency spectrum article 3 (2)
   - EN 300 220-1 & -2 (V2.4.1, 05/2012), electromagnetic compatibility and radio spectrum matters (ERM); Short range devices (SRD); Radio equipment tobe used in the 25 MHz to 1000 MHz frequency range with power leveis ranging up to 500 mW; Part 1: Technical characteristics and test methods. Part 2: Harmonized EN covering essential requirements under article 3.2 ofthe R&TIE directive

The product is labeted wilh the CE marking: CE

Velbert, October 15th, 2013

Benjamin A. Müller
Product Development Systems
Car Access and Immobilization – Electronics
Huf Hülsbeck & Fürst GmbH & Co. KG
Steeger Straße 17, D-42551 Velbert

Declaration of Conformity

Radio equipment TFT instrument cluster

For all Countries without EU

Technical information
BT operating frq. Range: 2402 – 2480 MHz
BT version: 4.2 (no BTLE)
BT output power: < 4 dBm
WLAN operating frq. Range: 2412 – 2462 MHz
WLAN standards: IEEE 802.11 b/g/n
WLAN output power: < 20 dBm

Manufacturer and Address
Manufacturer:
Robert Bosch Car Multimedia GmbH
Adress: Robert Bosch Str. 200,
31139 Hildesheim, GERMANY

Turkey
Robert Bosch Car Multimedia GmbH, ICC6.5in tipi telsiz sisteminin 2014/53/EU nolu yönetmeliğe uygun olduğunu beyan eder. AB Uygunluk Beyanı'nın tam metni, aşağıdaki internet adresinden görülebilir: http://cert.bosch-carmultimedia.net

Brazil
Este equipamento opera em caráter secundário, isto é, não tem direito a proteção contra interferência prejudicial, mesmo de estações do mesmo tipo, e não pode causar interferência a sistemas operando em caráter primário.

Canada
This device complies with Industry Canada's licence-exempt RSSs and part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions:
(1) this device may not cause interference, and
(2) this device must accept any interference, including interference that may cause undesired operation of the device.

Changes or modifications not expressly approved by the party responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

Le présent appareil est conforme aux CNR d'Industrie Canada applicables aux appareils radio exempts de licence. L'exploitation est autorisée aux deux conditions suivantes : (1) l'appareil ne doit pas produire de brouillage, et (2) l'appareil doit accepter tout brouillage radioélectrique subi, même si le brouillage est susceptible d'en compromettre le fonctionnement.

Mexico
La operación de este equipo está sujeta a las siguientes dos condiciones:
(1) es posible que este equipo o dispositivo no cause interferencia perjudicial y
(2) este equipo o dispositivo debe aceptar cualquier interferencia, incluyendo la que pueda causar su operación no deseada.

Taiwan, Republic of
根據 NCC 低功率電波輻射性電機管理辦法 規定:
第十二條
經型式認證合格之低功率射頻電機，非經許可，公司、商號或使用者均不得擅自變更頻率、加大功率或變更原設計之特性及功能。
第十四條
低功率射頻電機之使用不得影響飛航安全及干擾合法通信；經發現有干擾現象時，應立即停用，並改善至無干擾時方得繼續使用。
前項合法通信，
指依電信法規定作業之無線電通信。
低功率射頻電機須忍受合法通信或工業、科學及醫療用電波輻射性電機設備之干擾。

Thailand

เครื่องโทรคมนาคมและอุปกรณ์นี้

มีความสอดคล้องตามข้อกำหนดของ กทช.

(This telecommunication equipments is in compliance with NTC requirements)

United States (USA)

This device complies with Industry Canada's licence-exempt RSSs and part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions:
(1) this device may not cause interference, and
(2) this device must accept any interference, including interference that may cause undesired operation of the device.

Changes or modifications not expressly approved by the party responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

Le présent appareil est conforme aux CNR d'Industrie Canada applicables aux appareils radio exempts de licence. L'exploitation est autorisée aux deux conditions suivantes : (1) l'appareil ne doit pas produire de brouillage, et (2) l'appareil doit accepter tout brouillage radioélectrique subi, même si le brouillage est susceptible d'en compromettre le fonctionnement.

A
ABS
技術情報, 138
自己診断, 123
操作する, 61
操作部, 15
表示, 41
ASC
技術情報, 142
自己診断, 123
操作する, 63
操作部, 15
表示, 42

B
Bluetooth, 98
ペアリング, 99

D
DTC
OFF にする, 65
ON にする, 66
インジケーター / 警告灯, 43
技術情報, 142
自己診断, 124
操作する, 65

E
ESA
操作する, 66
操作部, 15

H
Hill Start Control, 77, 148
インジケーター / 警告灯, 45, 46
技術情報, 148
作動できない, 46
操作する, 77

K
Keyless Ride
イグニッションを OFF にする, 53
イグニッションを ON にする, 53
警告表示, 34, 35
ステアリングロックをロックする, 52
タンクキャップをロック解除する, 132, 133
電子式エンジン始動ロックシステムEWS, 54
無線キーのバッテリーが空になっているまたは無線キーの紛失, 54

P
Pairing, 99
Pre-Ride-Check, 122

R
Rider's Manual
車両における位置, 14

あ
アクセサリー
一般的な情報, 186
値
表示, 24
安全に関する注意事項
ブレーキ, 128
ライディングにあたって, 118

い
イグニッション
OFF にする, 51
ON にする, 50

イグニッションキルスイッチ, 16
操作する, 56
インジケーター / 警告灯, 17
全体図, 20

う
ウインカー
操作する, 61
操作部, 15
操作部 (右側) , 16
ウインドシールド
調整エレメント, 13
調整する, 111

え
エアクリーナー
アクセサリー交換, 169
車両内の位置, 13
エマージェンシーコール
軽度の転倒時に自動, 58
言語, 57
重度の転倒時に自動, 59
操作する, 56
マニュアル (手動) , 57
エンジン
エンジンエレクトロニクス警告表示, 39
エンジンコントロール用警告表示, 40
始動, 121
テクニカルデータ, 217
排気ガス警告灯, 39
エンジンオイル
エンジンオイルレベル用警告表示, 38
充填レベルを点検する, 154
注入口, 13
テクニカルデータ, 217
電子的オイルレベルコントロール, 38
フルードレベル表示, 13
補充する, 155
エンジン回転数表示, 17
エンジン回転数表示, 95
エンジン始動ロック
スペアキー, 51, 54

お
オフロード走行, 125
オンボードコンピューター, 82

か
外気温度
表示, 34
路面凍結警告, 34
型式プレート
車両における位置, 13

き
キー, 50, 52
記号と意味, 6
ギヤチェンジ
シフトアップ推奨, 96
ギヤボックス
テクニカルデータ, 219
給油, 131
Keyless Ride 装備, 132, 133

く
クーラント
オーバーヒート用警告表示, 38
充填レベルを点検する, 160
補充する, 161

クラッチ
機能を点検する, 160
テクニカルデータ, 218
ハンドルレバーを調整する, 112
グリップヒーター
操作する, 81
操作部, 16
クルーズコントロール
操作する, 74

け
警告灯, 17
全体図, 20
警告表示
ABS, 41
ASC, 42
DTC, 43
Hill Start Control, 45, 46
エンジンオイルレベル, 38
エンジンコントロール, 40
エンジン電装, 39
ギアが学習されていない, 46
クーラント温度, 38
車両電装システム電圧, 35
盗難警報装置, 37
排気ガス警告灯, 39
表示, 24
フューエルリザーブ容量, 45
ライトバルブの故障, 36
路面凍結警告, 34
私の車両, 102
警告表示一覧, 27
ケース, 187

こ
コーディングプラグ
取り付ける, 73
コンビネーションスイッチ
左側面, 15
右側面, 16

さ
サービス, 233
サービス表示, 47
サスペンション
テクニカルデータ, 221

し
シート
シート高さの調整, 84
高さ調整の位置, 14
脱着する, 82
ロッキングハンドル, 11
始動, 121
操作部, 16
始動補助, 176
シフトアシスト
ギアが学習されていない, 46
技術情報, 147
走行, 127
車両
再使用する, 206
車両識別番号
車両における位置, 13
車両電装システム電圧
警告表示, 35
重量
積載荷重一覧, 14
テクニカルデータ, 230
仕様 (諸元)
エンジン, 217
エンジンオイル, 217
規格, 7

ギヤボックス, 219
クラッチ, 218
サスペンション, 221
重量, 230
スパークプラグ, 225
寸法, 227
性能, 230
電装システム, 225
盗難警報装置, 227
燃料, 216
バッテリー, 225
バルブ, 226
ブレーキ, 223
フレーム, 220
ホイールとタイヤ, 224
リヤホイールドライブ, 220
ショックアブソーバー
調整エレメント(リヤ) , 11
診断コネクター
固定する, 183
緩める, 183

す
ステアリングロック
ロックする, 50
スパークプラグ
仕様(諸元) , 225
スピードメーター, 17
スプリングプリロード
調整エレメント(リヤ) , 13
調整する, 113
寸法
テクニカルデータ, 227

せ
制限速度情報
ON または OFF にする, 95
性能
仕様(諸元) , 230
全体図
インジケーター / 警告灯, 20
シート下, 14
TFT ディスプレイ, 21, 23
左コンビネーションスイッチ, 15
左側面図, 11
右コンビネーションスイッチ, 16
右側面図, 13
メーターパネル, 17
私の車両, 102

そ
走行モード
技術情報, 144
走行モードPRO を設定する, 72
操作部, 16
調整する, 69
操作焦点
交換する, 93
装備, 7

た
タイヤ
最高速度, 119
充填圧, 225
充填圧表, 14
タイヤ空気圧を点検する, 162
テクニカルデータ, 224
トレッドの溝の深さを点検する, 162
慣らし走行, 125

ち
チェックコントロール
ダイアログ画面, 24
表示, 24
チェックリスト, 121
駐車, 129

つ
ツールキット
車両における位置, 14

て
TFT ディスプレイ, 17
全体図, 21, 23
操作する, 92, 93, 94
操作部, 15
表示を選択する, 89
電源ソケット
車両における位置, 13
使用上の注意, 186
電装システム
テクニカルデータ, 225
電話
操作する, 107

と
盗難警報装置
警告表示, 37
操作する, 78
テクニカルデータ, 227
表示灯, 17
時計
調整する, 97
トップケース
操作する, 190
トラクションコントロール
ASC, 141, 142
DTC, 142
トラブルシューティング, 210
トルク, 214

な
ナビゲーション
操作する, 105
慣らし走行, 125

に
荷物
積載に関する注意, 118

ね
ネジ止め部, 214
燃料
Keyless Ride 装備の場合の給油, 132, 133
給油する, 131
注入口, 11
テクニカルデータ, 216

は
パーキングライト, 60
排気ガス警告灯, 39
ハザードランプ
操作する, 60
操作部, 15, 16
バッテリー
仕様(諸元) , 225
接続しているバッテリーを充電する, 178
取り付ける, 180
取り外す, 179
外したバッテリーを充電する, 179

ボードエレクトリック電源電圧に関する警告表示, 35
メインテナンスに関する注意, 178
バルブ
LED テールライトを交換する, 176
LED ヘッドライトを交換する, 176
LED 補助ヘッドライトを交換する, 176
ウインカー, 174
仕様 (諸元) , 226
パーキングライト, 173
ハイビーム, 171
バルブの不具合に関する警告表示, 36
ロービーム, 171
ハンドルバー
調整する, 113

ひ
Pure Ride
全体図, 21
ヒューズ
交換する, 181

ふ
フォローミーホームライト, 50, 59
フューエルリザーブ容量
警告表示, 45
走行可能距離, 96
ブレーキ
ABS Pro の詳細, 140
ABS Pro は走行モードに対応, 129
安全に関する注意事項, 128
機能を点検する, 155
テクニカルデータ, 223
ハンドルレバーを調整する, 112
ブレーキパッド
慣らし走行, 125
フロントを点検する, 156
リヤを点検する, 157
ブレーキフルード
フロント充填レベルを点検する, 158
フロントリザーバータンク, 13
リヤ充填レベルを点検する, 159
リヤリザーバータンク, 13
フレーム
テクニカルデータ, 220
フロントホイールスタンド
取り付ける, 153

へ
ヘッドライト
光軸, 110
光軸の調整, 11

ほ
ホイール
サイズ変更, 163
スポークを点検する, 163
テクニカルデータ, 224
フロントホイールを取り付ける, 166
フロントホイールを取り外す, 163
ホイールリムを点検する, 162
リヤホイールを取り付ける, 169
ホーン, 15
本書の記述について, 7

み
ミラー
調整する, 110

め
メインテナンス
一般的な情報, 152
メインテナンススケジュール, 237
メインテナンススケジュール, 234
メーターパネル
周囲輝度センサー, 17
全体図, 17
メディア
操作する, 107
メニュー
呼出し, 92
メンテナンスの確認, 238

も
モーターサイクル
お手入れ, 203
固定する, 134
清掃する, 203
駐車, 129
長期保管, 206
モバイルサービス, 234

ら
ライダー情報ステータス欄
調整する, 94, 95
ライト
操作部, 15
パーキングライト, 59
ハイビームヘッドライトを操作する, 59
パッシングライトを操作する, 59
フォローミーホームライト, 59
補助ヘッドライトを操作する, 60
ロービーム, 59

り
リサイクリング, 232
リモートコントロール
バッテリー交換, 55
リヤホイールドライブ
テクニカルデータ, 220

ろ
ローダウンサスペンション
制限, 118

ご購入いただきました車両の装備、アクセサリー、仕様は、本書の説明や図と異なる場合があります。これらについてのクレームはご容赦ください。
本書に記載されている寸法、重量、燃費、性能などのデータには、一般に認められている許容誤差が含まれています。
デザイン、装備、アクセサリーなどは、製品を改良するために予告なく変更することがあります。
印刷の誤りや誤字、脱字に起因するクレームはご容赦ください。

© 2017 Bayerische Motoren Werke Aktiengesellschaft
80788 München, Germany
本書はその全部について、たとえ一部であっても、BMW Motorrad After Sales から書式による承諾を得た場合を除き、転載や複製することは禁じられています。
オリジナル Rider´s Manual、
Printed in Germany

燃料補給用データ：

燃料	
推奨フューエルグレード	無鉛プレミアムガソリン (ハイオク) (エタノール 10 %以下、 E10) 95 ROZ/RON 89 AKI
燃料品質の選択肢	無鉛レギュラーガソリン (出力および燃費の制約。) (最大10%エタノール、 E10) 91 ROZ/RON 87 AKI
フューエル容量	約 20 l
フューエルリザーブ容量	約 4 l
タイヤ充填圧	
タイヤ充填圧 (フロント)	2.5 bar、 タイヤ冷間時
タイヤ充填圧 (リヤ)	2.9 bar、 タイヤ冷間時

ご使用の車両に関するさらに詳しい情報については、 次のウェブサイト
を参照してください： bmw-motorrad.com

BMW recommends ADVANTEC ORIGINAL BMW ENGINE OIL

P/No.: 01 40 8 406 508
11.2017、 3rd edition、 08